さいたま市PTA協議会
創立二十周年記念誌

西区：三橋運動公園

浦和区：浦和うなこちゃん

北区：日進七夕まつり

南区：別所沼公園

大宮区：武蔵一之宮・氷川神社

緑区：埼玉スタジアム2002

見沼区：見沼くらっしっく館

桜区：特別天然記念物　田島ヶ原のさくら草

中央区：さいたまスーパーアリーナ

岩槻区：岩槻城址　時の鐘

目次

ご挨拶……4
二十年のあゆみ……15
各区連合会紹介……44
歴代会長座談会……65

ご挨拶

二十年の歩みを得て

さいたま市ＰＴＡ協議会　会長　岡野　育広

R元-

創立二十周年を迎えるにあたり、さいたま市ＰＴＡ協議会の発展にご尽力いただきました歴代会長・役員様をはじめ、市内各校ＰＴＡ並びに各区連合会の諸先輩の皆様に感謝申し上げますと共に、多くの会員の皆様のご協力に感謝申し上げます。さらに、多岐にわたってご指導ご鞭撻をいただいてまいりました、さいたま市・さいたま市教育委員会をはじめとする各関係諸機関・諸団体の皆様に感謝申し上げます。

さいたま市ＰＴＡ協議会は、平成十三年五月一日のさいたま市誕生に合わせて、旧三市（浦和市、大宮市、与野市）の三ブロック体制からスタートしました。平成十五年五月には政令指定都市への移行に伴い、区ごとの九連合会に再編されました。平成十七年六月に岩槻市の合併により岩槻区連合会が発足し、現在の十区連合会となりました。そして令和三年度、さいたま市ＰＴＡ協議会は創立二十周年を迎える節目の年となりました。

日本のＰＴＡの始まりは、当時の文部省が終戦一か月後に「新日本建設の教育方針」を発表し、昭和二十二年には「父母と教師の会　結成手引書」が文部省から全国の都道府県知事宛に発出され、以後各地域でＰＴＡ設立の機運が高まり、現在に至っております。

そうした歴史の積み重ねを引継ぎ、私たちは、子ども達の安心安全を全ての大人達が見守っていけるよう各関係諸機関・諸団体との連携を緊密にし、また、ＰＴＡに期待される今日的課題解決に向けて具体的な活動を行うとともに、人権尊重を基本とする教育環境や社会環境の整備に努め、いじめ・不登校・青少年犯罪の防止に向けて、学校を基軸とした、家庭・学校・地域が一体となって「思いやりの心・倫理観・規範意識」を育成する活動を諸先輩方から引継ぎ、継承して参りました。

時代と共に、子ども達を取り巻く環境は目まぐるしく変化をしております。文部科学省では「令和の日本型教育」の構築を目指して、全ての子ども達の可能性を引き出す、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現に取り組むことへの取りまとめがされ、そこには、学校における働き方改革・ＧＩＧＡスクール構想・新学習指導要領の全面実施や少子高齢化・人生百年時代の到来、ＩＣＴ・ＩＯＴ・ＤＸ・Ｓｏｃｉｅｔｙ5.0やいじめ問題・災害時や感染症等に於ける不断の学びといった新たな時代に向けての課題取組を進めております。

「知・徳・体の一体的な教育を進める」ために、自助・共助・公助による家庭・学校・地域の役割は、いずれか一つでは子どもの育成は図れません。家庭・学校・地域の方々がしっかりと手を取り合い、子ども達の健全育成を目指すことが重要になります。

同じ時代、同じ地域で子育てをしている私たち保護者が連携を取り合い、さいたま市の宝である子ども達の為の活動と、社会全体と連携した活動をして参ります。今後とも皆様のご指導・ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

創立二十周年を迎えて

創立二十周年記念事業実行委員会　実行委員長　青羽　章仁

さいたま市ＰＴＡ協議会が二十周年を迎え、たくさんの皆様とお祝いする事が出来ます事に感謝申し上げますと共に大変うれしく思います。

こうして二十周年を迎えるまでの永きに渡りさいたま市ＰＴＡ協議会の活動に、ご理解ご支援いただきました行政、教育委員会、小学校校長会、中学校校長会をはじめとした学校関係者の皆様、各校ＰＴＡ会長をはじめとする会員の皆様、その他多くの関係団体の皆様に改めて敬意を表しますと共に心から感謝申し上げます。

また、創立より多大なるご尽力を賜りました歴代会長をはじめとする理事の皆様、多くの諸先輩の皆様に深く感謝を申し上げます。

平成十三年の創立から二十年という節目を迎え、くしくも世の中は新型コロナウィルスの影響により子ども達だけでなく、社会全体の生活様式までが大きな変化をしています。諸先輩方が活躍なさっていた頃から常に「子ども達を取り巻く環境はめまぐるしく変化をし～」と言われ続ける中、様々な課題に対して多くの皆様の知恵と努力を結集し取り組んで来ていただきました。そうした中でも正に今が一番の環境の変化と言える状況であり、今こそ私達さいたま市ＰＴＡ協議会も、これまで蓄積されて来た全ての知恵や経験を活かして全力で取り組んでいく必要があると考えます。

この様に、これから初めて経験するであろう様々な課題に取り組んでいく必要がある現在において、多くの皆様に築いてきていただいた二十年の蓄積は大きな大きな財産であり、大変心強いものです。それぞれ成り立ちの異なる四つのＰＴＡが一つになる、という大きな事業を経験し、それを脈々と成熟させていただき、政令指定都市の中でも指折りの教育環境が整う素晴らしい子育ての環境づくりを実現していただきました。

そうした、この二十年の歴史を振り返り、諸先輩の皆様にご尽力頂いた熱い思いをしっかりと受け継ぎ、時代が変わっても変わらぬ強い信念を引き継いで、子ども達の健全育成のため、より良い環境づくりのための組織として進んで参ります。社会教育関係団体として、それに相応しい役割を果たしていくためにも、会員の皆様と連携し、親も子どもも楽しく学び続けられる、一番身近な存在であり続けるために活動して参ります。

結びに、この度の創立二十周年記念にあたり、ご支援ご協力をいただきました全ての皆様に心より深く感謝を申し上げ、挨拶とさせていただきます。

創立二十周年を祝して

さいたま市長　清水　勇人

さいたま市ＰＴＡ協議会が、発足二十周年を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。

会員の皆様方におかれましては、日頃より、子どもたちの健全育成のために、家庭と学校、地域の連携の「懸け橋」として、大変重要な役割を担っていただいておりますことに、厚く御礼申し上げます。また、さいたま市ＰＴＡ協議会の二十年に及ぶ功績に深く敬意を表します。

さいたま市も今年誕生二十周年を迎え、現在人口百三十三万人を擁する大都市へと飛躍を遂げてまいりました。特に、〇から十四歳までの子どもの転入超過数が、平成二十七年度から六年連続で全国一位となるなど、働き盛りである子育て世代の流入が顕著となっております。本市には、家庭、学校、地域が強い絆で結ばれ、子どもたちを見守り育てる風土と環境が整っており、それが本市の大きな魅力の一つであると存じます。このことは、本市の誇りであり、家庭、学校、地域をつなげる役割を果たしているＰＴＡの皆様に改めて感謝を申し上げます。

さて、本市は、新時代にふさわしい都市へと前進させる「進化」と、本市の魅力や特長をさらに深めていく「深化」の両面で、市民の皆様のしあわせを〝シンカ〟させ、ＳＤＧｓ未来都市として、誰一人取り残さない持続可能な社会の実現を目指してまいります。特に、新時代に生きる子どもたちの未来を拓く日本一の教育都市の創造に向け、子どもたち一人ひとりの夢と生きる力をはぐくむ教育環境の充実に努めてまいる所存です。

近年、少子高齢化による社会構造の変化に加え、自然災害や感染症拡大をはじめ予測困難な変化が、子どもたちを取り巻く環境に大きな影響を及ぼしております。次代の社会を担う子どもたちには、教育を通して、社会がどのように変化しても、自己肯定感をもって困難に向き合い、それを乗り越え主体的に人生を切り拓いていく力や、夢を実現しようとする高い志を持って自らの可能性に挑戦する力をはぐくんで欲しいと願っております。

未来を生きる子どもたちの育ちには、これまで以上に家庭、学校、地域の連携・協働が必要となり、地域コミュニティの存在が一層重要となってまいります。さいたま市ＰＴＡ協議会の皆様には、家庭、学校、地域の要として、引き続き本市の教育行政へのご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

結びに、さいたま市ＰＴＡ協議会の未来に向けての益々のご発展と、会員の皆様のご健勝を心より祈念申し上げまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

さいたま市ＰＴＡ協議会創立二十周年を祝して

さいたま市議会　議長　島崎　豊

さいたま市ＰＴＡ協議会が創立二十周年を迎えられましたことを、心から御祝い申し上げます。

さいたま市ＰＴＡ協議会におかれましては、家庭、学校及び地域における最善の教育を目指し、ＰＴＡ活動の発展と児童・生徒の福祉を増進させることを目的として、研究会や講習会などの様々な事業を行うなど、さいたま市の教育の振興はもとより、市政各般にわたり多大なる御支援・御協力を賜り、心より感謝を申し上げます。

また、平成十三年の創立から二十年、「さいたま市の宝である子どもたちの健全育成を目指し、共に学び、共に成長出来るＰＴＡ活動を実践する」ことを基本方針の一つに掲げ、さいたま市ＰＴＡ協議会がこれまで着実に発展を続けておられますことは、岡野育広会長をはじめ、歴代の会長、役員及び会員の皆様方のご努力の賜でありますことを心より敬意を表します。

現下のコロナ禍においては、教育や子どもたちをとりまく環境も大きく変化しており、人間関係や地域のつながりの希薄化が危惧される中で、学校と家庭、地域社会を結ぶ懸け橋として、皆様方が鋭意取り組まれているＰＴＡ活動への期待は、これまで以上に大きなものとなっております。本市は、「人生一〇〇年時代を豊かに生きる『未来を拓くさいたま教育』の推進」をさいたま市教育ビジョンの基本理念として、グローバル社会で活躍できる豊かな人間性や健全な社会性を身につけるなど、「世界と向き合い 未来の創り手として 輝き続ける人」の育成を目指し、日々、様々な施策を展開しているところでございます。これらを実現していくためには、教育の原点である家庭教育を軸にして、学校や地域と協力して、各種ＰＴＡ活動に熱心に取り組まれております皆様方のお力添えが必要不可欠でございます。皆様方におかれましては、さいたま市の宝である子どもたちの健全な育成のため、引き続き、各種ＰＴＡ活動の充実に御尽力いただきますよう心よりお願い申し上げます。

さいたま市議会といたしましても、さいたま市の将来を担う子どもたちが健やかに成長できる環境整備に向け、皆様方とともに、市議会議員六十人が一丸となって全力で取り組んでまいります。引き続き、御支援と御協力をお願い申し上げます。

結びに、さいたま市ＰＴＡ協議会の今後ますますのご発展と、会員の皆様方のご健勝・ご多幸を祈念申し上げまして、お祝いの言葉といたします。

創立二十周年を迎えて

さいたま市教育委員会　教育長　細田　眞由美

さいたま市ＰＴＡ協議会が、発足二十周年の記念すべき年を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。

会員の皆様方におかれましては、家庭と学校、地域の連携・協働を通して、子どもたちの教育活動の充実に様々な側面からお力添えをいただいておりますことに、深く感謝申し上げます。

そして、さいたま市ＰＴＡ協議会の二十年に及ぶ功績に敬意を表しますとともに、子どもたちの健全育成に向けた取組を積み重ね、着実に継承されてきたことに対しまして、重ねて御礼を申し上げます。

さて近年、自然災害や感染症拡大などによる環境の変化に加え、超スマート社会（Ｓｏｃｉｅｔｙ5.0）の実現に向けた技術革新や、グローバル化の急速な進展に伴い、予測が困難な激動の時代を迎えています。このような時代にあって、子どもたちには、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることが期待されております。

本市におきましては、「さいたま市ＧＩＧＡスクール構想」により、教育活動等にＩＣＴを積極的に導入する本市独自の教育施策の展開と、「さいたまＳＴＥＡＭＳ教育」や「さいたまＳＤＧｓ教育」など、教科横断型の探究的な学びの推進により、本市の特色を生かした魅力ある教育の展開に努めているところです。

また、ＡＩやロボット等が進化・発展を遂げても、代替することのできない豊かな人間性や感性、創造性をはぐくむため、子どもたちには、多世代の方々との交流やリアルな関係づくりを大切にした学びが一層重要となってまいります。

こうした背景のもと、子どもたちの健やかな成長のために、家庭・学校・地域が連携・協働を強めていく必要性がさらに高まっており、ＰＴＡには三者の「要」としての役割が一層期待されているところです。

本市では、令和四年度からのコミュニティ・スクール全校実施を目前に控え、学校、地域住民、保護者の代表の皆様が教育の当事者として学校運営に参画し、家庭教育、学校教育、社会教育の力を一つにして「教育の力」を最大限に発揮できる環境の整備と支援に努めてまいります。

さいたま市ＰＴＡ協議会の皆様におかれましても、将来の地域社会を担う子どもたちの輝く未来のために、引き続きご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、貴会の益々のご発展と、会員の皆様方のご健勝でのご活躍を祈念申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。

創立二十周年を祝して

さいたま市立小学校校長会会長　豊島　登

さいたま市ＰＴＡ協議会が、創立二十周年を迎えられますことに、さいたま市立小学校校長会を代表して心よりお祝いを申し上げます。

今や教育界は、教育ＤＸやＧＩＧＡスクール構想など、大きな変革の時を迎えています。一方で、持続可能な環境整備や働き方改革にも取り組むことが求められています。こうした状況の中、さいたま市ＰＴＡ協議会の皆様におかれましては、学校と家庭、家庭と地域とを結ぶ様々な活動にご尽力いただき、この時代に即した情報発信に努めていただいておりますことに重ねて感謝申し上げます

ＰＴＡは、保護者と教職員とが子どもの成長と幸せを願い、手を携える場と考えています。協力関係を深めることで、子どもの成長のプラスになることを望んでいます。また、「家庭で土を耕し、学校で種をまき、地域・社会で花を咲かせ実をつける」と言われるように、教育は次世代に対する社会全体の責任でもあります。折しも、来年度から全ての市立学校がコミュニティ・スクール（学校運営協議会設置校）となります。小学校校長会は、これを好機ととらえ、家庭、地域との連携を一層深めてまいりたいと考えております。今後も、皆様からのご支援ご協力を仰ぎながら、子どもたちの笑顔が輝く学校づくりに取り組んでまいります。

結びに、さいたま市ＰＴＡ協議会の益々のご発展をご祈念申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。

創立二十周年を祝して

さいたま市中学校長会会長　松戸　政世史

さいたま市ＰＴＡ協議会が、創立二十周年を迎えられ、記念行事の一環として、ここに、記念誌を発刊されますことに、中学校長会として、誠に意義深く心から御祝い申し上げます。

貴協議会におかれましては、平成十三年五月一日に、浦和・与野・大宮の3市が合併し、現在では、旧岩槻市を含めた10区の連合会で組織されています。貴協議会の基本方針や活動目標には、本市の宝である子どもたちの健全育成や共に学び共に成長できるＰＴＡ活動の実践、家庭・学校・地域の教育力の向上が提起され、本年度は、岡野会長様を中心に、「家庭・学校・地域の輪を大切に～ＳＤＧｓ／持続可能なＰＴＡ活動を～」を掲げての活発な活動に、その重要性がさらに増しているところだと思います。

各学校では、昨年度から続く新型コロナウイルス感染症拡大防止への対応として、子どもの心のケアやその自立に向け、教職員や保護者など、周りの大人の心を一つにしながら、日々の教育活動を進めています。本年度、教育においては、『令和の日本型学校教育』元年とも言うべき新たな学びを構築し、「さいたま市ＧＩＧＡスクール構想」等を通して、個別最適な学びと協働的な学び、教科横断型の探究的な学びの実現を目指して取り組んでまいります。

結びに、コミュニティ・スクールなど、学校・家庭・地域・行政のさらなる連携及び貴協議会の益々の御発展並びに会員の皆様の御健勝での御活躍を御祈念申し上げ、御祝いの挨拶といたします。

創立二十周年を迎えて

さいたま市ＰＴＡ協議会　初代会長　橋本　正晴

H13-15

さいたま市ＰＴＡ協議会が、創立二十周年を迎えましたこと心からお祝い申し上げます。そして、今日まで協議会の発展にご尽力いただきました歴代役員・事務局の皆様、そして会員ならびに関係各位のご理解ご協力に感謝を申し上げます。

平成十三年五月一日の三市合併と同時に、市内の各種団体に先駆け合併し市Ｐ協を設立しました。実現できたのは、旧三市の役員の皆様のご協力の賜物です。ここに改めてお礼を申し上げます。

合併後の二年間は事務局を統一して窓口を一本化し、旧三市の連合会をブロックとした活動を続けながら、市Ｐ協全体事業を開催して交流を図りました。その間、政令指定都市へ移行する平成十五年を見据え、埼玉県ＰＴＡ連合会から円満に分離独立し、日本ＰＴＡ全国協議会の正会員としての加盟をめざし準備を進めました。幸いしたのは、平成十四年八月の日本ＰＴＡ全国研究大会埼玉大会の開催に向け実行委員会が組織され、県Ｐ連、また日Ｐの役員との交流機会が多くあったことです。平成四年の千葉市以来十一年振りの政令指定都市誕生ということで、日Ｐと、政令市の多い関東ブロック協議会の理解が得られたことが大きな要因にもなりました。県Ｐ連も、さいたま市Ｐ協が分離独立しても十分な会員を擁する組織として規模に不安はありませんでした。後は、県Ｐ連が用意した全国大会開催経費の負担金処理を解決し、安全互助会との関係を確認して手続きを終了しました。

市Ｐ協内部に於いては、旧市の三ブロックを廃して、九区の単位に改編することとしました。ただ、小学校の学区と中学校の学区が違うことから、学区自体が区域を跨いでいて、隣接区から通学する生徒の方が多い学校もあり、どちらの区Ｐ連に所属するかの判断を迫られた学校もありました。結果として学校の所在地の区に所属されることを全校が選択し今日に至っています。

また、各区Ｐ連が独自の活動が行えるように規約と区Ｐ連の会費については各区の裁量としました。この事によって区単位による独自の事業や、区役所との連携がスムーズに行える環境が整いました。

財政面に於いては、「児童生徒ワイド補償制度」への加入者増があり、安定した手数料収入の見込みがたちましたので、会員一人当たりの会費負担を年間五十円と定めました。十八年経過した現在も同額と承知しています。他の政令市や県連と比較しても少ない会員会費で運営がなされていると思います。改めて歴代役員の皆様のご努力に敬意を表します。

結びに、さいたま市とさいたま市ＰＴＡ協議会が更に発展する事をお祈り申し上げ祝辞といたします。

子どもたちのために協働の拡大を

さいたま市ＰＴＡ協議会
二代会長　向江　正晃

H16-18

さいたま市ＰＴＡ協議会が、創立二十周年を迎えられたことを心よりお祝い申し上げます。また、今日まで、日々協議会の活動にご尽力いただいております役員、事務局の皆様、会員の皆様に心より感謝申し上げます。

初代橋本会長から引き継いだ時は、九つの区連合会でしたが、平成十七年に旧岩槻市ＰＴＡ連合会と合併し、現在の十区のＰＴＡ連合会が誕生しました。私の目標は、組織としての市Ｐ協ではなく、子ども達のために何をなすべきかを自ら考え行動する人材の集まりとしての市Ｐ協を構築することでした。当初は試行錯誤の連続でしたが、会員の皆様、教職員の皆様、地域のご協力をいただき、一つ一つ問題を解決し、目標に向け活動を推進いたしました。そして、さらなるＰＴＡ活動の活性化につなげていただく思いで、平成十九年一月に「第一回さいたま市ＰＴＡ協議会研究大会」を開催いたしました。研究大会のテーマは「コミュニケーション」です。六つの分科会に分けて、コミュニケーションの手法を実際に体験し学んでいただくセミナーでしたが、参加者の皆さん全員が、真剣に、そして積極的に参加をされており、「子ども達の健全育成のために」という思いは、誰もが同じであると確信いたしました。現在、コロナ禍もあり、人間関係が希薄になりつつある社会であるからこそ、人と人とをつなぐコミュニケーションは重要であり課題だと思います。次の世代を担う子ども達のためには、同じ目的を共有する私たちの協働が必要です。そして、家庭・学校・地域を結ぶ要として「さいたま市ＰＴＡ協議会」は大きな役割を担っています。これからも子ども達のために、一層のご尽力をいただけるとご期待申し上げますとともに、さいたま市ＰＴＡ協議会のご発展と皆様方のご健康ご多幸を心よりお祈り申し上げまして、お祝いの言葉といたします。

創立二十周年を迎えて

さいたま市ＰＴＡ協議会
三代会長　天野　雅裕

H19

さいたま市ＰＴＡ協議会が創立二十周年を迎えますこと、心よりお慶び申し上げます。私が初めてＰＴＡ会長を拝命した年に、さいたま市ＰＴＡ協議会の設立総会が行われました。そしてＰＴＡと関わる最後の年にさいたま市ＰＴＡ協議会会長を拝命いたしました。その年は保険業法の改正によりＰＴＡ活動総合補償制度の立ち上げや指定都市ＰＴＡ連絡協議会研究大会さいたま市大会の開催と多忙な日々が続きましたが、各副会長や各理事の皆様、市内各校ＰＴＡ会長をはじめとする多くの皆様。そしてそれをサポートして下さる事務局の皆様や、応援して下さる先輩方のおかげで無事運営することが出来ました。改めて感謝申し上げます。

さて、私がさいたま市ＰＴＡ協議会会長を拝命した年から十四年経ち、子育てする保護者の状況も変化しＰＴＡとの関わり方も様々に変化していると思いますが、子ども達が成長する場である学校の環境や家庭での子どもとの関わり方などをより良くするためにもＰＴＡの活動が、その機会を与えてくれると思います。ＩＴ環境が大きく進化しＰＴＡの活動方法にも役立っていると伺っています。昨年から続く新型コロナウイルス感染症の拡大により保護者の状況や学校の環境も大きく変化している物と思われますが、ＰＴＡの関わりの中で保護者と先生方で知恵を出し合い様々な問題を乗り越えて行かれることを願っています。各校ＰＴＡをサポートする各区連合会と、さいたま市ＰＴＡ協議会が、子ども達の未来のために益々発展されますことを祈念しております。

祝辞

さいたま市ＰＴＡ協議会
四代会長　**渡辺　紀子**

H20-21

さいたま市ＰＴＡ協議会が、創立二十周年を迎えられましたこと、心よりお祝い申し上げますとともに、今日まで協議会の活動にご尽力いただきました役員、事務局の皆さま、そして会員ならびに関係各位のご協力に感謝を申し上げます。

私は平成二十、二十一年度会長を務めさせていただき、平成二十一年十一月設立十周年を迎えたとき、人に例えれば成人となる二十周年に向けて、それまでの実績を引き継ぐとともに、設立当初を振り返り、事業の目的や意義を再確認した上で、各事業内容の見直しと充実を図りながら、新たな活動の出発点として欲しいと期待したこの十年。日々変化する社会情勢や価値観の中でさいたま市ＰＴＡ協議会としての活動は、設立からの十年とは違った困難さがあったと思います。特に近年では多様性の時代、そして新たな生活様式が問われ、子どもたちを取り巻く環境も教育も大きく変わり、これからも進化しながら変わっていくことと思います。

しかし、どのような環境の中でも変わらないものは「教育の原点は家庭教育」であり、子どもたちが心豊かに健全に育つためには学校・家庭・地域の協力と共に学び成長することが必要です。そしてさいたま市ＰＴＡ協議会はその中心となって、家庭教育やその他様々な課題について、市Ｐ協だからこそできる広い視野を持って情報発信・問題提起して共に学ぶきっかけを作り、更に持続していってほしいと思います。困難な時だからこそ発信できることがある、マイナスとマイナスを掛けるとプラスになるように。

最後になりましたが、さいたま市ＰＴＡ協議会の活動の充実と発展をお祈り申し上げます。

祝辞

さいたま市ＰＴＡ協議会
五代会長　**磯田　和男**

H22-24

さいたま市ＰＴＡ協議会が創立二十周年を迎えられる事を心よりお祝い申し上げます。

五代目会長を務めさせていただきました二〇一〇年。市Ｐ協は、十周年を迎え、大宮ソニック大会議室において、来賓の皆様、歴代役員の皆様、各校校長先生、会長の皆様をお迎えして、式典を開催しました。歴代の役員の皆様とお会いでき、合併にあたっての経緯、ご苦労を聞かせていただき貴重な時間となりました。十年間の経過の中で、歴代役員の皆様のご尽力により、十区ＰＴＡが個性を生かしながら各学校、区連での役割、さいたま市ＰＴＡ協議会での役割が、確立できた時期に入ったと実感しました。

二〇一一年東日本大震災が起こり、子供、家族、学校、地域、社会との絆の大切さを考えました。被災地へ支援のため各学校、十区連合会、市Ｐ協が知恵を出し合い連携して支援することが出来ました。日本ＰＴＡ全国協議会の役員をしておりましたので、被災した遺児孤児支援のため全国のＰＴＡ会員の皆様に呼びかけ、遺児孤児の皆さんへ就学支援をすることができ、ＰＴＡの底力を感じました。

昨年からのコロナ禍の影響で様々な制限がかかる中、新しい生活様式で、感染予防対策を行いながら生活を送っています。ＰＴＡ活動も大変だと思いますが、頑張ってください。

地域から子供たちを見守り、ＰＴＡの皆様にエールを送っております。

結びに、さいたま市ＰＴＡ協議会の益々のご発展と会員の皆様のご健勝を祈念致しまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

創立二十周年を祝して

さいたま市ＰＴＡ協議会
六代会長　鵜沢　勇

H25-27

さいたま市ＰＴＡ協議会が、創立二十周年を迎えられたこと、心よりお祝い申し上げます。また、日々ＰＴＡ協議会活動にご尽力いただいております理事役員の皆様、そしてご協力いただいております会員の皆様に敬意を申し上げます。

私は、六代目会長を平成二十五年より三年間務めさせていただきました。この三年間は、歴代会長をはじめとする理事役員の皆様の歴史、功績を会員皆様と改めて検証し、考える時代でした。特に平成二十六年度にさいたま市として初めての主管関東ブロック大会ということで理事役員の皆様、各単会の皆様と共に大会をつくりあげたことを今でも思い出します。さいたま市ＰＴＡ協議会は設立から十三年、初めて主管する大きな大会ということで討議を重ね、子どもたちを取り巻く環境が厳しい状況の中、「ささえ合い　いのち尊び　たくましく　まごころつなぐ子どもたちに　五つのことだま　～子は親の鏡、生き抜く力を子どもたちに～」をキーワードに「絆」「命」「体」「心」「未来」、子どもたちの健やかな成長を応援し、その課題について考えるＰＴＡの役割、そして未来を生きる子どもたちの「生きる力を育む」ため、家庭・学校・地域が手を携え、心をつなぎ、地域全体の「絆」のもと、「子育て日本一のまちづくり」「日本一の教育都市」をつくるため、関東ブロック会員の皆様に活発で前向きな熱い研究討論をして頂き、成功のもと終了することができました。これからも、さいたま市の子どもたちの未来のため、より一層のご尽力をいただけるようお願い申し上げます。

結びに、さいたま市ＰＴＡ協議会の益々の発展と会員皆様のご健勝を祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

創立二十周年に寄せて

さいたま市ＰＴＡ協議会
七代会長　青羽　章仁

H28-30

さいたま市ＰＴＡ協議会が創立二十周年を迎えられる事を心よりお慶び申し上げます。

また、日々困難な状況の中で子ども達の為に活動してくださっている各校会長を始めとする会員の皆様、ＰＴＡ協議会の活動にご尽力をいただいている皆様に敬意を表しますと共に深く感謝申し上げます。

私が会長を務めさせていただいた平成二十八年からの三年間は、スマートフォンへ移行して行く時代でもあり、それまでにない新しい課題にも取り組む必要がありました、ＳＮＳ等による情報の流れも目まぐるしく加速し、ＰＴＡの任意加入や個人情報保護法の改定に伴う対応等の課題に取り組むにあたり、理事の皆様や各校会長、会員の皆様にご理解をいただき、多大なご協力なしには進むことの出来ない、多くの方々に支えていただいた三年間でした。翌年の発行となりましたが「ＰＴＡガイドブック」を市内全ての保護者にお届け出来た事は関係された皆様に深く感謝を申し上げます。

その様に取り組みを進めて、一番感じた事は歴代の皆様が築いて来てくださった協議会を取り巻く多くの協力関係、信頼関係でした。多くの関係各所の皆様からご理解、ご協力をいただけた事、これもひとえに過去ご尽力いただいた皆様が築いて来てくださった土壌があったからと実感して大変ありがたく思った事を覚えています。

市の会長を務めさせていただいてからも、たくさんの支えや気づきがあり正に生涯学習と実感したものです。様々な事が多様化といわれるこれからの時代であっても、親が笑顔で学べる、それが素晴らしい子育てに繋がる、それを実感出来る一番身近に経験できる組織として、今後益々さいたま市ＰＴＡ協議会が発展する事を祈念いたしまして挨拶とさせていただきます。

二十年のあゆみ

さいたま市ＰＴＡ協議会　沿革

2001	平成13年度	浦和市ＰＴＡ協議会 大宮市ＰＴＡ協議会 与野市ＰＴＡ協議会 が合併協議書に調印 設立総会開催 橋本正晴氏　初代会長に就任 臼杵信裕氏　初代教育長に任命される
2002	平成14年度	第50回日本ＰＴＡ全国研究大会埼玉大会に協力 さいたま市ＰＴＡ協議会シンボルマーク決定、ホームページ立ち上げ
2003	平成15年度	さいたま市が政令指定都市となる 九つの区連合会がスタート
2004	平成16年度	向江正晃氏　第二代会長に就任 岩槻市ＰＴＡ連合会と、合併協定書に調印 「役員セミナー」始まる（7月開催）
2005	平成17年度	岩槻区が加わり、10区連合会となる 教育委員会との懇話会開催スタート 赤城・舘岩少年自然の家　視察研修スタート 藤間文隆氏　第二代教育長に任命される
2006	平成18年度	第１回さいたま市ＰＴＡ協議会研究大会開催
2007	平成19年度	天野雅裕氏　第三代会長に就任 第63回指定都市ＰＴＡ連絡協議会研究大会をさいたま市で開催
2008	平成20年度	渡辺紀子氏　第四代会長に就任 さいたま市ＰＴＡ協議会　ＰＴＡ活動総合補償制度始まる 舘岩少年自然の家視察研修・環境整備スタート
2009	平成21年度	第２回さいたま市ＰＴＡ協議会研究大会開催 桐淵博氏　第三代教育長に任命される
2010	平成22年度	磯田和男氏　第五代会長に就任 さいたま市ＰＴＡ協議会創立10周年
2011	平成23年度	東日本大震災における児童生徒の安全確保等検証委員会　参画
2012	平成24年度	東日本大震災　復興支援活動本格実施
2013	平成25年度	鵜沢　勇氏　第六代会長に就任 稲葉康久氏　第四代教育長に任命される
2014	平成26年度	第46回関東ブロックＰＴＡ研究大会さいたま市大会開催
2015	平成27年度	いじめ防止スローガン　採択
2016	平成28年度	青羽章仁氏　第七代会長に就任 「新 役員研修会」始まる（4月開催） さいたま市ＰＴＡ協議会創立15周年
2017	平成29年度	任意加入促進スタート 細田眞由美氏　第五代教育長に任命される
2018	平成30年度	コンプライアンス推進活動スタート（個人情報等）
2019	平成31年度 （令和元年度）	大宮区役所移転に伴い、事務局移転 岡野育広氏　第八代会長に就任 全保護者向け「ＰＴＡガイドブック」発行
2020	令和2年度	「『Ｗｉｔｈコロナ』対応と対策～コロナと向き合うＰＴＡ活動～」冊子発行 「ＰＴＡ活動の手引き」冊子発行
2021	令和3年度	さいたま市ＰＴＡ協議会創立20周年

さいたま市ＰＴＡ協議会の誕生

設立までの経緯

平成十二年五月より、浦和・大宮・与野市ＰＴＡ連合会間の情報交換会を開始。各市Ｐ連より代表二名ずつが出席して毎月一～二回会議を行った。同年十一月、三市ＰＴＡ連合会合併協議会が発足。各市Ｐ連より代表七名ずつ、毎月一回会議を行った。会議を通して、三市ＰＴＡ連合会がそれぞれに培ってきた活動の共通理解を互いに深め、合併する組織の運営方法などを話し合った。

平成十三年一月からは設立総会の準備と広報紙発行について更に協議を重ねた。同年一月二十五日に大宮市ＰＴＡ連合会事務局（当時）において、三市ＰＴＡ連合会会長（浦和市・高橋政雄氏、大宮市・橋本正晴氏、与野市・望月三之氏）が出席し、五月一日付けで合併し、「さいたま市ＰＴＡ協議会」を発足させる事を盛り込んだ合併決議書に調印した。

話し合いの記録

■三市ＰＴＡ連合会正副会長会

※後に「六人会議」とする。

平成十二年

●第一回　五月三十日
・合併についての確認（名称、事務所、資金、上部組織との関係など）

●第二回　八月七日
・三市共同事業、ビジョン、会則など

●第三回　九月二十五日
・事務所位置、安全互助会、児童生徒ワイド補償制度など

●第四回　九月二十九日
・児童生徒ワイド補償制度について

●第五回　十月十日
・児童生徒ワイド補償制度、資金、会則、事務所位置、事務員、設立総会など

●第六回　十月二十三日
・会則、設立総会、書き損じ葉書回収、児童生徒ワイド補償制度など

●第七回　十月二十五日
・合併決議書、合併協定書、会則、児童生徒ワイド補償制度など

●第八回　十一月十六日
・合併決議書案、合併協定書案、会則案、児童生徒ワイド補償制度の決定、設立総会日程案、三市臨時総会など

■二十一人会議　立ち上げ

各市より七名が参加する「浦和・大宮・与野市ＰＴＡ合併協議会」を立ち上げ、協議決定を行うこととなった。

※メンバーは左記の通り。

浦和市	会長	高橋　政雄	（東浦和中）
	副会長	前田美恵子	（田島中）
	〃	萩原　章弘	（内谷中）
	〃	杉浦小百合	（原山中）
	〃	小泉　修一	（三室中）
広報委員長		飛田　悦子	（沼影小）
保体委員長		玉井　哲夫	（上木崎小）
大宮市	会長	橋本　正晴	（連合会専任）
	副会長	古田富美子	（連合会専任）
	〃	茂木　芳英	（東小）
	〃	鵜篭　雅之	（三橋中）
	〃	見川　和明	（馬宮中）
	〃	斎藤　千絵	（見沼小）
	〃	島村　道宏	（校長会）
与野市	会長	望月　三之	（与野西中）
	副会長	徳永　茂	（与野東中）
	〃	金子　文江	（大戸小）
	〃	大竹　一十	（校長会）
常任理事		赤岩真理子	（与野西北小）
	〃	芳賀　義宣	（与野南中）
事務局		新藤　和順	（社会教育指導員）

さいたま市ＰＴＡ協議会の誕生

平成十二年

●第一回　十一月十二日

①開会の後、自己紹介
②各市Ｐ連の紹介
　会員数、学校数、組織、事業など
③これまでの経過説明
④「六人会議」の報告と質疑応答
⑤合併協議書、合併協定書案、会則案について説明と意見交換
⑥「二十一人会議」の今後の進め方について協議

＊事務局についての違い

	事務局	
浦和市	生涯学習課内	市職員
大宮市	小学校の一室	パート職員雇用
与野市	生涯学習課内	社会教育指導員

●第二回　十二月二十日

・児童生徒ワイド補償制度の説明
　（幹事保険会社）
・合併協議書、合併協定書について

平成十三年

●第三回　一月二十日

・委員会の設置及び担当、設立総会、祝賀会について
・三市ＰＴＡ共同事業について
・広報紙「創立記念号」について

●第四回　一月三十日

・会則、細則の協議

●第五回　二月二十六日

・会則、細則の協議、承認
・広報委員会報告と協議
・総会・祝賀会準備委員会報告と協議
・児童生徒ワイド補償制度の進捗状況について
・組織図案の説明、討議
・三市ＰＴＡ既存事業の説明

●第六回　三月二十九日

・各委員会報告を協議
・事務局の設置場所について
・事務局員の雇用について
・会長人事について

●第七回　四月十一日

・各委員会報告を協議
・事務局を現大宮区役所内と決定
・会長人事を決定
　（立候補者を確認後選挙にて）

※この間「六人会議」は第九回から第十七回まで開かれた。

設立総会へ

平成十三年

●四月三十日　事務局移転
●五月一日　さいたま市ＰＴＡ協議会設立
　広報紙「創立記念号」発行
　８５，０００部
●五月十二日　第一回理事会
　総会準備
●五月三十一日　第二回理事会
●六月十三日　第三回理事会
　総会準備
●六月二十七日　設立総会

21世紀の子どもたちの限りない成長を願って…
広報紙 さいたま市PTA協議会 創立記念号
http://www.pta.jp
平成13年5月1日
5月1日PTA連合会も合併しました
浦和・大宮・与野のPTA連合会 さいたま市発足で合併へ

創立記念号

さいたま市ＰＴＡ協議会 誕生

一月二十五日　合併決議書に調印

浦和市Ｐ連…高橋政雄会長
大宮市Ｐ連…橋本正晴会長
与野市Ｐ連…望月三之会長

名　称
・さいたま市ＰＴＡ協議会

設立総会
・六月二十七日（水）

組　織
・当面の間、浦和ブロック・大宮ブロック・与野ブロックによって組織

役　員
・会長一名、副会長若干名、理事若干名、会計若干名、監事二名

上部組織との関係
・当面はそのまま
（政令指定都市移行時再編）

会　計
・一本化

資　金
・設立当面の運営費は繰越金より支出

ブロック事業
・当面はそれぞれ整理の上、継承

事務局
・大宮総合行政センターＢ棟一階に開設

設立総会・祝賀会

六月二十七日
アルーサ清水園にて開催される

さいたま市教育委員会教育委員石川正夫氏、埼玉県ＰＴＡ連合会会長新井裕史氏ほか多数のご来賓をお迎えして、設立総会並びに祝賀会が盛大に行われた。

「開かれたＰＴＡ」を目指して設置された傍聴席では、多くの会員が真剣なまなざしで総会の様子を見守った。

祝賀会では市内各校のＰＴＡ会長・校長先生など三百名を超える出席を得て、終始和やかに催された。中でも旧三市Ｐ連から選出された二十一名の合併協議会委員の方々には参加者から熱い拍手が寄せられた。

左から、高橋会長、橋本会長、望月会長

理事名簿

会長	橋本　正晴	（大宮南小学校）
副会長	高橋　政雄	（東浦和中学校）
	望月　三之	（与野西中学校）
	茂木　芳英	（大宮東小学校）
	森　信裕	（仲本小学校　校長）
総務	徳永　茂	（与野東中学校）
広報	寺尾美恵子	（大戸小学校）
事業	斉藤　千絵	（見沼小学校）
情報	小泉　修一	（三室中学校）
財務	杉浦小百合	（原山中学校）
会計	横溝　和夫	（上小小学校）
監事	富田　典孝	（原山小学校）
	竹本　昭剛	（大宮東中学校　校長）

新たなるステージへ

平成十五年四月にさいたま市が政令指定都市へ移行することに伴い、旧三市のブロック体制から新しく誕生する区ごとに九つの連合会に再編することになった。政令指定都市発足と同時期に各区連合会を発足させるための準備の年となった。

第五十回日本ＰＴＡ全国研究大会
～埼玉大会協力～

大会スローガン

『育もうゆとりの中で　〝生きる力を〟』

埼玉県内九つの会場において開かれ、さいたま市内では「ソニックシティ」（大宮ブロック担当）「埼玉会館」（与野ブロック担当）「さいたま市文化センター」（浦和ブロック担当）で分科会、「さいたまスーパーアリーナ」（大宮ブロック担当）で全体会が催された。

この年から新学習指導要領、学校完全週五日制が導入されることになる。教育現場が大きく変わろうとしていた中で、ＰＴＡとしての課題は何か、また、その役割は何か、ということが見える大会となった。

【埼玉大会全体会】
長嶋茂雄氏、徳光和夫氏による
記念講演「夢」

市Ｐ協
シンボルマーク決定！

PTA
saitama.city

広報紙コンクール受賞作品

小学校の部

広報紙名	ＰＴＡ名（学校）
金賞	
のだ	野田小ＰＴＡ
はりがや	針ケ谷小ＰＴＡ
あおば	与野西北小ＰＴＡ
銀賞	
みどり野	大門小ＰＴＡ
つちあい	土合小ＰＴＡ
たかさご	高砂小ＰＴＡ
銅賞	
みぬま	見沼小ＰＴＡ
つじ	辻小ＰＴＡ
なかもと	仲本小ＰＴＡ
松ぼっくり	大砂土東小ＰＴＡ
なかおにっしん	中尾小ＰＴＡ
みやまえ	日進小ＰＴＡ
ぽぷら	宮前小ＰＴＡ
海老沼	日進北小ＰＴＡ
おおさと	海老沼小ＰＴＡ
	大砂土小ＰＴＡ

中学校・特支学校の部

広報紙名	ＰＴＡ名（学校）
金賞	
つどい	土合中ＰＴＡ
うちや	内谷中ＰＴＡ
銀賞	
新樹	第二東中ＰＴＡ
もとぶと	本太中ＰＴＡ
銅賞	
東浦和	東浦和中ＰＴＡ
宮原	宮原中ＰＴＡ
おおやば	大谷場中ＰＴＡ
大宮南中だより	大宮南中ＰＴＡ
みはし	三橋中ＰＴＡ
ときわ	常盤中ＰＴＡ

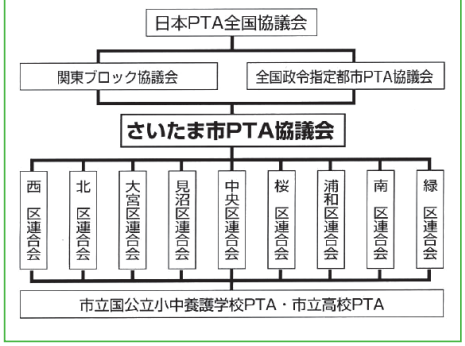
理事名簿

会長	橋本　正晴（大宮南小学校）
副会長	望月　三之（与野西中学校）
	玉井　哲夫（上木崎小学校）
	茂木　芳英（大宮東小学校）
	竹本　昭剛（大宮東中学校 校長）
総務	小久保明夫（与野本町小学校）
広報	吉田みすず（上落合小学校）
事業	向江　正晃（片柳中学校）
情報	小泉　修一（三室中学校）
財務	櫻井喜久司（浦和大里小学校）
会計	横溝　和夫（上小小学校）
監事	田代　昭子（土合中学校）
顧問	徳永　茂（前 理事）
	船越　忠男（大宮小学校 校長）

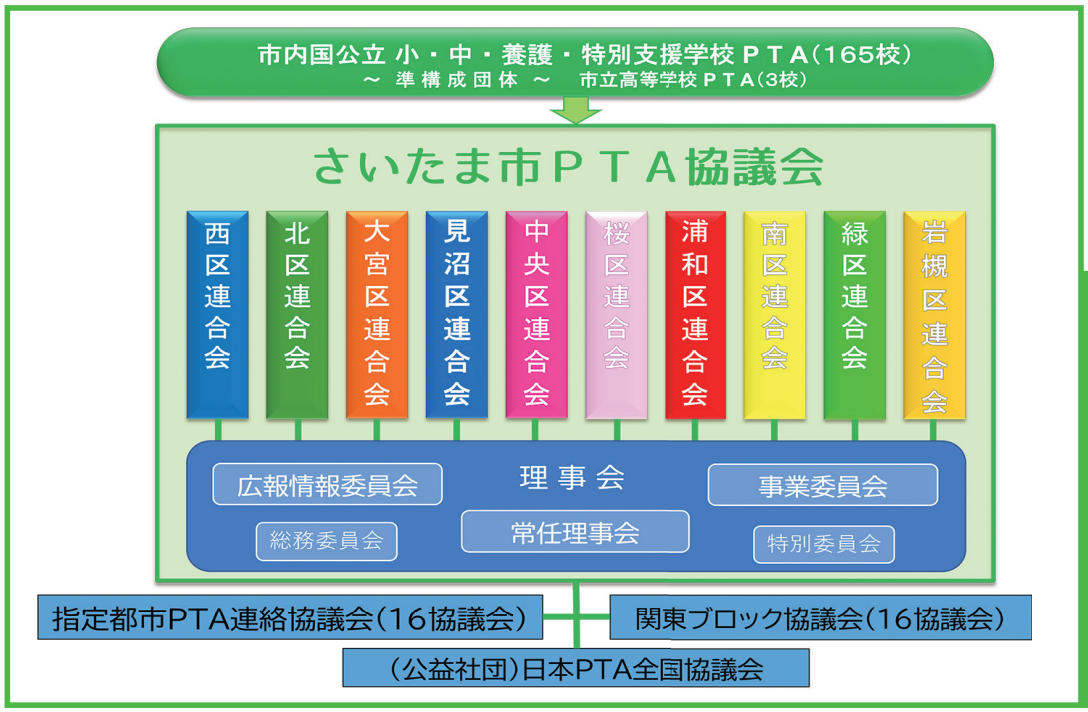
さいたま市が政令指定都市に！ 九つの連合会がスタート

四月の政令指定都市移行にともない、埼玉県ＰＴＡ連合会より独立し、日本ＰＴＡ全国協議会の正会員として活動を始めることとなった。これにより、関東ブロックや政令指定都市などの地方協議会ともダイレクトに情報交換が行えるようになった。内部組織としては、区制施行に合わせてそれぞれ九つの連合会を立ち上げ、特色ある活動が可能になる体制を整えた。また、本会全体の運営は、各区から三名の理事を選出し、理事会での協議決定に基づき進めていくこととなった。

設立時は９区でスタート



平成17年より



平成十七年から現在まで
岩槻区を加えて十区となる

広報紙コンクール受賞作品

※優秀賞作品（小学校６作品・中学校４作品）は日本ＰＴＡコンクールへ推薦

小学校の部

広報紙名	ＰＴＡ名（学校）
優秀賞	
ひまわり	常盤北小ＰＴＡ
みぬま	見沼小ＰＴＡ
のだ	野田小ＰＴＡ
片柳小ＰＴＡだより	片柳小ＰＴＡ
みどり野	大門小ＰＴＡ
なかもと	仲本小ＰＴＡ
優良賞	
文蔵	文蔵小ＰＴＡ
つちあい	土合小ＰＴＡ
みやまえ	宮前小ＰＴＡ
わかごま	谷田小ＰＴＡ
わかば	向小ＰＴＡ
特別賞	
つゆくさ	島小ＰＴＡ
はるの	春野小ＰＴＡ
おおまき	大牧小ＰＴＡ
つじ	辻小ＰＴＡ

中学校・特支学校の部

広報紙名	ＰＴＡ名（学校）
優秀賞	
HARUNO	春野中ＰＴＡ
つどい	土合中ＰＴＡ
おおやば	大谷場中ＰＴＡ
やわらぎ	三室中ＰＴＡ
優良賞	
つつじケ丘	木崎中ＰＴＡ
うちや	内谷中ＰＴＡ
春里	春里中ＰＴＡ
東風（こち）	与野東中ＰＴＡ
尾間木中	尾間木中ＰＴＡ

理事名簿

会長	橋本	正晴（大宮南中学校）
副会長	茂木	芳英（大宮東小学校）
	天野	博（与野東中学校）
	栗原	猛（善前小学校）
総務	小田	公一（大宮別所小学校）
組織運営	角田	猛（土呂中学校）
	吉野	喜八（与野八幡小学校）
	張	信子（西浦和小学校）
事業	山崎	聡亮（大砂土東小学校）
	吉野	勝則（常盤小学校）
	境野	明美（土呂中学校）
	島村	徹（上大久保中学校）
広報	清宮	輝雄（栄小学校）
	木村	美穂（大谷場中学校）
情報	配島	雅勝（馬宮東小学校）
財務	菊川	忠裕（土屋中学校）
監事	望月	三之（前 副会長）
顧問	向江	正晃（片柳中学校）
	玉井	哲夫（上木崎小学校）
	猪野	亮（仲町小学校 校長）
	吉田	修三（大宮西中学校）
	藤田	吉美（海老沼小学校）
	興津	武志（土合中学校）
	齋藤	博一（大宮南中学校）
	添田	一（常盤中学校）
	金子	文江（与野南中学校）
	篠原	唯史（尾間木中学校）
	原口久美子	（中島小学校）
	伊関	友伸（芝原小学校）
	榎本	昇（大牧小学校）
	今村	信博（常盤中学校 校長）

岩槻市ＰＴＡ連合会と合併協定を結ぶ

平成十七年四月一日にさいたま市が岩槻市と合併することに合わせてＰＴＡ連合会も合併する運びとなり、臼杵教育長と両会役員が見守る中、岩槻市Ｐ連小島会長と市Ｐ協向江会長は合併協定書に調印した。

▲岩槻市Ｐ連小島会長（左）と市Ｐ協向江会長（右）

▶臼杵教育長より挨拶

向江正晃氏が第二代会長に就任

六月の定期総会にて、初代の橋本正晴会長から、第二代の向江正晃新会長へバトンが引き継がれた。

役員セミナー（七月開催）

役員セミナーが初めて開催された。初めて役員を受けた人にもＰＴＡを十分理解できるようにと、教育委員会や市Ｐ協の運営のことなどについて、わかりやすく説明し、役員が日々勉強していくきっかけづくりとした。

広報紙の名前とロゴが決定！

市Ｐ協
さいたま

広報紙コンクール受賞作品

※優秀賞作品（小学校６作品・中学校４作品）は日本ＰＴＡコンクールへ推薦

小学校の部

広報紙名	ＰＴＡ名（学校）	賞
さかえ	栄小ＰＴＡ	優秀賞
ひまわり	常盤北小ＰＴＡ	優秀賞
なかじまＰＴＡ	中島小ＰＴＡ	優秀賞
しびらき	新開小ＰＴＡ	優秀賞
わかごま	谷田小ＰＴＡ	優秀賞
さかわ	栄和小ＰＴＡ	優秀賞
みやまえ	宮前小ＰＴＡ	優良賞
ふたば	大谷場小ＰＴＡ	優良賞
みなみ	与野南小ＰＴＡ	優良賞
つちあい	土合小ＰＴＡ	優良賞
にっしん	日進小ＰＴＡ	優良賞
なかもと	仲本小ＰＴＡ	優良賞
しらさぎ	上木崎小ＰＴＡ	佳作
三つの橋	三橋小ＰＴＡ	佳作
のだ	野田小ＰＴＡ	佳作
おおまき	大牧小ＰＴＡ	佳作

中学校・特支学校の部

広報紙名	ＰＴＡ名（学校）	賞
つどい	土合中ＰＴＡ	優秀賞
東風（こち）	与野東中ＰＴＡ	優秀賞
うちや	内谷中ＰＴＡ	優秀賞
尾間木	尾間木中ＰＴＡ	優秀賞
やわらぎ	三室中ＰＴＡ	優良賞
わだち	田島中ＰＴＡ	優良賞
八王子	八王子中ＰＴＡ	優良賞
かたやなぎ	片柳中ＰＴＡ	優良賞
八幡	大宮八幡中ＰＴＡ	佳作
南十字星	与野南中ＰＴＡ	佳作
ひがしうらわ	東浦和中ＰＴＡ	佳作

理事名簿

会長	向江	正晃（片柳中学校）
副会長	茂木	芳英（大宮北中学校）
	栗原	猛善（前小学校）
総務	山崎	聡亮（大砂土東小学校）
	配島	雅勝（馬宮東小学校）
	鳥居	夏樹（大宮東中学校）
	榎本	雅昭（大久保小学校）
	若谷	充男（野田小学校）
事業	山田	真治（馬宮西小学校）
	内田誠之郎	（下落合小学校）
	榎本	昇（大牧小学校）
広報・情報	境野	明美（土呂中学校）
	井上	健悟（大宮東中学校）
	園山	幹生（上落合小学校）
	小寺	靖子（大原中学校）
	伊関	友伸（芝原小学校）
	菊川	忠裕（土屋中学校）
	橋本	正晴（前会長）
	玉井	哲夫（上木崎小学校）
	原口久美子	（土合中学校）
	鈴木	一夫（大原中学校校長）
	山口	一男（大宮別所小学校）
	吉野	喜八（与野八幡小学校）
	張	信子（西浦和小学校）
	大井	信一（植竹中学校）
	吉野	勝則（常盤小学校）
	清宮	輝雄（栄小学校）
	新田	敦子（大宮八幡中学校）
	井原光太郎	（栄和小学校）
	暮泉	圭二（岸中学校）
監事	鈴木	勝雄（常盤小学校校長）

岩槻区が加わり 十区で新たなスタート

岩槻区小島信昭会長より「区の色と同じ鮮やかなやまぶき色のような運営を目指していきます」

岩槻区P連の事業を拡大してのビーチボール大会

赤城・舘岩少年自然の家 視察研修

「子どもたちが宿泊体験する施設に実際に肌で触れ、保護者の立場で施設のあり方や整備・充実について考えてみよう」と始まった。

教育委員会との懇話会

市P協設立当初から開催してきた教育委員会との交流会とは別に、より情報交換を密にするため、この年より新たに懇話会を開催することになった。

初回は、「良い学校とは」をテーマに、市P協副会長で城西大学助教授の伊関友伸氏をファシリテーターとしてワークショップ形式で行い、活発な意見交換が行われた。

広報紙コンクール受賞作品

※優秀賞作品（小学校6作品・中学校4作品）は日本PTAコンクールへ推薦

小学校の部

広報紙名	PTA名（学校）	優秀賞	佳作	入選
ときわ	常盤小PTA	つちあい	おおきまつじ	しらさぎ
わかごま	谷田小PTA	みやまえ	おおかわ	おおと
たかさご	高砂小PTA	さかえ	ひまわり	ゆずり葉
さかえ	栄小PTA	のだ	みぬま	やまびこ
みやまえ	宮前小PTA	野田小PTA	見沼小PTA	大谷場東小PTA
つちあい	土合小PTA	栄和小PTA	辻小PTA	下落合小PTA
のだ	野田小PTA	常盤北小PTA	大牧小PTA	大戸小PTA
さかわ	栄和小PTA	大牧小PTA	大戸小PTA	上木崎小PTA
ひまわり	常盤北小PTA	宮前小PTA	上木崎小PTA	
おおきまつじ	大牧小PTA	土合小PTA		
みぬま	大戸小PTA			
おおかわ	宮前小PTA			
おおと	上木崎小PTA			
しらさぎ				

中学校・特支学校の部

広報紙名	PTA名（学校）	優秀賞	佳作	入選
つどい	土合中P	おおやば	おおやば	なぎさ
八王子	八王子中P	大谷場中P	大谷場中P	岸
尾間木	尾間木中P	大成中PTAだより	大成中PTAだより	宮前中P
やわらぎ	三室中P	尾間木中P	柏陽中だより	東中PTAだより
おおやば	大谷場中P	柏陽中だより	柏陽中P	大宮東中P
大成中PTAだより	大成中P	三室中P		
柏陽中だより	柏陽中P			

理事名簿

会長 向江 正晃（片柳中学校）

副会長 茂木 芳英（大宮北中学校）
原口久美子（土合中学校）
新田 敦子（大宮八幡中学校）
石田 知（指扇小学校）
山崎 泰生（大宮小学校）
中村 友美（常盤北小学校）
若谷 充男（野田小学校）
江本 英仁（東大成小学校）
吉野 勝則（常盤小学校）
榎本 昇（大牧小学校）

総務 玉井 哲夫（大原中学校）
伊関 友伸（芝原小学校）
飯田 一恵（本太小学校 校長）
平山 雅敏（宮原小学校）
榎本 雅昭（大久保小学校）
田所 龍雄（内谷中学校）
佐藤 倫子（桜山中学校）
神生ともえ（与野南中学校）
天辰 武夫（浦和別所小学校）

事業 天野 雅裕（大砂土中学校）
長久保 学（西原小学校）

事業（研究大会） 配島 雅勝（馬宮東小学校）
吉野 喜八（与野八幡小学校）

広報・情報 清宮 輝雄（栄小学校）
小板橋通泰（大宮北小学校）
井原光太郎（栄和小学校）
池田 正二（和土小学校）
菊川 忠裕（土屋中学校）
橋本 正晴（前 会長）

監事 二重作和久（泰平小学校）
岡崎 和彦（上落合小学校）
小林 直太（大谷場東小学校）

顧問 大竹 隆一（岸中学校 校長）

第一回 研究大会開催

例年行っている役員等研修会の代わりに、市Ｐ協として初めての研究大会を開催。

【研究主題】様々なコミュニケーションの手法を体験を通して学ぶ

【主　催】さいたま市ＰＴＡ協議会

【後　援】さいたま市教育委員会

【開催日】平成十九年一月二十三日

【会　場】シーノ大宮（センタープラザ）

【参加者】各校ＰＴＡ代表者一名、教職員十二名程度

第1分科会の様子

第2分科会の様子

【第一分科会】
インプロ入門
▽感じるままに動いてみよう

【第二分科会】
ファシリテーション入門
▽活性化したＰＴＡをつくるには

【第三分科会】
親と子のコーチング入門
▽子どもと接するためのヒント

【第四分科会】
アサーティブ・トレーニング入門
▽さわやかな自己表現を学ぶ

【第五分科会】
これからの特別支援教育入門
▽教育的特別支援が必要な子どもたちとのよい関係作りを学ぶ

【第六分科会】
広報の技術入門
▽人に考えを伝えるには

広報紙コンクール受賞作品

※優秀賞作品（小学校６作品・中学校４作品）は日本ＰＴＡコンクールへ推薦

小学校の部

広報紙名	ＰＴＡ名（学校）
優秀賞	
つじ	辻小Ｐ
やまびこ	大谷場東小Ｐ
なかお	中尾小Ｐ
みんなのＰＴＡ	与野八幡小Ｐ
むつみ	仲町小Ｐ
みなみ	与野南小Ｐ
佳作	
わかごま	谷田小Ｐ
さかえ	栄小Ｐ
なかもと	仲本小Ｐ
つちあい	土合小Ｐ
ひまわり	常盤北小Ｐ
さしおうぎ	指扇小Ｐ
入選	
松ぼっくり	大砂土東小Ｐ
おおまき	大牧小Ｐ
ときわ	常盤小Ｐ
みやまえ	宮前小Ｐ

中学校・特支学校の部

広報紙名	ＰＴＡ名（学校）
優秀賞	
つどい	土合中Ｐ
うちや	内谷中Ｐ
東浦和	東浦和中Ｐ
尾間木中	尾間木中Ｐ
佳作	
銀杏	植竹中Ｐ
やわらぎ	三室中Ｐ
なぎさ	岸中Ｐ
入選	
大成中ＰＴＡだより	大成中Ｐ
ＴＯＲＯにっしん	土呂中Ｐ
しらはた	日進中Ｐ
白幡	白幡中Ｐ

理事名簿

会長　向江　正晃（片柳中学校）

副会長　茂木　芳英（大宮北中学校）
原口久美子（土合中学校）
神生ともえ（与野南中学校）

総務　菊川　忠裕（土屋中学校）
渡辺　紀子（大谷中学校）
吉野　勝則（常盤中学校）
若谷　充男（野田小学校）
菊池　英二（宮前小学校）
本多　均（三橋小学校）
榎本　昇（大牧小学校）

事業　玉井　哲夫（大原中学校）
伊関　友伸（芝原小学校）
大竹　隆一（岸中学校 校長）
角田　猛（大砂土小学校）
榎本　雅昭（大久保小学校）
田所　龍雄（内谷中学校）
新井　森夫（徳力小学校）
浅川　光行（植竹小学校）
本橋　修（善前小学校）

事業（研究大会）　中村　友美（常盤北小学校）
吉野　喜八（与野八幡小学校）
天野　雅裕（大砂土中学校）
長久保　学（西原小学校）

広報・情報　清宮　輝雄（栄小学校）
山崎　泰生（大宮小学校）
田辺　雄一（中島小学校）
中里のり子（慈恩寺中学校）
大澤　和治（土合小学校）
橋本　正晴（前 会長）
益江　朋紀（植竹中学校）
岡崎　和彦（上落合小学校）
小林　直太（大谷場東小学校）
加々美健一（大宮小学校 校長）

監事

顧問

第六十三回 指定都市ＰＴＡ連絡協議会 研究大会をさいたま市で開催

豊かな人間関係に基づいた社会に結びつくことを目的に研究大会を開催。一日目は研究主題について四つの分科会を行い、二日目はさいたま市協力のもと体験講座を行った。

【研究主題】様々なコミュニケーションの手法を体験を通して学ぶ
【主　催】指定都市ＰＴＡ連絡協議会、さいたま市ＰＴＡ協議会
【後　援】さいたま市　さいたま市教育委員会
【開催日】平成十九年九月二十七日・二十八日
【会　場】大宮ソニックシティ
【参加者】十三指定都市より約百三十名

大宮駅構内の案内板と向江実行委員長

心を潤す4つの言葉が採択されポスターが作成され市内小中学校へ配布された

●一日目

【第一分科会】インプロ入門
【第二分科会】ファシリテーション入門
【第三分科会】親と子のコーチング入門
【第四分科会】アサーティブ・トレーニング入門

●二日目　「潤いの時間」体験講座

【第一・二分科会】小中一貫英会話
【第三・四分科会】人間関係プログラム

天野雅裕氏が第三代会長に就任

六月の定期総会にて、第二代の向江正晃会長から、第三代の天野雅裕新会長へバトンが引き継がれた。天野会長からは、「ＰＴＡの会員として保護者と先生と互いに協力し、より良い親子関係と学校環境づくりを目指し、大切な子どもたちを社会的に一人前に育てられるような活動をしましょう」と、抱負が述べられた。

向江前会長から天野新会長に日本PTA常任幹事のバッチ授与

広報紙コンクール受賞作品

※優秀賞作品（小学校6作品・中学校4作品）は日本ＰＴＡコンクールへ推薦

小学校の部

広報紙名	ＰＴＡ名（学校）
優秀賞	
むつみ	仲町小ＰＴＡ
たかさご	高砂小ＰＴＡ
なかもと	仲本小ＰＴＡ
さかえ	栄小ＰＴＡ
わかごま	谷田小ＰＴＡ
松ぼっくり	大砂土東小ＰＴＡ
佳作	
ひまわり	常盤北小ＰＴＡ
さくらぎ	桜木小ＰＴＡ
ときわ	常盤小ＰＴＡ
なかじまＰＴＡ	中島小ＰＴＡ
しらさぎ	上木崎小ＰＴＡ
北浦和	北浦和小ＰＴＡ
にっしん	日進小ＰＴＡ
みやまえ	宮前小ＰＴＡ
うえたけ	植竹小ＰＴＡ
みんなのＰＴＡ	与野八幡小ＰＴＡ

中学校・特支学校の部

広報紙名	ＰＴＡ名（学校）
優秀賞	
つどい	土合中ＰＴＡ
宮前	宮前中ＰＴＡ
やわらぎ	三室中ＰＴＡ
さいたま八王子	八王子中ＰＴＡ
佳作	
岩中ＰＴＡだより	岩槻中ＰＴＡ
つちや	土屋中ＰＴＡ
つくしんぼ	浦和養護ＰＴＡ
おおとり	埼玉大学教育学部附属中ＰＴＡ
西中ＰＴＡ	与野西中ＰＴＡ
ＴＯＲＯ	土呂中ＰＴＡ
銀杏（いちょう）	植竹中ＰＴＡ

理事名簿

会長　天野　雅裕（大砂土中学校）
副会長　長久保　学（西原小学校）
田所　龍雄（内谷中学校）
若谷　充男（野田小学校）
泉　昇（市立養護学校）
総務　山崎　泰生（大宮小学校）
志村　巌（上大久保中学校）
水野　浩美（西浦和小学校）
老川　貴也（植水中学校）
山田　祐司（桜木小学校）
榎本　泰助（大久保東小学校）
本橋　修（善前小学校）
秋山　春美（慈恩寺中学校）
事業　神生　ともえ（与野南中学校）
渡辺　紀子（大谷中学校）
守富　勝男（高砂小学校　校長）
山崎　通弘（泰平中学校）
喜八　与野八幡小学校）
玉井　哲夫（大原中学校）
榎本　昇（大牧小学校）
飯沼　章（日進中学校）
宮本　英典（島小学校）
中村　友美（常盤北小学校）
奥山　健児（美園中学校）
広報・情報　山田　真治（馬宮中学校）
根岸　俊幸（桜木中学校）
田辺　雄一（中島小学校）
新井　森夫（徳力小学校）
都築　英生（馬宮東小学校）
向江　正晃（前　会長）
川村　清志（東大成小学校）
高島　清（上落合小学校）
高瀬　伸江（仲本小学校）
鳥塚　正二（大宮北中学校　校長）
監事
顧問

ＰＴＡ活動総合補償制度始まる

平成十五年に政令指定都市となると同時に埼玉県ＰＴＡ連合会より独立したが、ＰＴＡ活動時の補償制度は引き続き埼玉県安全互助会に加入させていただいていた。平成十七年に保険業法の一部改正により、ＰＴＡのこれまでの互助会制度の見直しを余儀なくされることになった。県ＰＴＡ連合会からの独立時に懸案事項でもあったことから、約二年間の準備期間を経て、市Ｐ協独自に設計した補償制度を保険会社に委託することとなった。

舘岩少年自然の家　視察研修

平成十七年度に始まった視察研修の流れを汲むもので、平成二十年度の新たな取り組みとして、子どもたちと同じ活動を体験するだけではなく、ボランティアとして「環境整備活動」が新たに加えられた。

裏山に登下山するための木段づくり、施設周辺の側溝清掃、花壇の除草などの作業を所員の方たちと参加者たちが一緒になって、大汗をかきながら行った。

渡辺紀子氏が第四代会長に就任

六月の定期総会にて、第三代の天野雅裕会長から、第四代の渡辺紀子新会長へバトンが引き継がれた。渡辺会長からは、「今年度の活動目標にありますように、『子どもたちの笑顔溢れる地域づくり・未来づくり』を目指して、会員の皆さまと一緒に子どもたちがより良い学校生活が送れるように、皆さまの声に耳を傾け、会員の皆さまと共にある協議会として活動していきたいと思います」と、抱負が述べられた。

就任の挨拶をする
渡辺紀子新会長

広報紙コンクール受賞作品

※優秀賞作品（小学校6作品・中学校4作品）は日本ＰＴＡコンクールへ推薦

小学校の部

広報紙名	ＰＴＡ名（学校）
優秀賞	
なかじまＰＴＡ	中島小Ｐ
松ぼっくり	大砂土東小Ｐ
つちあい	土合小Ｐ
しびらき	新開小Ｐ
ひがし	大宮東小Ｐ
むつみ	仲町小Ｐ
佳作	
やまびこ	大谷場東小Ｐ
海老沼	海老沼小Ｐ
たかさご	高砂小Ｐ
わかごま	谷田小Ｐ
みなみ	与野南小Ｐ
なかもと	仲本小Ｐ
さかえ	栄小Ｐ
北浦和	北浦和小Ｐ
つゆくさ	島小Ｐ

中学校・特支学校の部

広報紙名	ＰＴＡ名（学校）
優秀賞	
つどい	土合中Ｐ
西中ＰＴＡ	与野西中Ｐ
おおやば	大谷場中Ｐ
つちや	土屋中Ｐ
佳作	
やわらぎ	三室中Ｐ
岩中ＰＴＡだより	岩槻中Ｐ
大久保	大久保中Ｐ
はらやま	原山中Ｐ
宮前	宮前中Ｐ
東中だより	大宮東中Ｐ

理事名簿

会長　渡辺　紀子（大谷中学校）

副会長　長久保　学（西原小学校）
榎本　泰助（大久保東小学校）
本橋　修（善前小学校）

理事

総務委員会
山田　真治（馬宮中学校）
山田　祐司（桜木小学校）
吉野　喜八（与野八幡小学校）
磯田　和男（仲町小学校）
榎本　昇（大牧小学校）

事業委員会
置鮎　俊一（指扇小学校）
中野　栄寿（東宮下小学校）
長内　繁（土合中学校）
西野　幸代（尾間木中学校）
新井　森夫（徳力小学校）

広報・情報委員会
國井　英俊（宮前中学校）
柳田　英樹（三橋小学校）
星野恵美子（中尾小学校）
川村　清志（東大成小学校）
天野　雅裕（前　会長）

山崎　泰生（大宮小学校）
中村　友美（常盤中学校）
井出　英（東浦和中学校　校長）

宮下　慎一（泰平小学校）
宮本　英典（島小学校）
田辺　雄一（中島小学校）
中山　博貴（大谷口中学校）

山本　重樹（日進小学校）
神生ともえ（与野南中学校）
平松　昭浩（浦和中学校）
吉田　明彦（浦和別所小学校）

飯塚　博之（大宮別所小学校）
高島　清（上落合小学校）
秋山　春美（慈恩寺中学校）
木村　栄二（高砂小学校　校長）
向江　正晃（元　会長）

監事

顧問

第二回 研究大会開催

約三年ぶり二回目となる研究大会が開催された。

【目　的】「家庭教育の向上」について学ぶとともに、各区連の活動について情報交換を行い、活動の活性化を図る。

【開催日】平成二十一年十一月十二日

【会　場】シーノ大宮

【参加者】全体会…各校ＰＴＡ会長
分科会…各区連合会代表五名

【講演会】家庭教育について
講師…東京聖栄大学教授
岡田弘氏
「人間関係プログラム」作成委員会の委員長を務めた講師により、参加者をペアにして意見交換を交えた参加型で行われた。

【第一分科会】
区連情報交換
出席者全員が各区連の事業内容を説明後、「会長・校長会のあり方」や「会議内容のあり方」について情報交換がなされた。

【第二分科会】
家庭教育力について意見交換
「ＰＴＡ活動が本来の家庭教育学級の目的から会員の趣味的なものに偏っていないか。生涯学習という視点からすると否定できないが、親としてどうあるべきか」という視点から意見交換が活発に行われた。

広報紙コンクール受賞作品

※優秀賞作品（小学校6作品・中学校4作品）は日本ＰＴＡコンクールへ推薦

小学校の部

広報紙名	ＰＴＡ名（学校）
優秀賞	
たかさご	高砂小Ｐ
大けやき	大久保東小Ｐ
なかじまＰＴＡ	中島小Ｐ
なかもと	仲本小Ｐ
とわ	原山小Ｐ
むつみ	仲町小Ｐ
佳作	
つじ	辻小Ｐ
北浦和	北浦和小Ｐ
海老沼	海老沼小Ｐ
くすの木	七里小Ｐ
みぬま	見沼小Ｐ
つちあい	土合小Ｐ
さかえ	栄小Ｐ
すずや	鈴谷小Ｐ
かみおちあいＮＥＷＳ	上落合小Ｐ

中学校・特支学校の部

広報紙名	ＰＴＡ名（学校）
優秀賞	
つどい	土合中Ｐ
はらやま	原山中Ｐ
西中ＰＴＡ	与野西中Ｐ
大久保	大久保中Ｐ
佳作	
つちや	土屋中Ｐ
なぎさ	岸中Ｐ
ＴＯＲＯ	土呂中Ｐ
やわらぎ	三室中Ｐ
おおとり	埼玉大学教育学部附属中Ｐ
さいたま八王子	八王子中Ｐ

理事名簿

会　長　渡辺　紀子（大谷中学校）

副会長　中村　友美（常盤中学校）
榎本　泰助（大久保東小学校）
本橋　修（善前小学校）

理事

総務委員会
置鮎　俊一（指扇小学校）
山田　祐司（桜木小学校）
吉野　喜八（与野西中学校）
中山　博貴（大谷口中学校）
榎本　昇（大牧小学校）

事業委員会
保坂　和夫（土屋中学校）
坂本　甲次（大成小学校）
大野　相善（八王子中学校）
磯田　和男（仲町小学校）
老川　千夏（城北中学校）

広報・情報委員会
鎌田　兼司（宮前小学校）
柳田　英樹（三橋小学校）
森　俊朗（上木崎小学校）
高野　幸男（西原小学校）
北村　政則（大宮東小学校）
新井　森夫（徳力小学校）
吉田　明彦（浦和別所小学校）
木村　栄二（高砂小学校 校長）
高橋　努（大砂土小学校）
宮本　英典（島小学校）
井原光太郎（上大久保中学校）
澤登　直子（泰平中学校）
鵜沢　勇（見沼小学校）
吉野　康幸（土合小学校）
畠山　桃子（原山中学校）

監　事
若林　一彦（日進中学校）
荒井　哲（鈴谷小学校）
笠井　健太（尾間木小学校）
横田　守正（宮原中学校 校長）

創立十周年

記念式典・祝賀会

平成二十二年十一月四日
大宮ソニックシティ市民ホール

全国のＰＴＡ協議会として、六十一番目に発足したさいたま市ＰＴＡ協議会は、保護者並びに教職員の皆様のご協力のもと、教育委員会や地域の皆様のご支援をいただき、十周年を迎えることとなった。

磯田和男氏が第五代会長に就任

六月の定期総会にて、第四代の渡辺紀子会長から、第五代の磯田和男新会長へバトンが引き継がれた。磯田会長からは「区連会長、理事を通して聞こえてくる会員の皆さまの声が反映される、開かれた市Ｐ協を目指します」と、述べられた。

渡辺前会長から磯田新会長にバトンタッチ

常任理事会をつくり組織再編

会則を変更し、新たに常任理事会を設けることとなった。正副会長会と常任理事会の役割を明文化した。

【常任理事会】

第二十条　常任理事会は、正副会長及び常任理事をもって構成する。

二　常任理事会は、必要に応じて会長が招集し、議長を務める。

【正副会長会】

第二十一条　正副会長会は、会長及び副会長をもって構成する。

二　正副会長会は、必要に応じて会長が招集し、議長を務める。

三　正副会長会は、次の事項を審議する。

①常任理事会に付議する事項

②その他、会長が必要と認めた事項

広報紙コンクール受賞作品

※優秀賞作品（小学校6作品・中学校4作品）は日本ＰＴＡコンクールへ推薦

小学校の部

広報紙名	ＰＴＡ名（学校）
優秀賞	
さかえ	栄小ＰＴＡ
とわ	原山小ＰＴＡ
みぬま	見沼小ＰＴＡ
むつみ	仲町小ＰＴＡ
ときわ	常盤小ＰＴＡ
うえたけ	植竹小ＰＴＡ
佳作	
たかさご	高砂小ＰＴＡ
三つの橋	三橋小ＰＴＡ
はるおか	春岡小ＰＴＡ
きざき	木崎小ＰＴＡ
なかもと	仲本小ＰＴＡ
やまびこ	大谷場東小ＰＴＡ
すずや	鈴谷小ＰＴＡ
ゆずり葉	下落合小ＰＴＡ
なかお	中尾小ＰＴＡ

中学校・特支学校の部

広報紙名	ＰＴＡ名（学校）
優秀賞	
西中ＰＴＡ	与野西中ＰＴＡ
つちや	土屋中ＰＴＡ
つどい	土合中ＰＴＡ
はらやま	原山中ＰＴＡ
佳作	
おおとり	埼玉大学教育学部附属中ＰＴＡ
ななさと	七里中ＰＴＡ
やわらぎ	三室中ＰＴＡ
みはし	三橋中ＰＴＡ
みなみうらわ	南浦和中ＰＴＡ
尾間木	尾間木中ＰＴＡ

理事名簿

会長　磯田　和男（仲町小学校）

副会長　山田　祐司（桜木中学校）
高島　清（与野東中学校）

常任理事　保坂　和夫（土屋中学校）
船木まさこ（七里中学校）
井原光太郎（上大久保中学校）
笠井　健太（尾間木小学校）

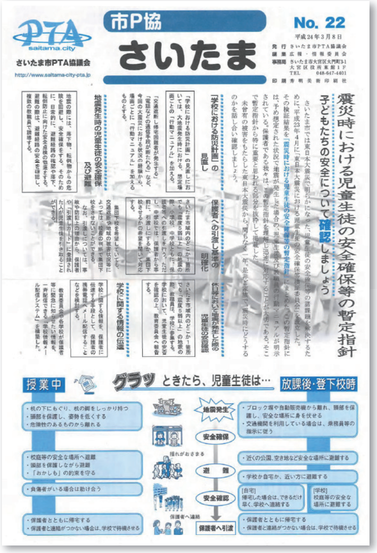
理事　事業委員会　井坂　功（馬宮東小学校）
石田　幸弘（大成中学校）
武藤　敏男（中島小学校）
手塚　健一（谷田小学校）
老川　千夏（城北中学校）

広報・情報委員会　根岸　稔（馬宮西小学校）
坂本　甲次（大成小学校）
松山　克彦（大久保東小学校）
小林　直太（大谷場中学校）
高野　幸男（西原小学校）
久保田　勲（春里中学校）
鵜沢　勇（見沼小学校）
望月秀登志（常盤中学校　校長）
澤登　直子（泰平中学校）
荒井　哲（鈴谷小学校）
中山　博貴（大谷口中学校）
新井　森夫（徳力小学校）
荒井　清司（日進北小学校）
小山　哲司（八王子中学校）
森谷　行雄（高砂小学校）
畠山　桃子（原山中学校）
高松　正毅（大砂土小学校）
相澤　秀行（春岡小学校）
森　俊朗（上木崎小学校）
山崎　充晴（三室中学校）
川瀬　敏行（北浦和小学校　校長）

監事

東日本大震災における児童生徒の安全確保等検証委員会　参画

平成二十三年四月、さいたま市では東日本大震災で明らかになった、児童生徒の安全確保等の諸問題を解決するために「東日本大震災における児童生徒の安全確保等検証委員会」を設立した。市Ｐ協もこれに参画し、検証結果をまとめた「災害時における児童生徒の安全確保等の暫定指針」の策定に協力した。この暫定指針には、予め想定された状況で地震が発生した場合の、児童生徒及び教職員の行動マニュアルが明示されている。保護者である我々は、この暫定指針を理解し迅速に対応することが大切で、家庭でも震災時にどうするのかを話し合い確認するよう呼び掛けた。


市P協　さいたま　No. 22
平成24年3月8日
さいたま市PTA協議会
http://www.saitama-city-pta.jp
発行　さいたま市PTA協議会
編集　広報・情報委員会
事務局　さいたま市大宮区大門町3-1　大宮区役所東館1F　TEL 048-647-4401
印刷　秀明美術印刷社

震災時における児童生徒の安全確保等の暫定指針
子どもたちの安全について確認しましょう

さいたま市では東日本大震災で明らかになった、児童生徒の安全確保等の諸課題を解決するために、平成23年4月に「東日本大震災における児童生徒の安全確保等検証委員会」を設立した。その検証結果を「震災時における児童生徒の安全確保等の暫定指針」にまとめた。この暫定指針には、予め想定された状況で地震が発生した場合の、児童生徒及び教職員の行動マニュアルが明示されている。保護者である我々は、この暫定指針を理解し迅速に対応することが大切である。そこで暫定指針から特に重要と思われる部分を抜粋して掲載した。未曾有の被害をもたらした東日本大震災から、間もなく一年。是非ご家族で、震災時にどうするのかを話し合い確認しましょう。

「学校における防災計画」の見直し
地震発生時の児童生徒の安全確保及び避難
保護者への引渡し基準の明確化
休日等において地震が発生した際の児童生徒の安全確認
学校に関する情報の伝達

グラッときたら、児童生徒は…
授業中
・机の下にもぐり、机の脚をしっかり持つ
・頭部を保護し、姿勢を低くする
・危険性のあるものから離れる
・校庭等の安全な場所へ避難
・頭部を保護しながら避難
・「おかしも」の約束を守る
地震発生
安全確保
揺れがおさまる
避難
放課後・登下校時
・ブロック塀や自動販売機から離れ、頭部を保護し、安全な場所に身を伏せる
・交通機関を利用している場合は、乗務員等の指示に従う
・近くの公園、空き地など安全な場所に避難する
・学校か自宅か、近い方に避難する

～災害時における児童生徒の安全確保等の暫定指針（抜粋）～

●「学校における防災計画」の見直し

…大地震発生時における状況の経緯から、場面ごとに「行動マニュアル」を加えるものとする。

●地震発生時の児童生徒の安全確保及び避難

…地震の際には、落下物、転倒物からの危険を回避し、安全確保をする。

●保護者への引渡し基準の明確化

…さいたま市域内のどこか一箇所でも「震度五弱以上」の地震の際、小学校、中学校ともに、保護者等への引渡しを行う。ただし、中学校では、保護者から事前に、引渡しにするか、集団下校させるかの希望を聞いて対応する。

●休日などにおいて地震が発生した際の児童生徒の安全確認

…さいたま市域内のどこか一箇所でも「震度五弱以上」の地震の際、教職員は、学校に参集し、児童生徒の安否を確認の上、教育委員会へ報告する。

●学校に関する情報の伝達

…学校に関する情報を、保護者に伝達する手段として、保護者の携帯電話へメール配信することなどを検討する。

→教育委員会や各学校が保護者等に緊急に知らせたい情報を一斉配信できる「学校情報メール配信システム」を構築した。

広報紙コンクール受賞作品

小学校の部

	広報紙名	PTA名（学校）
優秀賞	たかさご	高砂小P
	みぬま	見沼小P
	ときわ	常盤小P
	と　わ	原山小P
	な・か・じ・ま PTA	中島小P
	むつみ	仲町小P
佳作	すずや	鈴谷小P
	きざき	木崎小P
	なかもと	仲本小P
	みなみうらわ	南浦和小P
	松ぼっくり	大砂土東小P
	うえたけ	植竹小P
	つ　じ	辻小P
	つちあい	土合小P
	よしたけ	神田小P

中学校・特支学校の部

	広報紙名	PTA名（学校）
優秀賞	つどい	土合中P
	はらやま	原山中P
	つちや	土屋中P
	ななさと	七里中P
佳作	みはし	三橋中P
	八　幡	大宮八幡中P
	尾間木中	尾間木中P
	なぎさ	岸中P
	にっしん	日進中P
	みなみうらわ	南浦和中P

※優秀賞作品（小学校6作品・中学校4作品）は日本PTAコンクールへ推薦

理事名簿

会長	磯田　和男（常盤中学校）	
副会長	山田　祐司（桜木中学校）	鵜沢　勇（見沼小学校）
	船木まさこ（七里中学校）	高島　清（上落合小学校）
	佐藤　博志（大宮東小学校 校長）	
常任理事	辻　功（馬宮東小学校）	都築　浩二（日進小学校）
	小山　哲司（八王子中学校）	井原光太郎（上大久保中学校）
	田所　龍雄（内谷中学校）	大熊　博（大門小学校）
	新井　森夫（徳力小学校）	
理事　事業委員会	柴田貴代子（市立擁護学校）	西山　功（日進中学校）
	河原　友香（大宮南小学校）	岡崎　和彦（与野東中学校）
	武藤　敏男（中島小学校）	積田　鉄也（木崎小学校）
	小林　直太（大谷場中学校）	金子　孝行（芝原小学校）
	千島　洋子（城北中学校）	
理事　広報・情報委員会	飯野　貴之（大宮西小学校）	日野　亮輔（東大成小学校）
	中村　信市（第二東中学校）	相澤　秀行（春岡小学校）
	米山　慎司（田島中学校）	池田　和彦（木崎中学校）
	西ヶ谷一志（原山小学校）	髙野　幸男（西原小学校）
	加藤　清孝（沼影小学校）	
監事	吉野　喜八（与野西中学校）	佐藤　薫（大宮北中学校 校長）

東日本大震災復興支援活動実施

平成二十四年度、市Ｐ協の活動目的に新たに取り入れた「東日本大震災で被災した子どもたちへの支援に努める」活動の一環として各区の催事に各区連合会が来場者に被災地の子どもたちへの支援を呼びかけながら募金活動や物品販売をおこなった。

日本ＰＴＡ全国協議会では、「心のきずな61キャンペーン」として、全国に六十一あるＰＴＡ協議会の心をひとつにして、東日本大震災により孤児・遺児となった子どもたちのために、公益信託を設立し月額一万円の就学支援をするための募金活動を展開した。この時集まった一八五、六九九円はこのキャンペーンに募金した。

新設校ができる

緑区に「美園小学校」「さくら草特別支援学校」が新設された。

▲美園小学校

▲さくら草特別支援学校

さいたま市優良ＰＴＡ団体表彰及び文部科学大臣表彰校

■文部科学大臣表彰
美園中学校ＰＴＡ

■さいたま市優良ＰＴＡ団体表彰
桜木小学校ＰＴＡ
東宮下小学校ＰＴＡ
大宮南中学校ＰＴＡ

広報紙コンクール受賞作品

※優秀賞作品（小学校６作品・中学校４作品）は日本ＰＴＡコンクールへ推薦

小学校の部

広報紙名	ＰＴＡ名（学校）	作
優秀賞		
みぬま	見沼小ＰＴＡ	松ぼっくり
さかえ	栄小ＰＴＡ	東みやした
なかじまＰＴＡ	中島小ＰＴＡ	きざき
はるおか	春岡小ＰＴＡ	はるの
ときわ	常盤小ＰＴＡ	むつみ
うえたけ	植竹小ＰＴＡ	たかさごの
佳作		
みぬま	見沼小ＰＴＡ	大砂土東小ＰＴＡ
さかえ	栄小ＰＴＡ	東宮下小ＰＴＡ
なかじまＰＴＡ	中島小ＰＴＡ	木崎小ＰＴＡ
はるおか	春岡小ＰＴＡ	春野小ＰＴＡ
ときわ	常盤小ＰＴＡ	仲町小ＰＴＡ
うえたけ	植竹小ＰＴＡ	高砂小ＰＴＡ
		野田小ＰＴＡ
		本太小ＰＴＡ
		北浦和小ＰＴＡ

中学校・特支学校の部

広報紙名	ＰＴＡ名（学校）	作
優秀賞		
つちや	土屋中ＰＴＡ	おおとり
はらやま	原山中ＰＴＡ	ＴＯＲＯ
つどい	土合中ＰＴＡ	さいたま八王子
ななさと	七里中ＰＴＡ	西中ＰＴＡ
		もとぶと
佳作		
		埼玉大学教育学部附属中ＰＴＡ
みなみうらわ	南浦和中ＰＴＡ	
ＴＯＲＯ	土呂中ＰＴＡ	
さいたま八王子	八王子中ＰＴＡ	
西中ＰＴＡ	与野西中ＰＴＡ	
もとぶと	本太中ＰＴＡ	

理事名簿

会長
磯田　和男（常盤中学校）

副会長
山田　祐司（桜木中学校）
船木まさこ（七里中学校）
加藤　清孝（沼影小学校）

常任理事
辻　巧（馬宮東小学校）
岡崎　和彦（与野東中学校）
小坂　佐紀（原山中学校）

理事　事業委員会
河原　友香（大宮南中学校）
野上　一昭（南浦和小学校）
磯田　修（つばさ小学校）
積田　鉄也（本太中学校）
遠藤　哲夫（河合小学校）

広報・情報委員会
村田　晴美（大谷口中学校）
米山　慎司（田島中学校）
石原　啓一（芝川小学校）
池田　和彦（木崎中学校）
高野　幸男（西原小学校）
田辺　雄一（土合中学校）
鵜沢　勇（見沼小学校）
高島　清（上落合小学校）
野口　英世（本太中学校 校長）
西山　功（日進中学校）
榎本　雅昭（大久保中学校）
新井　森夫（慈恩寺中学校）
武藤　敏男（中島小学校）
伊藤　幹雄（土屋中学校）
近藤千絵子（与野本町小学校）
内田　和浩（美園中学校）
飯野　貴之（大宮西小学校）
都築　浩二（日進小学校）
平田　昭臣（七里小学校）
金子　孝行（芝原小学校）
小山　勝（高砂小学校 校長）

監事

鵜沢 勇氏が第六代会長に就任

六月の定期総会にて、第五代の磯田和男会長から、第六代の鵜沢勇新会長へバトンが引き継がれた。

鵜沢会長からは、「私たちＰＴＡは、学校・家庭・地域社会の在り方を今一度見つめ直し、あるべき姿に少しでも近づけるよう連携をはかり、より良い学校の環境づくりをしていきましょう」と、メッセージが伝えられた。

磯田前会長から鵜沢新会長に
日本PTA常任幹事のバッチ授与

平成二十六年度 関ブロ研究大会概要決まる

【大会スローガン】

ささえ合い **い**のち尊び **た**くましく
まごころつなぐ 子どもたちに
～五つのことだま 子は親の鏡
生き抜く力を子どもたちに～

【分科会テーマ】

「地域連携」「安心・安全」「健康」
「家庭教育」「人権」「組織・運営」
「伝統文化」

【全体会】 記念講演 沢田知可子氏

といった内容及び開催日時や主催、主管、後援等も決められた。

市Ｐ協では二十六年度の大会に備え二十五年度に準備委員会を立ち上げ、各区連合会を通じ各校ＰＴＡの皆様に大会スローガンや研究テーマについて公募した。いただいた声をもとにスローガン、テーマ、記念講演を決定し、総会にて全会一致で承認された。

さいたま市優良ＰＴＡ団体表彰及び文部科学大臣表彰校

■文部科学大臣表彰

七里小学校保護者と教職員の会

■さいたま市優良ＰＴＡ団体表彰

栄小学校ＰＴＡ
芝川小学校ＰＴＡ
常盤中学校ＰＴＡ
土合中学校ＰＴＡ

広報紙コンクール受賞作品

※優秀賞作品（小学校６作品・中学校４作品）は日本ＰＴＡコンクールへ推薦

小学校の部

広報紙名	ＰＴＡ名（学校）
優秀賞	
ときわ	常盤小ＰＴＡ
はるおか	春岡小ＰＴＡ
ほんまちだより	与野本町小ＰＴＡ
のだ	野田小ＰＴＡ
松ぼっくり	大砂土東小ＰＴＡ
なかもと	仲本小ＰＴＡ
佳作	
さかえ	栄小ＰＴＡ
きざき	木崎小ＰＴＡ
みなみ	与野南小ＰＴＡ
北浦和	北浦和小ＰＴＡ
なかじまＰＴＡ	中島小ＰＴＡ
東みやした	東宮下小ＰＴＡ
みぬま	見沼小ＰＴＡ
あゆみ	本太小ＰＴＡ
さくらぎ	桜木小ＰＴＡ

中学校・特支学校の部

広報紙名	ＰＴＡ名（学校）
優秀賞	
さいたま八王子	八王子中ＰＴＡ
はらやま	原山中ＰＴＡ
つどい	土合中ＰＴＡ
もとぶと	本太中ＰＴＡ
佳作	
上大久保	上大久保中ＰＴＡ
ＴＯＲＯ	土呂中ＰＴＡ
西中ＰＴＡ	与野西中ＰＴＡ
みはし	三橋中ＰＴＡ
桜樹	桜山中ＰＴＡ
つちや	土屋中ＰＴＡ

理事名簿

会長 鵜沢 勇（土呂中学校）

副会長 山田 祐司（桜木中学校）
高島 清（上落合小学校）
宮田 正己（桜木小学校 校長）

常任理事 荒井 清司（宮前中学校）
石原 啓一（第二東中学校）
榎本 雅昭（大久保中学校）
野上 一昭（南浦和小学校）

理事 事業委員会
川田 祐弘（桜木小学校）
川本 泰正（本太小学校）
青羽 章仁（与野八幡小学校）
中島 徳二（沼影小学校）
星 和彦（城南中学校）

広報・情報委員会
飯塚 博之（大宮別所小学校）
榎本 明男（中尾小学校）
宮澤 隆仁（蓮沼小学校）
手塚 健一（大谷場中学校）
中村 澄子（常盤北小学校）
磯田 和男（前 会長）

平田 昭臣（七里小学校）
新井 森夫（慈恩寺中学校）
小川 智幸（日進北小学校）
川西 美紀（与野南中学校）
丸山 史人（木崎小学校）
金子 孝行（芝原小学校）
津田 泰史（土屋中学校）
杉本 孝夫（春里中学校）
北爪 郁哉（新開小学校）
浅倉 稔明（原山小学校）

監事
高柴瀬里香（仲本小学校）
安田 博之（栄小学校）
小島 章禎（栄和小学校）
岡 淳信（西原小学校）
鹿目 賢一（常盤中学校 校長）

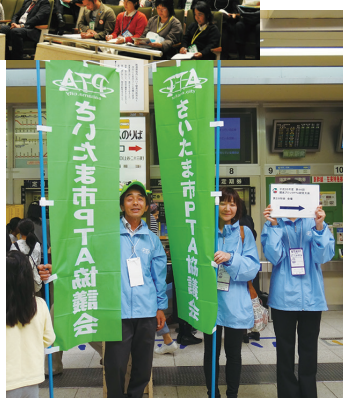
顧問

第四十六回 関東ブロックＰＴＡ研究大会 さいたま市大会 開催

大会スローガン

『㋐さえあい ㋑のち尊び ㋒くましく ㋓ごころつなぐ 子どもたちに』

～五つのことだま 子は親の鏡 生き抜く力を子どもたちに～



平成二十六年十月二十五日～二十六日、さいたま市内において第四十六回 関東ブロックＰＴＡ研究大会 さいたま市大会が開催された。「㋐さえあい ㋑のち尊び ㋒くましく ㋓ごころつなぐ 子どもたちに ～五つのことだま 子は親の鏡 生き抜く力を子どもたちに～」を大会スローガンに、五つの「ことだま」（絆・命・体・心・未来）の意味を問い、子どもたちと私たち大人が、笑顔で日々を元気に生きる未来につなげる大会となった。

さいたま市優良ＰＴＡ団体表彰及び文部科学大臣表彰校

■文部科学大臣表彰

東宮下小学校ＰＴＡ
見沼小学校ＰＴＡ

■さいたま市優良ＰＴＡ団体表彰

大宮南小学校ＰＴＡ
蓮沼小学校ＰＴＡ
田島中学校ＰＴＡ

広報紙コンクール受賞作品

※優秀賞作品（小学校６作品・中学校４作品）は日本ＰＴＡコンクールへ推薦

小学校の部

広報紙名	ＰＴＡ名（学校）	優秀賞	佳作
なかもと	仲本小ＰＴＡ	○	
なかじまＰＴＡ	中島小ＰＴＡ		
みなみ	与野南小ＰＴＡ		
はるおか	春岡小ＰＴＡ		
つちあい	土合小ＰＴＡ	○	
みぬま	見沼小ＰＴＡ		
東みやした	東宮下小ＰＴＡ	○	
ときわ	常盤小ＰＴＡ		
なかお	中尾小ＰＴＡ		
諏訪	東岩槻小ＰＴＡ		○
ひがし	大宮東小ＰＴＡ		
つじ	辻小ＰＴＡ		
あゆみ	本太小ＰＴＡ		
やまびこ	大谷場東小ＰＴＡ		
たかさご	高砂小ＰＴＡ		

中学校・特支学校の部

広報紙名	ＰＴＡ名（学校）	優秀賞	佳作
さいたま八王子	八王子中ＰＴＡ		
もとぶと	本太中ＰＴＡ		
つどい	土合中ＰＴＡ	○	
ななさと	七里中ＰＴＡ		
はらやま	原山中ＰＴＡ		
わだち	田島中ＰＴＡ		
西中ＰＴＡだより大樹	与野西中ＰＴＡ		○
ときわ	常盤中ＰＴＡ		
東風	与野東中ＰＴＡ		
銀杏	植竹中ＰＴＡ		

理事名簿

会長
鵜沢 勇（土呂中学校）

副会長
平田 昭臣（七里小学校）
榎本 雅昭（大久保中学校）
新井 森夫（慈恩寺中学校）
津田 泰史（土屋中学校）
河原 友香（大宮南中学校）
丸山 史人（木崎小学校）

常任理事
高島 清（上落合小学校）
野上 一昭（南浦和小学校）
中村 秀男（大宮南中学校校長）
三牧 淳也（宮原小学校）
青羽 章仁（与野八幡小学校）
金子 孝行（芝原小学校）

理事 事業委員会
川本 泰正（本太小学校）
中島 徳二（沼影小学校）
小川大二郎（芝川小学校）
菅野 雅代（上落合小学校）
岡田 年榮（柏崎小学校）
小島 章禎（栄和小学校）
青木 弘幸（馬宮東小学校）
鈴木二美子（七里中学校）
貴田 謙一（美園中学校）

広報・情報委員会
榎本 明男（中尾小学校）
高野 幸男（西原中学校）
宮下 慎一（泰平中学校）
今川 夏如（神田小学校）
手塚 健一（大谷場中学校）
関根 大輔（辻小学校）
岩田 哲也（春野小学校）
岡部 勉（大宮西小学校）
川田 祐弘（桜木中学校）
牧野 綾姫（常盤中学校）
今村 信哉（大宮小学校 校長）

監事

広報紙「市P協　さいたま」カラー化

平成二十七年三月発行「市P協　さいたま　No.28」より
・より会員がわかりやすいように
・より会員が興味を持つように
・より会員に有益な情報を届けられるように
広報紙のカラー化を図った。

いじめ防止スローガン採択

市P協では、子どもたちのいじめ撲滅を願い、いじめ防止スローガンを採択。
さいたま市主催「いじめ防止シンポジウム」において「いじめ防止スローガン」を発表後、いじめ防止ポスターの作成・配布等いじめの撲滅に務める。

いじめ撲滅ポスター

鴛岩少年自然の家、改修・増設工事開始

さいたま市は、現在二つある赤城少年自然の家、鴛岩少年自然の家を平成三十年度に鴛岩少年自然の家への一本化に向けて、改修・増設工事を開始。市P協では平成二十七年度をもって閉所する赤城少年自然の家を改めて見学し、長い歴史を感じるとともに、今後の鴛岩少年自然の家が素晴らしい体験学習施設となるよう視察研修・環境整備を行った。

鴛岩環境整備

館内清掃

木段整備

木段整備前に講習を受ける！

さいたま市優良ＰＴＡ団体表彰及び文部科学大臣表彰校

■文部科学大臣表彰
大砂土東小学校ＰＴＡ
上落合小学校ＰＴＡ

■さいたま市優良ＰＴＡ団体表彰
植竹小学校ＰＴＡ
東岩槻小学校ＰＴＡ
上大久保中学校ＰＴＡ

広報紙コンクール受賞作品

※優秀賞作品（小学校６作品・中学校４作品）は日本ＰＴＡコンクールへ推薦

小学校の部

広報紙名	ＰＴＡ名（学校）
優秀賞	
なかじまＰＴＡ	中島小Ｐ
松ぼっくり	大砂土東小Ｐ
つじみなみ	辻南小Ｐ
たかさご	高砂小Ｐ
みぬま	見沼小Ｐ
おおさと	浦和大里小Ｐ
佳作	
なかもと	仲本小Ｐ
ときわ	常盤小Ｐ
みなみ	与野南小Ｐ
はるおか	春岡小Ｐ
のだ	野田小Ｐ
諏訪さかえ	東岩槻小Ｐ
なかお	中尾小Ｐ
むつみ	仲町小Ｐ

中学校・特支学校の部

広報紙名	ＰＴＡ名（学校）
優秀賞	
東風	与野東中Ｐ
つどい	土合中Ｐ
ななさと	七里中Ｐ
西中ＰＴＡだより大樹	与野西中Ｐ
佳作	
くすのき	大宮南中Ｐ
もとぶと	本太中Ｐ
わだち	田島中Ｐ
ときわ	常盤中Ｐ
はらやま	原山中Ｐ
おおはら	大原中Ｐ

理事名簿

会長　鵜沢　勇（土呂中学校）
副会長　岩田　哲也（春野小学校）
高島　清（与野東中学校）
野上　一昭（白幡中学校）
常任理事　青木　弘幸（馬宮東小学校）
川田　祐弘（桜木中学校）
今井　正樹（尾間木小学校）
理事　事業委員会　岡部　勉（大宮西小学校）
菅野　雅代（上落合小学校）
高澤　茂（田島小学校）
加藤　清孝（内谷中学校）
横田　剛志（岩槻中学校）
広報・情報委員会　榎本　明男（中尾小学校）
杉本　浩一（大谷場中学校）
佐藤　修（大成中学校）
原　綾（中島小学校）
川嶋真奈美（川通中学校）
鴨志田順一（三室中学校）
青羽　章仁（与野八幡小学校）
丸山　史人（木崎小学校）
新井　英人（大宮南小学校校長）
磯田　修（つばさ小学校）
今川　夏如（神田小学校）
髙野　幸男（西原中学校）
鈴木二美子（七里中学校）
工藤　威人（上小小学校）
奈良　真侍（大東小学校）
貴田　謙一（美園中学校）
鶴　英雄（宮前小学校）
三牧　淳也（宮原小学校）
牛木　忠久（片柳中学校）
浅野　敬尚（常盤北小学校）
監事　安藤　盛光（内谷中学校校長）

創立十五周年記念 教育委員会との交流祝賀会

十月十四日　浦和ワシントンホテルにおいて創立十五周年記念交流祝賀会を、さいたま市長　清水勇人氏、市議会議員　桶本大輔氏、教育長　稲葉康久氏をはじめとする歴代市ＰＴＡ協議会長を含む多くの来賓にお越しいただき開催した。

新役員研修会（四月開催）

四月十九日市民会館おおみやにおいて役員研修会が行われた。この役員研修会は、各校ＰＴＡ本部の会長及び新年度の会長・副会長・会計を対象とした、役員セミナーとは別に新規に行われた事業で、「役員としての心構え」「会計について」「事業・地域連携」「組織運営」の四部構成にて行われた。

寸劇「地域のまつりに参加しよう（モギ会議）」の一幕

青羽章仁氏が第七代会長に就任

六月の定期総会にて、第六代の鵜沢勇会長から、第七代の青羽章仁新会長へバトンが引き継がれた。青羽会長からは、「子どもたちの健やかな成長を願うことを基軸に、先人諸先輩方が培ってきた経験や仕組みをしっかり検証し、次代につながる環境づくりを考えると共に、同じ地域で同世代の子育てをしていく私たちが共に学び、共に成長出来るＰＴＡ活動の一助となるべく活動してまいります」と、メッセージが伝えられた。

鵜沢前会長から青羽新会長に日本PTA常任幹事のバッチ授与

さいたま市優良ＰＴＡ団体表彰及び文部科学大臣表彰校

■文部科学大臣表彰
- 中島小学校ＰＴＡ
- 常盤北小学校ＰＴＡ

■さいたま市優良ＰＴＡ団体表彰
- 北浦和小学校父母と教師の会
- 岸町小学校ＰＴＡ
- 馬宮中学校ＰＴＡ

広報紙コンクール受賞作品

小学校の部

	広報紙名	ＰＴＡ名（学校）
優秀賞	つなぐ－な・か・じ・まＰＴＡ	中島小Ｐ
	おおさと	浦和大里小Ｐ
	ときわ	常盤小Ｐ
	ウイング美翔	美園小Ｐ
	諏訪	東岩槻小Ｐ
	なかもと	仲本小Ｐ
佳作	みぬま	見沼小Ｐ
	むつみ	仲町小Ｐ
	なかお	中尾小Ｐ
	よしたけ	神田小Ｐ
	たかさご	高砂小Ｐ
	北浦和	北浦和小Ｐ
	東みやした	東宮下小Ｐ
	のだ	野田小Ｐ
	わかば	向小Ｐ

中学校・特支学校の部

	広報紙名	ＰＴＡ名（学校）
優秀賞	もとぶと	本太中Ｐ
	ときわ	常盤中Ｐ
	つどい	土合中Ｐ
	東風（こち）	与野東中Ｐ
佳作	西中ＰＴＡだより－大樹	与野西中Ｐ
	くすのき	大宮南中Ｐ
	さいたま八王子	八王子中Ｐ
	わだち	田島中Ｐ
	おおとり	埼玉大学教育学部附属中Ｐ
	南十字星	与野南中Ｐ

※優秀賞作品（小学校６作品・中学校４作品）は日本ＰＴＡコンクールへ推薦

理事名簿

会長　青羽　章仁（与野八幡小学校）

副会長
- 鈴木二美子（七里中学校）　高島　清（与野東中学校）
- 菅野　雅代（上落合小学校）　丸山　史人（木崎小学校）
- 野上　一昭（白幡中学校）　野口　浩（与野東中学校 校長）

常任理事
- 鶴　英雄（宮前小学校）　石川　広之（大宮別所小学校）
- 小川大二郎（芝川小学校）　今川　夏如（神田小学校）
- 田中　豊太（三室小学校）　増岡　昌行（城南中学校）

理事

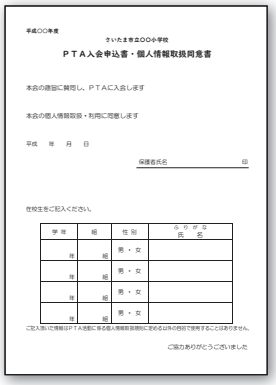
事業委員会
- 杉本　浩一（大谷場中学校）　平田　昭臣（七里小学校）
- 高澤　茂（田島小学校）　南　彰男（大宮西中学校）
- 山中　誉之（日進中学校）　遠藤　孝明（桜木中学校）
- 紅谷　弘二（上木崎小学校）　伊橋　勲（三室中学校）
- 齋藤　和美（桜山中学校）

広報・情報委員会
- 原　綾（中島小学校）　佐藤　修（大成中学校）
- 浅野　敬尚（常盤北小学校）　椿井　克昌（馬宮西小学校）
- 今井　健太（日進小学校）　坂東　敦（片柳小学校）
- 廣澤　勝幸（浦和別所小学校）　貴田　謙一（美園中学校）
- 中里　康（慈恩寺小学校）

監事　川嶋真奈美（川通中学校）　西川　和利（大宮小学校 校長）

ＰＴＡ任意加入の促進

平成二十九年五月三十日に、「個人情報保護法」が改正されたことをきっかけに、さいたま市ＰＴＡ協議会では、ＰＴＡ入会についての意思確認と、個人情報の取扱いについての同意を、市内すべての小・中・特別支援学校で徹底するべく取り組んだ。そうした中で、教育委員会とさいたま市ＰＴＡ協議会は、昨今のＰＴＡを取り巻く環境の変化をしっかり受け止め対応していくために、そして、これからのＰＴＡ活動がよりスムーズに運営できるよう、一層の連携強化の必要性を確認するに至った。学校とＰＴＡの折衝が円滑に進められるように教育委員会に側面支援を依頼し、教育委員会から各学校の校長先生に、ＰＴＡへの協力を呼び掛けていただいた。


平成○○年度

さいたま市立○○小学校

ＰＴＡ入会申込書・個人情報取扱同意書

本会の趣旨に賛同し、ＰＴＡに入会します

本会の個人情報取扱・利用に同意します

平成　年　月　日

保護者氏名　　印

在校生をご記入ください。

学年	組	性別	ふりがな 氏名
年	組	男・女	
年	組	男・女	
年	組	男・女	
年	組	男・女	

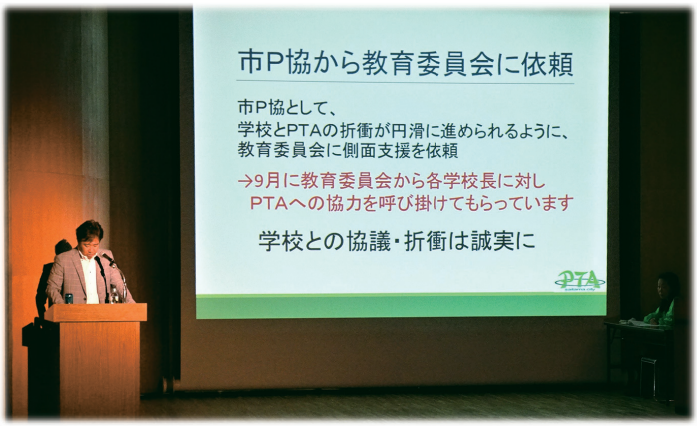
ご記入頂いた情報はＰＴＡ活動に係る個人情報保護期間に定める以外の目的で使用することはありません。

ご協力ありがとうございました

臨時役員研修会「個人情報保護法とＰＴＡ運営」開催

九月二十二日と二十六日の二日間に渡り、「個人情報保護法とＰＴＡ運営」についての臨時役員研修会（勉強会）を開催した。

両日共に各校ＰＴＡ役員で満席となり、メモを取りながら熱心に耳を傾ける参加者からは、ＰＴＡ入会への意思確認の必要性や個人情報の取扱いについて関心の高さが感じ取れた。また、「どのように進めてよいか迷っていたが、個人情報の取り扱いに対する同意書や、ＰＴＡ入会届の見本を実際に見せていただいた中で丁寧に説明をしてもらえ、今後の運営方法のイメージができました」「単会ＰＴＡとしてのスケジューリングと、学校側と何をどう話していけばよいかを具体的に教えていただけたので、今後、どのように動いていけばよいのかが明確に見えてきました」など、安心できたというが感想が多く、実のある研修会となった。



さいたま市優良ＰＴＡ団体表彰及び文部科学大臣表彰校

■文部科学大臣表彰
岸町小学校父母と先生の会
七里中学校ＰＴＡ

■さいたま市優良ＰＴＡ団体表彰
本太小学校父母と先生の会
芝川小学校ＰＴＡ
与野東中学校ＰＴＡ

事業委員会が作成した動画
「ホントにあった新任会長奮闘記」
作画：橋口たかし　原画提供協力：伊槇　勲

広報紙コンクール受賞作品

小学校の部

賞	広報紙名	ＰＴＡ名（学校）
優秀賞	かみおちあいＮＥＷＳ	上落合　小学校ＰＴＡ
優秀賞	べっしょつなぐときわ	浦和別所小学校ＰＴＡ
優秀賞	ＵＥＴＡＫＥ	中島　小学校ＰＴＡ
優秀賞	つじみなみ	常盤　小学校ＰＴＡ
優秀賞		植竹　小学校ＰＴＡ
優秀賞		辻南　小学校ＰＴＡ
佳作	諏訪	東岩槻　小学校ＰＴＡ
佳作	しばかわ	芝川　小学校ＰＴＡ
佳作	よしたけ	神田　小学校ＰＴＡ
佳作	はるおかなかもと	春岡　小学校ＰＴＡ
佳作	さくらぎ	仲本　小学校ＰＴＡ
佳作	松ぼっくり	桜木　小学校ＰＴＡ
佳作	やまびこ	大砂土東小学校ＰＴＡ
佳作	ぬまかげ	大谷場東小学校ＰＴＡ
佳作		沼影　小学校ＰＴＡ

中学校・特支学校の部

賞	広報紙名	ＰＴＡ名（学校）
優秀賞	さいたま八王子	八王子　中学校ＰＴＡ
優秀賞	大樹	与野西　中学校ＰＴＡ
優秀賞	ときわ	常盤　中学校ＰＴＡ
優秀賞	もとぶと	本太　中学校ＰＴＡ
佳作	わだち	田島　中学校ＰＴＡ
佳作	桜樹	桜山　中学校ＰＴＡ
佳作	つどい	土合　中学校ＰＴＡ
佳作	くすのき	大宮南　中学校ＰＴＡ
佳作	東風	与野東　中学校ＰＴＡ
佳作	ＯＮＡＲＩ	大成　中学校ＰＴＡ

※優秀賞作品（小学校６作品・中学校４作品）は日本ＰＴＡコンクールへ推薦

理事名簿

会長
青羽　章仁

副会長
野上　一昭
鈴木二美子
遠藤　孝明
杉本　浩一
齋藤　和美
宮原　孝

常任理事
南　彰男
宮島　和宣
阿部　達哉
今川　夏如
浅野　敬尚
佐藤　度
増岡　昌行

理事　事業委員会
紅谷　弘二
西部　洋二
伊槇　勲
茂木　一久
渡邊　哲也
藤井　健志
田中　絵里
山崎　栄慈
山田　圭介
押田　昌敏

広報・情報委員会
佐久間健志
合谷　竜一
松本　淳
田中　克典
横田　松博
井澤　孝行
國分　隆之
岡野　育広
渡辺　良憲
今溝　良司
川本　泰正

監事

会計顧問

与野八幡小学校
白幡小学校
東宮下小学校
桜木中学校
大谷場中学校
桜山中学校
常盤小学校　校長
大宮西中学校
宮原小学校
鈴谷小学校
神田小学校
常盤北小学校
尾間木小学校
城南中学校

上木崎小学校
春里中学校
三室中学校
土屋中学校
東大成小学校
大宮南中学校
八王子中学校
大久保東小学校
岸中学校
大宮北中学校

指扇北小学校
春野小学校
芝原小学校
大砂土小学校
大宮南小学校
大久保小学校
岸町小学校
西原中学校
植水小学校
白幡中学校　校長（元　理事）

コンプライアンス推進活動スタート（個人情報等）

六月の定期総会にて、前年の五月に改正された個人情報保護法への対応として、会則の一部改正と新たに個人情報取扱規程の制定についても審議された。

舘岩少年自然の家新館落成式

四月二十七日（金）、「舘岩少年自然の家新館落成式」に参加。「震災の後、放射能を心配し多くの学校が福島県への課外活動を自粛する中、子どもたちを送り出してくれたことへの感謝は一生忘れません。」という、南会津町長のお言葉が大変印象に残った。

（当時、風評被害もあったが、先生方は施設の放射線量を確認した上で子どもたちの安全を確保してくださった。）

旧館（とくさ館）と
新館（からまつ館）をつなぐ通路

市P協から参加した3名の役員

平成三十年度の要望書を手交

さいたま市PTA協議会は、細田教育長に対し、今後に向けたより一層の協力、連携強化を図り、さいたま市の子どもたち、市内各校のための要請を行い、青羽章仁会長から平成三十年度の要望書を手交した。要望書の内容については次のとおりである。

一、教育環境の改善とPTA活動の充実を図ること

学校を支えるPTA組織に対しての共通理解と、子どもたちのために「車の両輪」のごとく協力し合う学校との連携を強化して、市内の小中学校、特別支援学校へ通うすべての子どもたちがより充実した学校生活を送れるよう支え合い、正しい情報共有を図ること。

・PTAへの任意加入の理解と推進に伴う、学校との協力関係の説明及び入会促進への協力
・持続可能なPTA活動に対しての連携強化及び協力
・特別教室へのエアコンの導入

二、児童生徒の安全確保及び危機管理のための施策をより充実すること

自然災害発生時における防災対策として、学校・PTAが地域と連携して連絡網・対策マニュアルの整備、防災教育の充実、関係機関と今以上に連携すること、

・防災対策における学校・家庭・地域による連携した事業の実施

三、さいたま市自転車のまちづくり推進条例施行への対応

全国的に自転車事故による報道がなされている状況下で被害者・加害者にならな

いための家庭教育・学校教育を強化すること。
・各学校における自転車を利用した行事時
（未来くるワーク、部活動等）のヘルメット着用に対するルール、対応の明確化
・さいたま市自転車のまちづくり推進条例第十六条の趣旨に基づき、当協議会で推進している自転車賠償保険の点検呼びかけ及び未加入者への補償制度の案内を新入学学校説明会等で実施

要望書を細田教育長に手渡す
青羽会長

さいたま市優良ＰＴＡ団体表彰及び文部科学大臣表彰校

■文部科学大臣表彰
大砂土小学校ＰＴＡ
鈴谷小学校ＰＴＡ

■さいたま市優良ＰＴＡ団体表彰
東宮下小学校ＰＴＡ
片柳中学校ＰＴＡ
八王子中学校父母と教師の会

広報紙コンクール受賞作品

賞	広報紙名	ＰＴＡ名（学校）
小学校の部 優秀賞	かみおちあいNEWS	上落合　小学校ＰＴＡ
	つなぐ	中　島　小学校ＰＴＡ
	ときわ	常　盤　小学校ＰＴＡ
	あおば	与野西北小学校ＰＴＡ
	なかもと	仲　本　小学校ＰＴＡ
	東みやした	東宮下　小学校ＰＴＡ
小学校の部 佳作	諏訪	東岩槻　小学校ＰＴＡ
	みぬま	見　沼　小学校ＰＴＡ
	べっしょ	浦和別所小学校ＰＴＡ
	PTAだより 東大成小	東大成　小学校ＰＴＡ
	さくらぎ	桜　木　小学校ＰＴＡ
	やまびこ	大谷場東小学校ＰＴＡ
	きざき	木　崎　小学校ＰＴＡ
	UETAKE	植　竹　小学校ＰＴＡ
	よしたけ	神　田　小学校ＰＴＡ
中学校・特支学校の部 優秀賞	さいたま八王子	八王子　中学校ＰＴＡ
	わだち	田　島　中学校ＰＴＡ
	HARUSATO	春　里　中学校ＰＴＡ
	大　樹	与野西　中学校ＰＴＡ
中学校・特支学校の部 佳作	ときわ	常　盤　中学校ＰＴＡ
	もとぶと	本　太　中学校ＰＴＡ
	つどい	土　合　中学校ＰＴＡ
	東浦和	東浦和　中学校ＰＴＡ
	ななさと	七　里　中学校ＰＴＡ
	つちや	土　屋　中学校ＰＴＡ

※優秀賞作品（小学校６作品・中学校４作品）は日本ＰＴＡコンクールへ推薦

理事名簿

会長
青羽　章仁

副会長
杉本　浩一　与野八幡小学校
遠藤　孝明　大谷場東小学校
田中　絵里　桜木小学校
合谷　竜一　八王子中学校
今川　夏如　春野中学校
今溝　良司　神田小学校
南　彰男　白幡中学校　校長
渡邊　哲也　大宮西中学校
岩田　尚明　東大成小学校
阿部　達哉　大宮東中学校
大庭真喜子　鈴谷小学校
佐藤　度　常盤中学校
岡野　育広　尾間木中学校
西原中学校

常任理事
渡邊　哲也　大宮西中学校
岩田　尚明　東大成小学校
阿部　達哉　大宮東中学校
大庭真喜子　鈴谷小学校
佐藤　度　常盤中学校
岡野　育広　尾間木中学校
西原中学校

理事　事業委員会
山﨑　栄慈　上大久保中学校
田中　秋弘　春岡小学校
竹ノ谷純宏　日進小学校
小倉　裕輔　指扇中学校
紅谷　弘二　上木崎小学校
伊藤　桂子　辻南小学校
伊橋　勲　三室中学校
津多　一幸　城北小学校

広報・情報委員会
伊藤　一久　大砂土東小学校
阪本　和靖　宮前小学校
渡辺　浩志　日進北小学校
波多野　裕　大宮北中学校
井澤　孝行　大久保小学校
國分　隆之　岸町小学校
廣澤　勝幸　白幡中学校
貴田　謙一　美園中学校
黒田　好康　太田小学校
加納　紀子　大谷口中学校
三牧　淳也　宮原中学校
石田　耕一　大宮東小学校　校長（元　理事）
川本　泰正

監事

会計顧問

全国初！『全保護者向け』ＰＴＡガイドブック発行

平成二十九年五月三十日に「個人情報保護法」が改正されたことに伴い、ＰＴＡ入会についての同意と、個人情報の取扱いについての同意確認を、市内すべての小・中・特別支援学校で徹底するべく取り組んでいる中で、学校とＰＴＡが、ＰＴＡ活動の重要性や魅力を発信するために共有した意識を持てるように、教育委員会では管理職向けのチェックリストを作成し、それと同時に私たちＰＴＡ協議会は全保護者へ向けた本ガイドブックの作成に取り組んだ。こうした両者の連携・取り組みは、各学校、各校ＰＴＡ会長へと繋がるものであり、会員の皆さんの活動の大きな一助になればと考えてのことである。

また、ガイドブックを各家庭に配付することで、一人でも多くの保護者にＰＴＡ活動の意義や重要性を理解していただき、それぞれの学校で魅力ある活動に繋げていただきたいと考えている。仕事や家庭の事情などで、ＰＴＡ活動に時間を取るのが難しい保護者が増えたり、ネットやメディアなどでＰＴＡ不要論が取り沙汰されたりするなどの近年の社会状況の変化の中で、ＰＴＡの在り方とその活動について、運営側と保護者の皆さんが一緒に考えていけるように、また、時代に合わせた運営をたくさんの方で考えていただき、「継続可能な組織」作りに繋げていただきたいとの願いを込め、全国初の一般保護者向けＰＴＡガイドブックが誕生した。

ＰＴＡについて知りたかった８つのこと

①ＰＴＡは任意って本当？
②ＰＴＡに入らないと、子どもに不利益があるの？
③学校の集金とＰＴＡの集金とはどう違うの？
④学校に伝えている個人情報がＰＴＡを通じて他の保護者に知られてしまうのでは？
⑤できるひとができる時にが大原則
⑤女性が多くて男性はかかわりにくい・・・・・？
⑦ＰＴＡ役員をやってる人は、なぜやってるの？

岡野育広氏が、第八代会長に就任

六月の定期総会にて、第七代の青羽章仁会長から、第八代岡野育広新会長へバトンが引き継がれた。岡野会長からは、「青羽前会長のもと掲げられてきた基本方針『さいたま市の宝である子どもたちの健全育成を目指し、共に学び、共に成長できるＰＴＡ活動を実践する』を継承して、会員の皆さまのご協力をいただきながら、引き続き、子どもたちのためになるＰＴＡ活動を進めてまいりたいと考えております」という抱負が語られた。

青羽前会長から岡野新会長に
日本PTA常任幹事のバッチ授与

コミュニティ・スクール始動

さいたま市では令和元年度から、子どもたちが豊かに育つよう、地域との絆を強め、地域づくりの担い手を育てていくことにも繋がる「コミュニティ・スクール」制度を市立学校に導入した。さいたま市ＰＴＡ協議会としても、この制度について深く理解し保護者の皆さまと共有できるよう努めた。

一月に開催した教育委員会との懇話会では、教育委員会教育政策室から講師をお招きし、「コミュニティ・スクールの推進」～地域と

グループに分けて熟議

ともにある学校づくり～について深く学び、有意義な意見交換を行った。
令和四年度にはすべての市立学校での完全実施を目指している。

熱議を終え、グループ発表する理事

さいたま市優良ＰＴＡ団体表彰及び文部科学大臣表彰校

■文部科学大臣表彰
常盤小学校ＰＴＡ
八王子中学校父母と教師の会

■さいたま市優良ＰＴＡ団体表彰
大砂土東小学校ＰＴＡ
見沼小学校ＰＴＡ
芝川小学校ＰＴＡ

広報紙コンクール受賞作品

賞	広報紙名	ＰＴＡ名（学校）
小学校の部 優秀賞	かみおちあいＮＥＷＳ	上落合　小学校ＰＴＡ
	つなぐ	中島　小学校ＰＴＡ
	ときわ	常盤　小学校ＰＴＡ
	やまぶき	太田　小学校ＰＴＡ
	あおば	与野西北小学校ＰＴＡ
	やまびこ	大谷場東小学校ＰＴＡ
小学校の部 佳作	ほんまちだより	与野本町小学校ＰＴＡ
	みなみ	与野南　小学校ＰＴＡ
	みぬま	見沼　小学校ＰＴＡ
	東大成	東大成　小学校ＰＴＡ
	さいど	道祖土　小学校ＰＴＡ
	にっしん	日進　小学校ＰＴＡ
	はるおか	春岡　小学校ＰＴＡ
	ＵＥＴＡＫＥ	植竹　小学校ＰＴＡ
	なかもと	仲本　小学校ＰＴＡ
中学校・特支学校の部 優秀賞	さいたま八王子ＨＡＲＵＳＡＴＯ	八王子　中学校ＰＴＡ
	なぎさ	春里　中学校ＰＴＡ
	わだち	岸　中学校ＰＴＡ
		田島　中学校ＰＴＡ
中学校・特支学校の部 佳作	大樹	与野西　中学校ＰＴＡ
	もとぶと	本太　中学校ＰＴＡ
	桜樹	桜山　中学校ＰＴＡ
	つちや	土屋　中学校ＰＴＡ
	ときわ	常盤　中学校ＰＴＡ
	おおとり	埼玉大学教育学部附属中学校ＰＴＡ

※優秀賞作品（小学校６作品・中学校４作品）は日本ＰＴＡコンクールへ推薦

理事名簿

会長　岡野　育広

副会長　遠藤　孝明（西原中学校）
田中　絵里（桜木小学校）
合谷　竜一（八王子中学校）
今川　夏如（春野中学校）
伊藤　桂子（神田小学校）
並木　昌和（辻南小学校）
阪本　和靖（高砂小学校　校長）
茂手木　真（宮前小学校）
波多野　裕（植竹小学校）
紅谷　弘二（大宮北中学校）
和田　伸悟（上木崎小学校）
伊橋　勲（善前小学校）
三室中学校

常任理事
鈴木　利彦（鈴谷小学校）
瀬下　祐介（大宮別所小学校）
佐藤　度（尾間木中学校）
坂本　紀貴（土屋中学校）
松本　英人（海老沼小学校）
武藤　明弘（土合小学校）
松谷　一正（針ヶ谷小学校）
澤口　博（浦和別所小学校）
池田　拓矢（岸中学校）
黒田　好康（太田小学校）

理事　事業委員会
溝口　景子（与野南小学校）
長坂　兼一（大宮東小学校）
井澤　孝行（大久保小学校）
北原　浩勝（馬宮東小学校）
黒川　孚（日進中学校）

広報・情報委員会
小野寺教多（春野小学校）
星野　友和（大東小学校）
松本　淳（芝原小学校）
渡部　芳亮（岩槻中学校）
横田　松博（大宮南小学校）

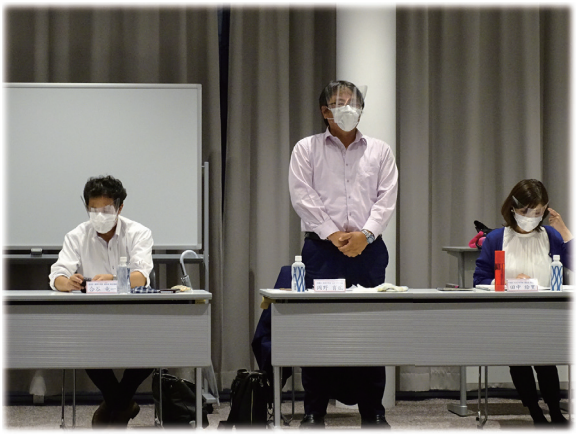
監事
大谷　愼也（木崎中学校　校長）
青羽　章仁（前会長）
川本　泰正（元理事）

顧問

会計顧問

コロナ禍における活動

二〇二〇年三月より、新型コロナウイルス感染拡大に伴う措置として、学校は三か月間臨時休業となった。そのような状況の中でスタートした令和二年度は、各学校のＰＴＡ活動も自粛や縮小を余儀なくされ、さいたま市ＰＴＡ協議会でも多くの事業を自粛し、中止や延期となった。しかし、その間にも「出来ることをする」を合言葉に、各学校のＰＴＡや各区連合会に寄り添った提案をさせていただき、ＰＴＡ協議会としての歩を止めることはなかった。



会議は、会場に全員が集まるのではなく、オンラインも含めたハイブリッド開催が常となった。

冊子発行『ＰＴＡ活動の手引き』

毎年四月に開催している「役員研修会」、毎年七月に開催している「役員セミナー」のどちらも開催がかなわなかったため、代替え案として「ＰＴＡ活動の手引き」の冊子を発行した。

初めてＰＴＡ役員になられた方にとっても円滑な活動の一助となるよう細かく配慮して完成に至った。今後も、この冊子を土台に、新たに校正を重ね、時代に合わせてより良いものにしていけたらと願っている。

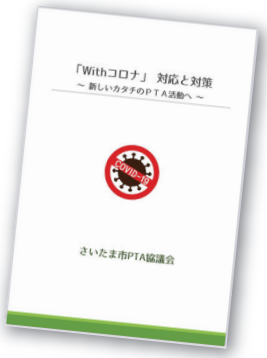
ＳＴＯＰ コロナ差別・いじめ

さいたま市内でも学校や地域・家庭など多くの場所で新型コロナウイルスの感染が発生した。その中で感染者や回復者、濃厚接触者とその家族に対する誤解や偏見による差別被害が発生するのを防ぐため、さいたま市ＰＴＡ協議会は「恐れるべきはウイルスであって人ではない」ということを発信し続けた。

新型コロナウイルスに感染しても、誰もが地域のなかで笑顔あふれる暮らしを取り戻せることの大切さを伝え、感染された方々それぞれの暮らしの場所で「ただいま」「おかえり」と受け入れられる雰囲気をつくり、思いやりのある暮らしやすい社会づくりを目指すことの呼びかけと、「さいたま市ＰＴＡ協議会は『シトラスリボンプロジェクト』に賛同し、参加してまいります」と宣言し、各校にポスターを配付した。

冊子発行
『「Ｗｉｔｈコロナ」対応と対策 ～コロナと向き合うＰＴＡ活動～』

コロナ禍で、保護者として学校や子どもたちのために今出来ることは何か、子どもたちが安心して生活するために出来ることは何かを考え、運営の参考として役立てていただきたいと願い、新型コロナウイルス感染症について、今わかっていること、消毒の方法やＰＴＡ活動での注意点などをまとめた冊子「『Ｗｉｔｈコロナ』対応と対策～コロナと向き合うＰＴＡ活動～」を発行し、九月に各校に三部配付した。



さいたま市優良ＰＴＡ団体表彰及び文部科学大臣表彰校

■文部科学大臣表彰

大宮東小学校ＰＴＡ
指扇小学校ＰＴＡ

■さいたま市優良ＰＴＡ団体表彰

大砂土東小学校ＰＴＡ
見沼小学校ＰＴＡ
上落合小学校ＰＴＡ

広報紙コンクール受賞作品

賞	広報紙名	ＰＴＡ名（学校）
小学校の部 優秀賞	かみおちあいＮＥＷＳ	上落合　小学校ＰＴＡ
	みぬま	見沼　小学校ＰＴＡ
	東みやした	東宮下　小学校ＰＴＡ
	さいど	道祖土　小学校ＰＴＡ
	なかもと	仲本　小学校ＰＴＡ
	松ぼっくり	大砂土東小学校ＰＴＡ
小学校の部 佳作	はるの	春野　小学校ＰＴＡ
	あおば	与野西北小学校ＰＴＡ
	ぬくもり	蓮沼　小学校ＰＴＡ
	むつみ	仲町　小学校ＰＴＡ
	よしたけ	神田　小学校ＰＴＡ
	さかわ	栄和　小学校ＰＴＡ
	のだ	野田　小学校ＰＴＡ
	ゆずり葉	下落合　小学校ＰＴＡ
	北斗	大宮北　小学校ＰＴＡ
中学校・特支学校の部 優秀賞	飛翔	西原　中学校ＰＴＡ
	さいたま八王子	八王子中学校　父母と教師の会
	ＨＡＲＵＳＡＴＯ	春里　中学校ＰＴＡ
	おおとり	埼玉大学教育学部附属中学校ＰＴＡ
中学校・特支学校の部 佳作	上大久保	上大久保中学校ＰＴＡ
	もとぶと	本太　中学校ＰＴＡ
	春野	春野　中学校ＰＴＡ
	希望を胸に	美園南　中学校ＰＴＡ
	寿能台	大宮北　中学校ＰＴＡ
	やわらぎ	三室　中学校ＰＴＡ

※優秀賞作品（小学校６作品・中学校４作品）は日本ＰＴＡコンクールへ推薦

理事名簿

会長　岡野　育広

副会長　遠藤　孝明（与野南中学校）
溝口　景子（三室中学校）
伊橋　勳（池田　拓矢）
長島　庸夫（佐久間健志）
中村　宏也（植竹中学校）
横田　松博（大宮南小学校）
石川　淳（東宮下小学校）
山崎　栄慈（上大久保中学校）
紅谷　弘二（上木崎小学校）
植杉　嘉明（大谷口小学校）

常任理事　西原中学校
桜木中学校
三室中学校
岸中学校
八王子中学校　校長
指扇中学校
植竹中学校
大宮南小学校
東宮下小学校
上大久保中学校
上木崎小学校
大谷口小学校

理事　事業委員会　宮島　和宣（宮原中学校）
和田　伸悟（大谷口中学校）
城處　満（大門小学校）
榎本　健司（馬宮西小学校）
松永　明大（大谷小学校）
渡邉　雅俊（与野東中学校）
秋池　孝紀（栄和小学校）
渡辺　康子（常盤中学校）
田中　淳人（河合小学校）

広報・情報委員会　小野寺教多（春野小学校）
村上　貴史（植水中学校）
内田　宜宏（美園南中学校）
小林慎太郎（大砂土小学校）
川名亜矢子（三橋中学校）
綿貫新之助（与野八幡小学校）
久保田健志（田島中学校）
井澤　孝行（大久保中学校）
渡辺　智美（本太中学校）
岡田幸太郎（柏陽中学校）

監事　伊藤　一久（大砂土東小学校）
石井　寛（大宮小学校　校長）
青羽　章仁（前会長）
川本　泰正（元理事）

創立二十周年を迎える

二〇二一年度、さいたま市ＰＴＡ協議会は創立二十周年を迎えることとなった。六月の定期総会では、三期連続で就任が決まった岡野育広会長より「これまで諸先輩方が培ってこられ積み重ねられた二十年に及ぶ協議会の伝統や文化を継承しつつ、新たな時代へ引き継ぐため、未来へ向けて『必要とされる協議会』活動を推進してまいります」と抱負が語られ、創立二十周年記念式典の開催や記念誌の発刊についても伝えられた。

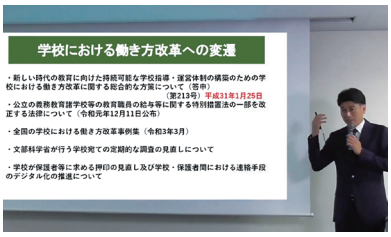
定期総会にて挨拶をする岡野会長

研修会等は、集会形式ではなく動画配信形式で開催

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、二〇二一年度の研修会では、一堂に会しての実施は行わず、撮影した動画の配信をもって開催する形式を取り入れている。各学校に動画サイトＱＲコードを載せた案内を配付し、サイトでパスワードを入力すると動画を視聴でき、見終わった後には、Ｇｏｏｇｌｅフォームアンケートで感想を回答していただく流れとなっている。

動画で研修会を開催することについては、「動画のため何度も見返す事ができ、また自分のタイミングで見る事もできた。フルタイムで仕事をしたり子育てをしているため大変助かった」「今後もＰＴＡ活動に時間をかけることができない会員は多くなる可能性もあるので、動画視聴の形式にしていただけると、より多くの人が研修会に参加しやすいと思う」など、肯定的な意見も多い一方で、「いつでも視聴できる動画は便利だと思ったが、やはり会場で直接お話を聞く方が集中出来て良いなと感じた」「動画の内容にあわせた書面資料があると理解度が増すと思う」など、検討材料となる意見も多くいただいている。それらの意見も参考に、今後も、状況に合わせたより良い開催方法を検討していきたい。

役員研修会「事務局より」



役員セミナー「特別講演：学校における働き方改革について」
・公益社団法人日本ＰＴＡ全国協議会顧問　東川勝哉氏

理事名簿

会　長　岡野　育広

副会長　茂手木　真　内田　宜宏　溝口　景子　山崎　栄慈　池田　拓矢　豊島　登

常任理事　佐久間健志　川田　倫世　川名亜矢子　石川　淳　鈴木　昇

理事　事業委員会　和田　伸悟　松永　明大　井澤　孝行　月城　国仁　出口　裕貴　押井　崇　城處　満　田中　隆介

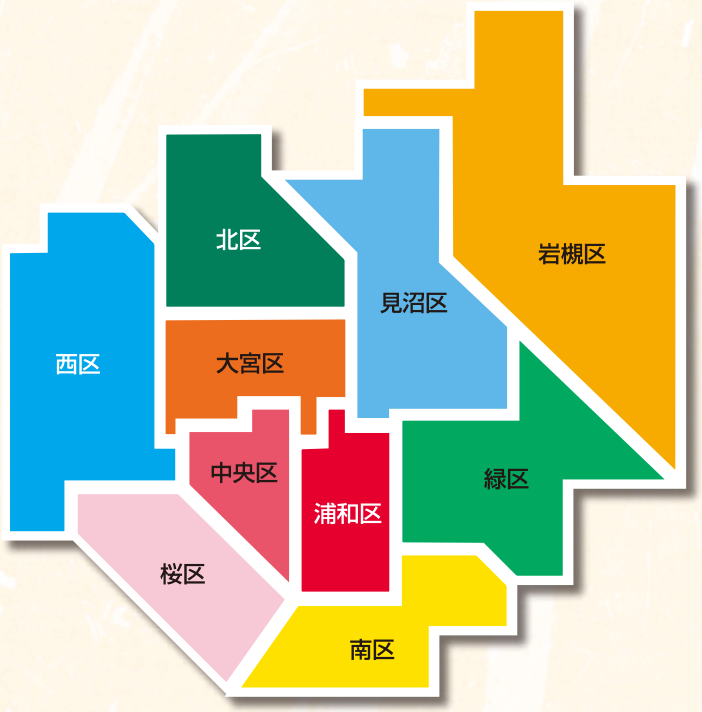
広報・情報委員会　大倉　慎吾　中村　学　片寄　善久　久下　真央　浅水　敦　富田　敏弘　中村　元洋　星野　友和　和田　洋樹　田中　淳人　遠藤　孝明　菅野千香子　松戸政世史　川本　泰正

特別委員会　西原中学校　植竹小学校　美園南中学校　与野南中学校　上大久保中学校　岸中学校　大宮東小学校　校長　指扇中学校　土呂中学校　三橋中学校　東宮下小学校　常盤小学校

監　事　大谷口中学校　大谷小学校　大久保中学校　指扇小学校　与野本町小学校　岸町小学校　大門小学校　太田小学校

会計顧問　善前小学校　中島小学校　与野南小学校　指扇北小学校　東大成小学校　上小小学校　片柳小学校　大門小学校　美園小学校　河合小学校　桜木小学校　上落合小学校　岩槻中学校　校長（元　理事）

各区連合会紹介



西区連合会

西区歴代区連会長	
配島　雅勝	平成十五～十七年
菊川　忠裕	平成十八年
菊池　英二	平成十九年
山田　真治	平成二十年
置鮎　俊一	平成二十一年
保坂　和夫	平成二十二年
辻　　巧	平成二十三～二十四年
荒井　清司	平成二十五年
津田　泰史	平成二十六年
青木　弘幸	平成二十七年
鶴　　英雄	平成二十八年
南　　彰男	平成二十九～三十年
阪本　和靖	令和元年
佐久間健志	令和二～三年

区連概要

西区連では、西区小中学校夏休み作品展ならびに西区中学生スポーツ大会という二大イベントを中心に、西区一体となってＰＴＡ活動を行っています。

子どもたちに、より多くの表彰の機会を！というスローガンのもと、学校の先生方をはじめ、西区役所、青少年育成会、さいたま市ＰＴＡ協議会の各種団体の協力のもと毎年開催されています。

作品展は、図画・ポスター部門、工作・創意工夫部門、書道部門にわかれ、夏休み中の思い出や学校生活での目標や信念を作品にして応募してくれます。作品が賞に選ばれるかどうか以上に、多くの子ども達が夏休みの作品展を楽しみに応募してくれるその姿に感動を覚えます。保護者や校長先生を交えた表彰式は、厳かな雰囲気のなか開催されますが、終了後の写真撮影会は微笑ましい限りです。

また、西区中学生スポーツ大会は、子ども達の中にすっかり浸透し、年間の各部活動のスケジュールに組み込まれています。大会で上位に名を連ねることを目標に、日々の部活動を頑張っている子ども達の姿に頼もしさを感じるとともに、部活動を通じて人間性や社会性を育んでいく姿は保護者としても嬉しい限りです。

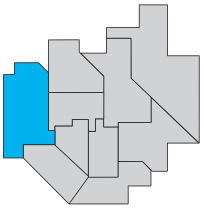
西区連は、月一回ほど幹事会を開催して区連各行事の段取りを調整したり、ＰＴＡに関する議題について議論し、区内各校の代表者間で意見交換をしています。会議の後は、懇親会を開催し、和気藹々とＰＴＡ活動について語り合うのも西区の団結を深めるのに一役買っています。私自身、右も左も分からずＰＴＡ会長に就任する中で、諸先輩方のアドバイスを頂きながら会長としての経験を積ませて頂き、そしてまた区内の会長さん達と仲良くさせて頂いてきました。

さて、時代は令和へと変わり、ますますＰＴＡへの変革と期待は高まっていく中、仲間と協力して大事を成し遂げる。そんな伝統的精神を忘れず、邁進していきたいと思うとともに、令和四年度に導入されるコミュニティ・スクールを推進し、本来のコミュニティの再構築が地域社会の醸成敷いては子ども達の健全育成に寄与することを祈念してやみません。

西区ふれあい祭りでのボランティア活動

西区スポーツ大会サッカー会場
（全面芝の会場は大好評）

西
NISHI
区



指扇北小学校

指扇中学校

ひまわり特別支援学校

指扇小学校

宮前中学校

土屋中学校

宮前小学校

栄小学校

大宮西中学校

馬宮東小学校

大宮西小学校

馬宮西小学校

馬宮中学校

植水中学校

植水小学校

北区連合会

北区歴代区連会長	
小田　公一	平成十五年
大井　信一	平成十六年
江本　英仁	平成十七年
浅川　光行	平成十八年
山﨑　通弘	平成十九年
宮下　慎一	平成二十年
高橋　努	平成二十一年
澤登　直子	平成二十二年
都築　浩二	平成二十三年
西山　功	平成二十四年
小川　智幸	平成二十五年
三牧　淳也	平成二十六年
磯田　修	平成二十七年
石川　広之	平成二十八年
宮島　和宣	平成二十九年
渡邊　哲也	平成三十年
茂手木　真	令和元年
中村　宏也	令和二年
川田　倫世	令和三年

区連概要

北区連合会は、北区内の小学校九校、中学校五校、特別支援学校一校の計十五校で構成されています。総会や校長会長会、会長副会長会などを通して、各校役員間の交流を図っています。また、それぞれの活動の中で、各校における活動内容や課題を共有することで、そこで得た学びやアイデアを各校のＰＴＡ活動にフィードバックできるよう工夫をしています。

主な活動

区連内での特色ある事業として、舘岩少年自然の家に寄贈する竹串製作があります。これは、舘岩では竹が生育しにくい環境であることを聞き、北区内で行われる日進七夕まつりで飾り終えた竹を役立てられるのではないかというアイデアから二〇一六年より始まった事業です。今では、現役の各校会長に加え、ＯＢ・ＯＧ有志も参加する一大イベントになっています。

もうひとつ、北区民まつりへの参加も区連にとって大きなイベントです。各校会長、副会長が協力して、来場する方々や地域の他団体の方々と交流をする中で、相互理解が深まり、より一層交流しやすい雰囲気づくりに役立っています。

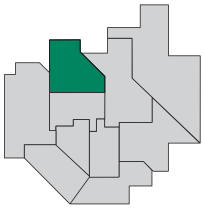
年間の主な活動

- 定期総会（五月）
- 会長会（七月、九月、十月、三月）
- 校長・会長会（七月、十二月）
- 会長・副会長会（九月、二月）
- 竹串製作（八月）
- 北区民まつり（十一月）

舘岩少年自然の家にてイワナを焼く際に使用する竹串製作活動

区民まつり

北区 KITA



宮原中学校

宮原小学校

泰平小学校

大宮別所小学校

泰平中学校

大砂土小学校

日進北小学校

つばさ小学校

日進小学校

土呂中学校

植竹中学校

日進中学校

埼玉大学教育学部附属特別支援学校

東大成小学校

植竹小学校

大宮区連合会

大宮区歴代区連会長	
齋藤　博一	平成十五年
鳥居　夏樹	平成十六年
茂木　芳英	平成十七～十八年
山田　祐司	平成十九～二十四年
石原　啓一	平成二十五年
河原　友香	平成二十六年
川田　祐弘	平成二十七年
小川大二郎	平成二十八年
遠藤　孝明	平成二十九年
岩田　尚明	平成三十年
波多野　裕	令和元年
横田　松博	令和二年
川名亜矢子	令和三年

区連概要

大宮区連合会は小学校九校、中学校七校のＰＴＡで成り立っています。特に小学校は歴史の古い学校が多いのが特徴で、創立から百年以上の歴史を誇る学校も複数あります。

コロナ禍以前は「おやじの会」（学校ごとの父親たちの集まり）の活動が活発な学校も多く、「おやじの会」同士の交流も盛んに行われていました。

また、大宮区は「おやじの会」の交流もさることながら、各校ＰＴＡの結びつきが強いのも特色の一つです。区民まつりでのブース出展など、区連合会で行う行事でも協力しあう場面が多くみられ、毎年盛況です。

「コロナ後」の世界、そしてＰＴＡ活動がどうなっていくのか、まだ答えは見えてきません。子どもたちが主役の学校生活とそれを学校とともに支える存在となるべく、今後も活発に活動するＰＴＡでありたいと考えています。

2019 区民ふれあいフェア

大宮区連合会の活動内容について

毎月定例の役員会にて報告事項、協議事項のほか、ツイッタータイムを設けて単会での悩みごとなどをざっくばらんに話し合い、共有しています。

年二回程度、会長校長会を実施し、講師を招いて研修や意見交換を行っているほか、年一回、副会長連絡会での情報交換も実施しています。

十月に実施される区民まつりには毎年参加し、ブース出展でのタピオカの販売などを行い、交流事業も積極的に進めています。

二〇一三年から実施している「絆缶プロジェクト」は、各学校で集めたアルミ缶を回収し、売却で得た収益金を被災地等へ義援金として届ける事業で、支援の輪を広げてきました。また、絆缶の活動を表すキャラクター「きずにゃん」も誕生しました。

東松山南中学校

熊本　河原小学校

三行詩ファイル
（きずにゃん）

三行詩選定

熊本　河原小学校2

広島　天応小中学校

絆缶　回収活動

二〇一三～二〇一六年　東日本大震災復興支援
岩手県　大槌小学校

二〇一七～二〇一八年　熊本地震復興支援
熊本県　河原小学校

二〇一九年　西日本豪雨災害復興支援
広島県　天応小・中学校

二〇二〇年　東日本台風復興支援
埼玉県　東松山南中学校

二〇二〇年度からはコロナ禍で行事が中止となるなか、部活動を制限されていた中学生のために区内交流戦支援を行ったほか、役員会において防災クッキングを実施し、単会にフィードバックするなどの活動を行いました。今後はコロナ後も見据え、区内の小中学生の交流事業を検討しており、二〇二二年三月にフィナーレを迎える市民会館おおみやのお別れ会イベントでの交流事業を企画しています。

防災クッキング

2018 区連総会

2019 区連総会

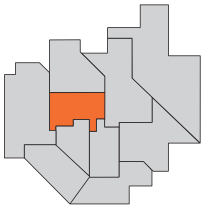
2020 会長校長会

2020 副会長連絡会

2021 会長校長会

2021 会長校長会 講話

大宮 OMIYA 区



大宮北小学校

大宮北中学校

大成小学校

大宮小学校

大宮東小学校

大成中学校

第二東中学校

三橋中学校

大宮東中学校

三橋小学校

芝川小学校

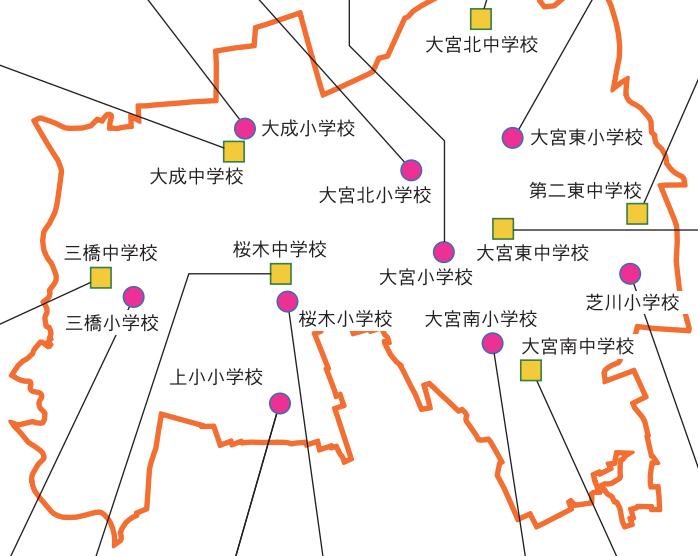
桜木中学校

桜木小学校

大宮南中学校

上小小学校

大宮南小学校



見沼区連合会

見沼区歴代区連会長	
山崎　聡亮	平成十五～十六年
新田　敦子	平成十七年
天野　雅裕	平成十八年
渡辺　紀子	平成十九年
宮本　英典	平成二十～二十一年
船木まさこ	平成二十二～二十三年
鵜沢　勇	平成二十四年
平田　昭臣	平成二十五～二十六年
岩田　哲也	平成二十七年
鈴木二美子	平成二十八～二十九年
合谷　竜一	平成三十～令和元年
石川　淳	令和二～三年

区連概要

●見沼区連合会の紹介

見沼区連合会は区内市立小学校十一校、中学校七校、計十八校、令和三年度の会員数は九、五四二世帯で、見沼区各校ＰＴＡの情報交換と会員連携の場として活動しております。

令和元年度末以降、コロナ感染拡大に伴い、従来の活動がほぼ出来ませんでしたが、令和三年度からは感染対策を取りながら、事業が進められるよう工夫をしながら活動を行っております。

●見沼区連合会の主な事業

●年三回の正副会長会（各校情報交換・ディスカッション、講演会等）

●親善球技大会（令和元年までビーチボールバレー、令和三年～ふらば～るバレー）

●ふるさと見沼絵画展（各校十一点、市長賞・教育長賞、市Ｐ協会長賞ほか選出）

●ＰＴＡコーラス祭（学校単位ではなく区連として参加）

●「ふるさと見沼」見沼区連合会広報誌発行（区連各校紹介ページ）

●校長・会長会（講演会・グループディスカッション）など

主な活動紹介

●親善球技大会について

見沼区連合会がビーチボールを始めたきっかけは、岩槻区連合会のビーチボール大会にゲストとして参加させていただいたことでした。その後、平成二十二年度より親善ビーチボール大会を開催することとなりました。三十一チーム出場した大会もあり、見沼区連合会の事業として定着することが出来ました。

今年度よりふらば～るバレーに形を変えますが、今後も運動を通じてコミュニケーションが図れる事業を継続していきたいと思います。

●ふるさと見沼絵画展について

第2回見沼区ふれあいフェアより絵画展を共催、各校十一枚ずつ絵画を厳選し、区役所ロビーに展示。市Ｐ協会長賞など表彰しています。また三行詩の受賞作品も同時に展示しています。

ステージでは区連で考えた見沼区ウルトラクイズを開催。多くの子ども達と楽しいひと時を過ごしています。第十回記念フェアでは各校にご協力頂き、様々な演目を子ども達が一生懸命披露しました。東日本大震災後は寄せ書き・募金活動を行い、区連としてその時々に出来ることで関わっていきたいと思います。

●ＰＴＡコーラス祭について

校長先生方とＰＴＡ会長達で、声と心を合わせて「見沼区の子どもたちへエールを送りたい」という熱い気持ちで見沼区連は、第五回（平成十九年度）より参加して参りました。

当初は有志中心でスタートしましたが、やがて区連の正式な事業として校長先生にコーラス指導のご協力をいただき、校長先生方とＰＴＡ会長達で参加するようになりました。練習期間は短いですが、子どもたちの幸せを願う気持ちを乗せてお届けしています。見沼区連合会の結束を育む自慢の事業です。

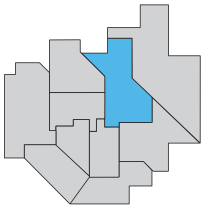
コーラス祭

親善球技大会

ふれあいフェア

ふるさと見沼情報誌

見沼 MINUMA 区



春野小学校

春岡小学校

春野中学校

島小学校

春里小学校

蓮沼小学校

七里小学校

見沼小学校

大砂土中学校

七里中学校

大砂土東小学校

東宮下小学校

大谷中学校

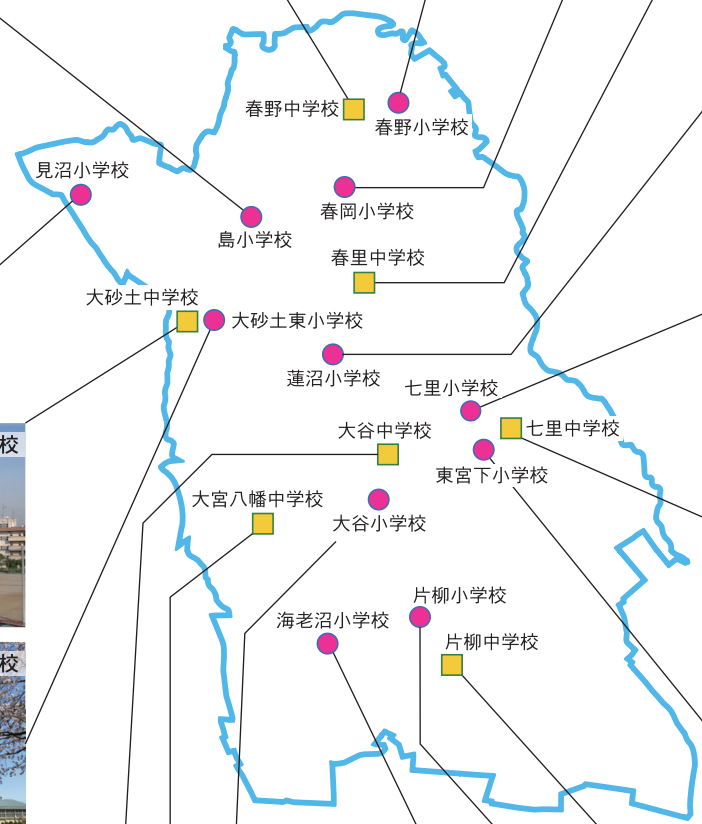
片柳中学校

大宮八幡中学校

大谷小学校

海老沼小学校

片柳小学校



中央区連合会

中央区歴代区連会長	
天野　博	平成十五年
吉野　喜八	平成十六～二十一年
荒井　哲	平成二十二年
小山　哲司	平成二十三年
岡崎　和彦	平成二十四年
川西　美紀	平成二十五年
青羽　章仁	平成二十六～二十七年
高島　清	平成二十八年
阿部　達哉	平成二十九～三十年
田中　絵里	令和元年
溝口　景子	令和二～三年

区連概要

・中央区連合会は、小学校八校・中学校四校の計十二校がワンチームとなりしっかり連携!!

・「会員意識を高揚し、組織の充実と活性をはかる」、「ＰＴＡ相互の連携を緊密にし、研究と交流を深める」、「青少年の健全育成のため、地域の環境浄化を推進すると共に安全意識の高揚に努める」、「関係団体との連携を蜜にし、活動の振興を図り会員の研修に努める」を目標としています。

・理事役員は二十五名、各校ＰＴＡの正副会長二名と校長会より一名が参加しています。理事会では区連の事業検討や様々な情報交換を行います。令和二～三年度はコロナ禍の影響もあり、ＷＥＢコンテンツを利用しての会議も行いました。

十二校ＰＴＡの連携を深めるため、ＰＴＡ正副会長、校長先生がそれぞれの立場から情報発信を行い、共有する事で、地域に保護者同士のネットワークを築いています。

中央区連合会活動紹介

●ばらまつり・区民まつり参加

中央区連合会では、毎年、「ばらまつり」と「中央区区民まつり」にブースを出店しています。近年では、親子で楽しんでいただける「縁日」や「アメリカンフラワー制作補助」、「チュリトス調理＆販売」、「特別支援学級への募金」を行い、親子で楽しんでくださる姿や、子どもたちが嬉しそうにチュリトスを食べる姿が大変印象的でした。子どもたちからもたくさんの「楽しかった！」という声をいただいています。（令和二～三年度はコロナ禍のため中止。）

ばらまつり

区民まつり

●各校ＰＴＡの活動充実にもリンクする委員会活動

「校外対策委員会」「成人教育委員会」「広報委員会」の三つの委員会が活動しています。各校ＰＴＡの委員が参加することで、それぞれの取り組みや課題についての情報交換が盛んに行われ、委員会本来の役割の理解と、情報交換の成果を各校ＰＴＡの活動に結びつけています。

令和二年度の各委員会活動

・校外対策委員会

自転車を利用する皆さんへ「大切なお知らせ」発行

「自転車利用における安全」について取り組み、二〇一九年四月一日に施行された「さいたま市自転車のまちづくり推進条例」にもスポットを当て、保護者の皆さまにも、お子さまが自転車に乗る際の安全について改めて考えていただく機会を持っていただけるようにお知らせを作成いたしました。

・成人教育委員会

オンライン講座「新型コロナに負けない丈夫な体をつくる食事、免疫力を高める食事」開催

保護者が生きる基本の「食」を改めて学ぶことにより、子どもたちの健やかな成長の一助としたいと思い、人間総合科学大学の秋山佳代先生をお迎えしてオンライン講座を企画しました。

・広報委員会

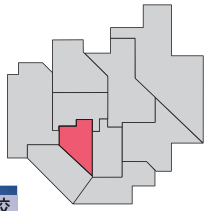
広報紙【ＰＴＡ中央】を年間二回発行

令和二年度は成人教育委員会と協力し、オンライン講座のアンケート結果の紹介や、各校栄養士の皆さまからご紹介いただいた「免疫力を高める素材を使ったレシピ」を掲載しました。

●その他の活動について

定期総会や理事会、三役会はもちろんのこと、歓送迎会や懇談会、講演会や情報交換会などの事業を行うことで、十二校のコミュニケーションを深め、連帯感を高めています。

中央区 CHUO



与野八幡小学校

上落合小学校

与野西北小学校

下落合小学校

与野本町小学校
“ニコニコ しっかり 美しく” 本町の心
祝 創立150周年 さいたま市立与野本町小学校

与野東中学校

八王子中学校

与野西中学校

大戸小学校

与野南中学校

鈴谷小学校

与野南小学校

さいたま市立
与野八幡小学校

“ニコニコ しっかり 美しく” 本町の心
祝 創立150周年 さいたま市立与野本町小学校

さいたま市立
与野東中学校

開校50周年
みんなかがやく 鈴谷の子

与野南小学校

上落合小学校
下落合小学校
与野八幡小学校
与野西北小学校
与野東中学校
与野本町小学校
八王子中学校
与野西中学校
鈴谷小学校
大戸小学校
与野南小学校
与野南中学校

桜区連合会

桜区歴代区連会長	
興津　武志	平成十五年
榎本　雅昭	平成十六～十八年
田辺　雄一	平成十九～二十年
井原光太郎	平成二十一～二十三年
榎本　雅昭	平成二十四～二十六年
今川　夏如	平成二十七～令和元年
山﨑　栄慈	令和二～三年

区連概要

【桜区】十二校緊密連携

・十二校が単に情報交換を行うだけでなく、各校ＰＴＡ会長や役員が実際に連携した活動を行う桜区連です。

・各校のＰＴＡ会長の連携はもとより、各校の副会長、広報担当者も情報交換を頻繁に行い、単会の枠を超え、桜区連全体としてＰＴＡ活動を行っています。

・小学校八校（土合小、大久保小、栄和小、田島小、大久保東小、新開小、神田小、中島小）中学校四校（土合中、大久保中、田島中、上大久保中）で活動を行っています。

【区連の特徴】十二校のリアルタイムネットワーク

桜区連合会は十二校。各校ＰＴＡ会長が参加する理事会は、対面やＷＥＢ会議を含め年六回程実施されています。

桜区の特徴として、各校のＰＴＡ会長の連携だけでなく、副会長や広報情報委員が単会の枠を超え情報交換及び交流を行っています。ＷＥＢページを使用し、素早く広く区連内で情報共有を行っています。提供された情報は各校会長が共有するだけではなく、各校副会長や広報情報委員も確認し、各校のＰＴＡ活動や区連活動に生かされています。

【専門委員会、連合会事業】

桜区連合会では、総会、広報紙発行（年二回）、親子ふれあいフェスタ、あいさつ運動、校長会長研修会、各種講演会、桜区区民ふれあいまつりへの参加や各関係団体事業への参加、ＮＰＯ法人との協力で開催された「夏休み！ネイチャーラボ@舘岩少年自然の家」等の事業を行っています。令和二年度からはコロナ禍の影響で例年通りに開催できない事業もありますが、You Tubeで講演会の配信を行うなどコロナ禍でも「児童生徒達にできることをしよう！」の合言葉の下、連合会としてコロナ禍でもできる活動を模索し積極的に活動を行っています。

令和３年度桜区連総会

総会は例年、区内十二校から校長先生や教頭先生を含む総勢百名程の出席者で開催されています。昨年度はコロナ禍で書面会議となりましたが、令和三年度は各校校長先生及びＰＴＡ会長、副会長が参加し、感染防止を徹底しながら開催されました。二年ぶりの対面での開催となり大変有意義な意見交換ができました。

ピックアップ区連活動！

【桜区　区民祭りブース出店】

桜区役所で開催される区民ふれあい祭りに、桜区ＰＴＡ連合会として出店しています。

小学生でも購入できる低価格の商品を提供したい！

そんな思いから、わたあめ、かき氷、ポップコーン、つきたてのお餅など、桜区ＰＴＡ連合会の力を結集し提供しています。

つきたてのお餅は、ご年配の方から小さなお子様まで「やわらかい！」「あんこが美味しい！」と大好評、ポップコーンも午前と午後で味を変えることで、リピーターが多い一品です。

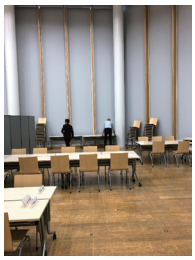
できたて綿あめも作るのが間に合わないくらいの大人気商品です。

桜区民ふれあいまつり

【校長会長研修会】

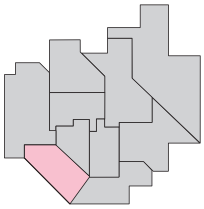
毎年十二月、桜区内の校長先生、教頭先生、各校ＰＴＡ会員の研修会を開催し、区連理事で会場設営などを協力して行っております。

子育てに関する講演会を通し、子育ての一助になるよう理事一同力を尽くしています。



校長会長研修会

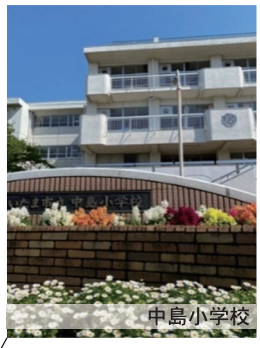
桜
SAKURA 区



大久保小学校

神田小学校

上大久保中学校


中島小学校

大久保東小学校

土合中学校

大久保中学校

栄和小学校

土合小学校

新開小学校

田島中学校

田島小学校

浦和区連合会

浦和区歴代区連会長	
玉井　哲夫	平成十五～十六年
吉野　勝則	平成十七～十八年
中村　友美	平成十九～二十一年
磯田　和男	平成二十二～二十四年
丸山　史人	平成二十五～二十八年
浅野　敬尚	平成二十九年
大庭真喜子	平成三十年
紅谷　弘二	令和元年～令和二年
鈴木　昇	令和三年

■区連概要

●浦和区連合会について●

政令指定都市への移行と同時に、「浦和区Ｐ連準備委員会」により運営方針、基本的な活動方針を策定し、平成十五年六月七日に産声をあげました。

市役所や県庁などの主要官公庁、うらわ美術館など多くの芸術・文化施設や浦和駒場スタジアムなどのスポーツ施設も充実している文教都市浦和。浦和区連合会は国公立小学校十三校・中学校五校の計十八校により構成されており、「浦和区内国公立学校間の交流を円滑にし、浦和区ＰＴＡの特色を生かした活動を推進しよう！」の活動目標のもと活発に活動しています。

●特色ある活動●

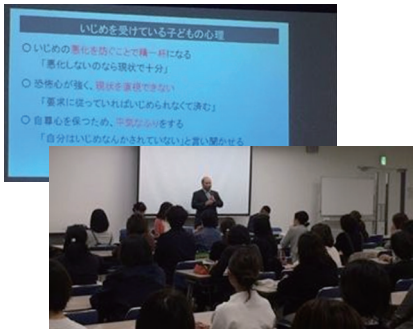
浦和区連合会での活動の主なものの一つとして、総務委員会・事業委員会の二つの委員会組織が挙げられます。各校のＰＴＡ会長だけではなく、一般のＰＴＡ委員・役員の方々にも積極的に区連の活動に参加いただこうと作られた仕組みです。各校からそれぞれの委員会に一人ずつのＰＴＡ委員・役員（ＰＴＡ副会長、一般の委員・役員の方）に参加いただき、活動しています。年に二回両委員会が集まり、情報交換を行う「合同委員会」も開催しています。

総務委員会は、区の事業が開催される際の司会・受付・議事録などの仕事を分担していただいています。事業をサポートするという形で活動に参加していただき、区連活動の理解を深めていただくことができます。

事業委員会は、事業グループと広報グループから構成されています。

事業グループは、単Ｐでは難しいが、区単位なら実現できそうな事業を計画し、実施まで担当します。過去には駒場スタジアムにて、浦和区保健センターとの共催による「秋の健幸ウォーキング」や、県立浦和西高校や浦和第一女子高校への高校見学会を開催しました。近年では教育委員会の方々を講師にお招きし、「いじめノックアウトセミナー」、保健センター共催の「うらわメタ防クラブｗｉｔｈＰＴＡが

うらわメタ防クラブwith PTA がんセミナー



いじめノックアウトセミナー

んセミナー」を開催しています。

広報グループは、浦和区連ホームページ作成および広報紙「うらわっ子」の編集を行います。

「うらわっ子」は年に一度の発行、一万二千部ほど刷られ、区内国公立の小中学生の保護者と教職員に家庭数で配付されています。浦和区内の生徒児童の絵画などを表紙に掲載し、明るい雰囲気で好評をいただいております。令和二年度はコロナ禍で作品収集が困難だったため、画家として活躍されている前仲町小ＰＴＡ会長の大須賀冬彦さんの「さいたま市役所トルーカの鐘」を描いた作品を掲載しています。

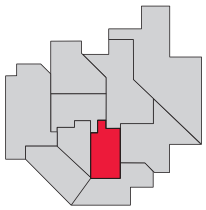
ホームページはブログ形式となっており、それぞれの行事の様子が詳細に掲載されています。

他に年一～二回の「校長・ＰＴＡ会長会」「会長会」「副会長会」、前述の「合同委員会」を開催、情報交換を主体とし、それぞれの親睦を深めています。

浦和区P連活動報告ブログ
http://urawakupta.livedoor.blog/

「うらわっ子」
令和3年3月発行

浦和 URAWA 区



上木崎小学校

大原中学校

木崎小学校

針ヶ谷小学校

大東小学校

常盤北小学校

木崎中学校

常盤中学校

本太中学校

北浦和小学校

浦和中学校

常盤小学校

仲本小学校

仲町小学校

埼玉大学教育学部附属小学校

岸町小学校

高砂小学校

本太小学校

南区連合会

南区歴代区連会長	
木村　美穂	平成十五年
栗原　　猛	平成十六年
田所　龍雄	平成十七～十八年
中山　博貴	平成十九～二十二年
田所　龍雄	平成二十三年
加藤　清孝	平成二十四年
野上　一昭	平成二十五～二十八年
杉本　浩一	平成二十九～三十年
和田　伸悟	令和元年
植杉　嘉明	令和二年
池田　拓矢	令和三年

区連概要

私たち南区ＰＴＡ連合会は、さいたま市南区の小・中学校から構成されています。

『地域とふれあい深める絆、育もう子どもの未来』をスローガンに、子どもたちを育てるより良い環境を目指し、家庭・学校・地域におけるネットワークを築くとともに、子どもたちのために私たち大人ができることは何かを考え、活動をしています。

主な活動として、各学校のＰＴＡ本部役員を対象とした「南区ＰＴＡ情報交換会」を開催し、他校の取り組みや成功事例を共有することで、各学校が特色を活かし充実したＰＴＡ活動ができるよう、サポートを行っています。

また、保護者を対象とした「南区ＰＴＡ連合会フォーラム」では、家庭教育の活性につながるようなテーマの講演や、参加者同士の交流の場としてディスカッション形式での情報交換などを行っています。

日々、子どもたちを取り巻く学習環境や生活環境は変化しています。

ひとつの学校に収まらない大きな課題に対する情報共有や提言も、南区ＰＴＡ連合会の大切な役割と受け止めています。子どもたちの安心安全な環境作りや防災に関する課題は、学校をまたぎ、近隣地域とともに横断的な取り組みを進めております。

さらには月に一度ほど南区の小・中学校ＰＴＡ代表が集まり、南区全体の課題解決をはじめ、各学校の取り組みや抱える問題について、活発に話し合っています。一校では解決できない問題も、ともに考えることにより問題解決への大きな一歩となり、各学校の充実した活動こそが子どもたちを育てるより良い環境へつながると考えています。

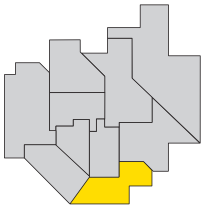
南区の花の「ひまわり」のような子どもたちの笑顔で満開となりますよう、南区ＰＴＡ連合会一同心ひとつに努めてまいります。

細田教育長を招いての講演会

総会風景

会長会

南 MINAMI 区



大谷場小学校

谷田小学校

大谷場中学校

大谷口中学校

白幡中学校

岸中学校

大谷口小学校

埼玉大学教育学部
附属中学校

浦和大里小学校

向小学校

西浦和小学校

辻小学校

善前小学校

沼影小学校

南浦和中学校

南浦和小学校

辻南小学校

内谷中学校

文蔵小学校

大谷口
中学校
大谷口小学校
大谷場
中学校
谷田小学校
向小学校
大谷場
小学校
善前小学校
大谷場東小学校
埼大附属中学校
岸中学校
浦和別所小学校
白幡
中学校
南浦和小学校
浦和大里
小学校
西浦和小学校
沼影小学校
南浦和中学校
文蔵小学校
内谷中学校
辻小学校
辻南小学校

緑区連合会

緑区歴代区連会長	
篠原　唯史	平成十五年
榎本　　昇	平成十六～二十一年
笠井　健太	平成二十二年
大熊　　博	平成二十三年
小坂　佐紀	平成二十四年
金子　孝行	平成二十五～二十六年
今井　正樹	平成二十七年
田中　豊太	平成二十八年
佐藤　　度	平成二十九～三十年
伊楯　　勲	令和元年～令和二年
内田　宜宏	令和三年

■区連概要

●緑区連合会について

さいたま市ＰＴＡ協議会緑区連合会は、令和元年に美園北小学校・美園南中学校が開校し、小学校十一校、中学校六校、特別支援学校一校、計十八校の学校で構成されています。

緑区は、区名の表すとおり豊かな緑と、歴史、未来の詰まった地域です。浦和レッズのホームグラウンドで、ワールドカップやオリンピックのサッカー会場としても有名な埼玉スタジアム２００２、パナマ運河より百八十余年も前の享保十六年（１７３１年）に開通した閘門式運河「見沼通船堀」をはじめ、「緑区お宝１００選」としても紹介されるとおり、多くの有形・無形文化財があります。未来に向けては、埼玉高速鉄道のターミナルである浦和美園駅のある美園地区を中心に、ＡＩ、ＩｏＴ、データを活用した「スマートシティさいたまモデル」の推進もおこなわれています。

そういった素晴らしい環境で、未来の宝物である子どもたちの成長をサポートするため、学校・地域・ＰＴＡで連携しながら活動をしています。

●特色ある活動

緑区連合会では、毎年六月の総会を区切りとして、年間五回の会長会を開催しています。会長会では、区連運営に関わる議論のほかに、各校がＰＴＡ活動に取り組む中で、課題や悩みを共有し解決していく場として、なくてはならない場となっています。また、緑区区民まつり、見沼田んぼキレイきれい大作戦、東浦和駅前クリスマスツリー点灯式など、地域の取り組みにも参加しています。

【副会長交流会】

例年十月に、区内の全てのＰＴＡ副会長を対象とした「副会長交流会」を開催しています。この交流会では、各会の運営上での悩みや取り組んでいる事例などを共有するのはもとより、普段自分たちの運営しているＰＴＡ以外の様々な取り組み、工夫、考え方に触れることで、各ＰＴＡ活動に活かすきっかけ作りの場として、好評な事業のひとつとなっています。

【会長校長合同研修会】

二月には、校長先生とＰＴＡ会長の合同研修会として、講師を招き様々なテーマのもとでの講演会を開催しています。講師や参加者での熱心な意見交換を通じ、新たな気付きと信頼関係を生み出す場となっています。

緑区連合会は、様々な活動で支え合いながら、子どもたちのためにできることを、一緒に考え実践していく会です。各学校のＰＴＡ会長や役員の方々が、各校のＰＴＡや緑区連合会の活動に関わることで得た良い経験や思い出を、その後の地域における関わりにおいても活かしていただけるように取り組んでいます。

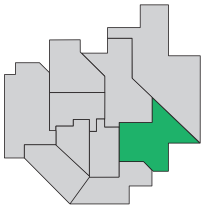
埼玉スタジアム２００２

見沼通船堀

野田の白鷺

見沼田んぼの桜

緑 MIDORI 区



芝原小学校

野田小学校

美園中学校

三室中学校

美園北小学校

さくら草特別支援学校

美園小学校

三室小学校

美園南中学校

道祖土小学校

大門小学校

原山中学校

大牧小学校

原山小学校

尾間木中学校

中尾小学校

東浦和中学校

尾間木小学校

岩槻区連合会

岩槻区歴代区連会長	
小島　信昭	平成十七～十八年
長久保　学	平成十九～二十年
新井　森夫	平成二十一～二十六年
髙野　幸男	平成二十七年
増岡　昌行	平成二十八～二十九年
岡野　育広	平成三十～令和三年

■区連概要

岩槻区は平成十七年四月一日、さいたま市と岩槻市の合併により、さいたま市の十番目の区として誕生しました。さいたま市の東部に位置し、南北に細長い形をしており、緩やかに起伏した台地の緑や元荒川や綾瀬川の水辺など、豊かな自然環境に富んでいます。

岩槻は、真福寺貝塚出土品などによると一万年以上前から人の生活が営まれていたことがわかります。室町時代初期の古文書には岩槻（岩付）の名が歴史上初めて登場もします。

その後、城下町・宿場町として栄え、時の鐘や岩槻藩遷喬館などと歴史を刻み岩槻の伝統的地場産業として、人形づくりが栄え現在に至っています。

岩槻区ＰＴＡ連合会は、小学校十四校と中学校八校で組織されており、他に県立高校など四校を連絡協議校としています。

六月の総会を皮切りに、常任理事会等の各種会議を開催し、事業の実施内容などを審議、決定しています。

また、親善スポーツ大会や管外視察研修、主任児童委員との意見交換会など、特色のある事業を行っています。

●事業紹介

交通安全保護者の会ドライバー大会

さいたま市交通安全保護者の会（母の会）岩槻支部の構成員を各校ＰＴＡから派遣するとともに、事業に参加しています。

交通安全保護者の会ドライバー大会は、交通安全意識や自動車の運転技術の向上を目的に、地元自動車教習所を会場に開催されます。

交通法規が出題される学科だけでなく、教官と共に教習車に乗ってコースを走る実技を行います。学科と実技の合計点を競い、個人部門とチーム部門で優秀者が表彰されます。

参加者の多くが運転免許取得後それなりの時間が経過しているため、大会参加が改めて交通安全や自身の運転を見つめ直す機会となっています。

さらに、秋から冬にかけて実施される高齢者世帯訪問にも参加しています。高齢者のお宅を訪問し、交通事故防止の啓発だけでなく、振り込め詐欺防止も呼びかけるなど、地域のお年寄りの安全安心に取組んでいます。

ドライバー大会

親善スポーツ大会

区内体育館を会場に、親善スポーツ大会を開催しています。

各校ごとに校長先生をはじめとした教職員の方とＰＴＡで混成チームを作り、コート優勝を目指して熱戦を繰り広げます。

実施種目は「ふらばーる」です。バレーボールに似たスポーツですが、ボールがおにぎりのような形をしていることと、その変な形のボールをワンバウンドさせなければならないことが大きな違いです。

このルールによりボールの勢いが落ちるとともに不規則な動きをするため、バレーボールの経験に左右されないみんなが楽しめるスポーツとなっています。

校長先生がスーパープレーを披露し、会長がおもしろプレーを見せるなど、どのコートからも歓声と笑い声が響く楽しい一日となります。

ふらばーるバレー

管外視察研修

ＰＴＡ役員の見聞を広め、各校との交流を図ることを目的に年一回管外視察研修を実施しています。

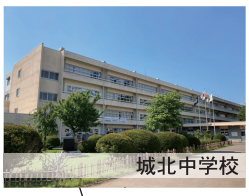
区連を構成する二十二校から、校長先生や会長をはじめとした多くの役員が参加し、日帰りで視察に赴きます。

国会議事堂や工場見学など定番な視察先でも改めて勉強になりますし、防災施設（そなエリア）で子どもたちに混じって体験学習をするなど、貴重な経験ができる機会にもなっています。

幹事校は趣向を凝らした視察研修を企画すべく頭を悩まし、当日も進行管理で大変な面もありますが、参加者が楽しそうに一日を過ごし笑顔で帰っていくのを見ると、充実感でいっぱいになります。

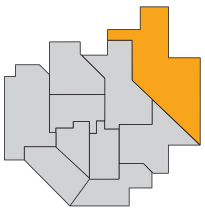
そなエリア東京

岩槻区
IWATSUKI


城北中学校

慈恩寺中学校

慈恩寺小学校



河合小学校

徳力小学校

城北小学校

桜山中学校

西原中学校

東岩槻小学校

西原小学校

上里小学校

岩槻中学校

岩槻小学校

太田小学校

川通中学校

柏陽中学校

川通小学校

柏崎小学校

城南小学校

和土小学校

城南中学校

新和小学校

歴代会長座談会

二十周年記念座談会
「二十年の歩みとこれからの協議会の進むべき道」

●開催日　令和三年七月二十五日(日)
●開催場所　大宮ソニックシティ 六〇三会議室

創立二十周年を迎えるにあたり、さいたま市ＰＴＡ協議会誕生からの歴史を今一度振り返るとともに、現代のＰＴＡが向き合う課題、市Ｐ協の存在意義、様々な角度から**「これからの協議会の歩むべき道」**について、歴代会長の皆さま、現会長、旧市会長の皆さまに語っていただきました。

●参加者（敬称略）

初代会長・旧大宮市ＰＴＡ連合会会長　橋本　正晴
第二代会長　向江　正晃
第三代会長　天野　雅裕
第四代会長　渡辺　紀子
第五代会長　磯田　和男
第六代会長　鵜沢　勇
第七代会長　青羽　章仁
第八代会長　岡野　育広
旧与野市ＰＴＡ連合会会長　望月　三之
旧岩槻市ＰＴＡ連合会会長　小島　信昭

座談会集合写真　後列左から　鵜沢、渡辺、天野、磯田、青羽
前列左から　小島、橋本、岡野、向江、望月

司会　合併時、新しい市Ｐ協に期待していたことや当時の思いをお聞かせください。また、合併後それぞれの市の特徴や良いところがどのように反映したと思われますか？

橋本　期待していたことは、まず、**スケールメリット**ですね。市との窓口を一本化しなければいけないということで、三市が合併してさいたま市になると共に、ＰＴＡも、それまでの浦和・大宮・与野をひとつにまとめて市Ｐ協を立ち上げることは自然なことでした。事業の面では、それまで三市ＰＴＡそれぞれが、特徴のある事業を長年に渡って継続しておりましたので、その中で**良い面を活かして、合併後も引き継いでいけたら**と考え進めさせていただきました。

橋本会長

望月　全く成り立ちの違うＰＴＡが一緒になるというのは大変なことも多くありました。おかげさまで、皆さまの協力をいただいて、合併が成り立ったと感じております。今後は、**何のためにＰＴＡがあるのかを、保護者の皆さまに分かりやすく周知**していく事が大切だと思います。

望月会長

小島　岩槻市は後から合併させていただきまして、それまで自分たちの領域で独自でやっていたのが、さいたま市に加わり、取り組みの違いを知りました。市Ｐ協の会議に出るのも、最初は人選が大変でしたが、出席した役員は皆それぞれスキルアップ出来たと感じています。

小島会長

司会　**昨今、ＰＴＡ不要論をはじめ、様々なことがＰＴＡに対して言われています。また、保護者の意識にも変化を感じますが、そうした事について思うことはありますか？**

橋本　ＰＴＡ不要論は、個人の感覚だろうと思います。煩わしいと思えば全てそのように感じてしまいますが、ただ、自分がずっと関わってきまして、**学校においてのＰＴＡや、市Ｐ協、区*Ｐ連は必要**な存在だと思っています。ＰＴＡ不要論に関しては反論するのではなく、こちらは粛々とやるべきことをやっていくのが良いと思います。今の時代皆さん忙しいので、そんな中でも参加しやすい、また、それまでやってきたことの代わりに何かできないか、形を変えてできないか、会長さん含め役員さんはそういった**工夫をしていくことが、これからは必要**ではないでしょうか。

望月　私は子ども会の会長もやっておりまして、子ども会も任意の団体、参加自由な団体です。今は、放課後、塾やスポーツ団体のような子どもたちの受け皿が多くありますが、昔はそういった子どもたちの受け皿がなく、子ども会の存在意義はそういった面でも感じられました。今の時代、子ども会を辞めたいという親御さんの理由には、ＰＴＡを辞めたいという保護者の方の考えとほぼ同じ印象を受けます。子どもたちが、子ども会やＰＴＡのイベントに参加する際、忙しいので親も同伴するのが難しいと。ですから、**子どもたちが親を引っ張って参加したくなる**ようなことを考えていかれるといいのかなと思います。

小島　私は、岩槻市ＰＴＡ連合会の会長を長く務めておりましたが、平成初期の頃は皆同じ気持ちで、役員の熱量もかなりあったと記憶しております。年月がたつに連れ、会員同士のＰＴＡへの熱の入れ方にも少し変化がみられるようになりました。ＰＴＡや消防団でも、**個人の権利が優先で、同じ地域に住む者同士の責任感・連帯感が後回し**になりつつある時代になってきたと感じることがあります。ただ、昔には戻れないのですから、少し形を変えながらも、ＰＴＡを全体的に幅広く理解してもらえるように活動していけると良いですね。

向江　自分は、政令指定都市になって二年目に市Ｐ協会長に就任しました。どこから手を付けていいか手探りでのスタートでした。当時の副会長さんはじめ、皆さんに色々相談させてい

＊区Ｐ連＝区ＰＴＡ連合会

ただきながら、いかに**周りの皆を巻き込みながら前に進んでいくか**と考えておりました。学校の先生や教育委員会の方とも、常に色々な場で腹を割って話をさせていただいて、少しずつ打ち解けていけた記憶がございます。各区Ｐ連にも何度となく足を運んで、問題点など色々な話をしていく中でだんだん分かり合えるようになりました。**コミュニケーションを大切にする**ことで、前進できたと思っております。

向江会長

天野　ＰＴＡ不要論に関しては時々報道などで耳にすることはあります。個人差が多くあり、声を上げた人の意見（不要論）が目立ってしまっていますが、やる人はちゃんとやっているのですから、**やれる範囲で各学校でもＰＴＡ活動を進めて**いけると良いですね。ただ、それを引っ張るためには、**市Ｐ協の存在は大きい**と思います。各学校のＰＴＡでは、継続性のある運営をされているところもあれば、会長から会長への引継ぎや情報伝達が上手くいっていないところもあると思います。そうすると、そういった引継ぎが上手くいっていない学校でＰＴＡ不要論が出てきてしまうこともあるのではないでしょうか。**各学校にしっかり情報伝達を行うことも、市Ｐ協の大切な役割**だと思います。

天野会長

渡辺　私が会長の時代にもＰＴＡ不要論を耳にすることがありました。やはり声を上げた人の意見が大きく報じられ、ＰＴＡが本当に必要だと思っている人の声はなかなか報じられないという中で、**忙しい保護者の方などが不要論側に流れてしまう**のは本当に残念だと感じます。ＰＴＡは、継続性のある運営をしていくのが難しい面もありますね。現在、社会も先生も親御さんも以前とは変わってきている中で、市Ｐ協としては**より多くの情報や問題点を皆さんに発信**して、各学校でも周知してもらうことで、「ＰＴＡって色々な情報が入るんだな」「ＰＴＡがあって良かったな」と少しでも感じていただけたら良いなと思います。さいたま市の十区というのは、そうやって活動していくのにも丁度いい規模だと思います。

渡辺会長

磯田　旧四市の会長の皆さまのおかげで、さいたま市のＰＴＡはスムーズに合併できました。自分はちょうど十周年の時に五代目として会長を務めさせていただきましたが、それまでの四代の会長の皆さまのご尽力で、ある程度形が整ったところで会長をやらせていただいたこともあり、市長や教育委員会ともご理解をいただけた中でスムーズにＰＴＡのお話をさせていただけました。今は、フルタイムでお仕事をされているお母さんが本当に多いです。ＰＴＡの活動も、**負担にならないような方法**を考えていくことが必要と考えます。

磯田会長

鵜沢　六代目の私の頃になると、ＰＴＡに入らないという方も少しいらっしゃいましたが、未曾有の災害となった**東日本大震災**があり、そ

こでＰＴＡの存在価値がどのように発揮されたかを、今の保護者の皆さまには知っていただきたいですね。近隣の地域の皆さまと、自分たちの子どもたちを守らねばということで、**ＰＴＡが地域の皆さまと同じ気持ちを持って行動したこと**により、ＰＴＡのような団体が必要だということを改めて痛感いたしました。いざ何かが起きた時には、子どもたちや地域の皆さまとも協力して学校を守るということ、それを前提に心の中に置いていただきたいです。ＰＴＡは面倒くさい、ということではなく、全体を見回していただきたいと痛切に思います。今は過渡期で、87パーセントの方が共働きで忙しいとは思いますが、自分の子どもは自分で育てると同時に、地域の方たちも子どもたちを見守ってくれている、そして学校の先生方も子どもたちのために働いてくださっている、という中で、自分たちには何ができるかを考えていただきたいです。そして、最近のＰＴＡ会長さんに言いたいのは、暇を見てもっと学校に足を運んで学校のことを理解して、保護者の皆さんにＰＴＡがなぜ必要なのかを訴えることが必要だと思います。このコロナ禍に今一度、学校のことだけではなく、保護者として、地域として、考えていただきたいです。

鵜沢会長

青羽　自分は、十五周年で会長に就任いたしました。その際に感じたさいたま市ＰＴＡの第一印象は、**仕組みが素晴らしい**ということです。**教育委員会との太いパイプ**をはじめ、色々なことでしっかりした土壌を先輩方に築いていただいていたことを痛感いたしました。ただ一方で、恵まれており大きな問題やトラブルもないからこそ、ＰＴＡ不要論もでやすいのではないかと感じました。本来起こってはいけない、**事故やいじめなどの問題が頻繁に起こったりニュース沙汰になった地域では、ＰＴＡの存在は本当にありがたい**、そんな時こそ必要だと認識され、活動もとても活発になっているのが現状です。そうしたことも踏まえながら、一人一人の保護者の方にＰＴＡの存在価値が浸透するような、今どきの方法（ＩＴ化など）を積極的に考えていくことが必要だと思います。

青羽会長

岡野　私は八代目の会長として、先輩方のレガシーを受け継ぎ、歴史の重みをしっかりと受け止めた中で、今現在活動をさせていただいているところであります。令和三年度は、さいたま市ＰＴＡ協議会が二十周年を迎える記念の年となりますが、**昨年からの新型コロナウイルス感染症の拡大が、ＰＴＡの活動にも非常に影響**をもたらしておりまして、今年度は本来の活動を継続していくことが必要だと考えております。

近年、ＰＴＡ不要論を言われることがありますが、ＰＴＡ不要論については、報道による影響が大きいと言えます。ＰＴＡ不要論の本を読むと著者はＰＴＡを不要と唱えているのではなく、**古い体質のＰＴＡを改善し、会員に寄り添った時代に合わせた活動を**と唱えています。ＰＴＡの役割は重要で、時代に合わせた活動が必要であり、家庭・学校・地域の連携が一番大切です。

岡野会長

司会　昨年からの新型コロナウイルスの流行から、子どもたちの学校生活が大きく変化しています。ＩＣＴ化が一気に進み新しい生活様式が生まれ、それに伴いＰＴＡも新しい時代に突入しました。皆さまがＰＴＡで新しい取り組みをされたとき、どのような覚悟や思いがあったかを教えてください。

橋本　平成十三年に、浦和・大宮・与野の三市の合併に伴いＰＴＡも合併をすることになり、当時、旧三市Ｐ会長、埼玉県Ｐ連とで何回もすり合わせをし、さいたま市ＰＴＡ協議会を立ち上げました。一言でＰＴＡと申しましても、単会には単会の学校や子どもたちに向けた役割、区Ｐ連には区Ｐ連の区に寄り添った役割、市Ｐ協には市のＰＴＡにしかできない行事や教育委員会との交渉などを行う役割がございます。当時も、それぞれの**役割のすみわけをしっかり行い、それぞれの立場でしっかり役割を果たす**ことを大切にしてまいりました。平成十四年は日本ＰＴＡ全国研究大会埼玉大会もあり、ちょうど過渡期でありましたが、県Ｐ連や日Ｐの役員の方とも研究大会のおかげで面識やコミュニケーションがとれ、そのおかげもあり、さいたま市ＰＴＡ協議会として、埼玉県ＰＴＡ連合会からの独立もスムーズに行えました。今は、学校安心メールやＩＴの進化により、保護者への伝達も迅速に行うことが可能です。ぜひ、ＰＴＡも上手く利用していけたら良いですね。

向江　自分は、やはり**せっかくやるなら楽しくやろう！**をモットーに務めさせていただきました。当時は大阪の池田小学校の事件がありまして、大変なことが起きたなという印象でした。協議会として、何をしていけばよいか役員で話し合いまして、各現場の学校でどのような問題点があるかアンケートをとって、各学校でできること、区連でできること、市Ｐ協でできることの調査を行いました。そして、市への要望の結果、市長のお力添えもあり、**各学校に警備員を配置**していただけることになりました。

色々な活動をしていく中で、大切だと感じていたのは、やはり内部・外部とのコミュニケーションですね。

天野　私にとっての覚悟は、まず、さいたま市ＰＴＡ協議会の会長をお引き受けするということが、何よりも大きな覚悟でした。色々な覚悟をして会長をお引き受けしましたが、やはり副会長さんや先輩方に助けていただきながらの一年でした。その当時の新しいことと言えば、ちょうど子どもたちに**携帯電話が普及**し始めたことで、なりすましメールのように大人もよく分からないことが、子どもたちの間でどんどん広がっていきました。ＰＴＡ協議会としては、そういった**子どもたちの新しい動きに敏感になっていなければならず**、分からないでは済まされない事項でした。現在、子どもたちはＩＣＴを活用した授業が行われたり、まわりにＩＴが溢れていますが、当時と比較して色々な悪い事件に巻き込まれる可能性も格段に増えていると思いますので、**子どもたちの側にいるＰＴＡが、しっかりと子どもたちを守れるよう**頑張っていただきたいです。

渡辺　私の時は、ＰＴＡの保険を新しく作ったことですね。やはり当時は保険会社の方と相当勉強させていただきました。また、新しいこ

＊単会＝単位ＰＴＡ（各学校ＰＴＡ）

とを始めるときは、**正副会長がとにかく集まって理事会に出す前にたくさん話し合って**、その上で理事会で揉んでもらい、**また持ち帰って正副会長で話し合う**、とにかく納得のいくまで話し合いました。皆の賛成を得るのは難しい場合も、様々な意見を出し合う中で、進む方向や進め方が見えてきました。今はコロナ禍で大変だと思いますが、やはり**顔を見て話すことは本当に大切**だと思います。コロナ禍で色々できない中、学校でも、先生方が子どもたちに何をしてあげられるか、色々考えてくださっています。市P協も試行錯誤しながら、できない中で何ができるか、形を変えて新しい方法を見出していってほしいです。そして、どんどん発信をしていくことが大切だと思います。

磯田　私はちょうど五代目ということで、成熟した時期に会長に就任させていただきました。それまでと変えたことと言えば、各区の会長さんたちを「**常任理事**」にしまして常任理事会で色々決定するようにし、できるだけ区の意見を反映させた中での運営を行うことにしました。まずは正副会長でしっかりコンセンサスをとり、**頻繁に情報交換やすり合わせ**を行ったことで、うまく運営ができたと思います。また、私が自分の学校でPTA会長をしていた中で、ある役員さんから、「私はこの歳になって、PTAを通して親友ができました」「PTAを通して子育ての相談をし合える仲間ができました」という嬉しい声も聞けました。そういう体験をされた方からも、ぜひ、PTAは楽しいよ、やって良かったよ、という声を伝えていっていただきたいです。

鵜沢　私の時は、**いじめ法案の制定**と、**震災時のさいたま市の学校マニュアル**を作りました。今、NPO団体などからは、コロナ禍で学校に行けなくなる子が出ているともききます。保護者も、**PTAの希薄化**などで、**悩みがあっても相談できる場がなかなかない**というのが現状のようです。各学校のPTA役員さんは、一般の保護者の方と連絡を密にして、PTAは大変なものではないし、利用価値があるものだと周知をしていただきながら、子どもたちのために活動をしていっていただきたいですね。また、**きちんとしたPTA会長選び**をしていただきたいと同時に、PTA会長さんは、受けたのであれば、学校も保護者も子どもたちも背負っていることを忘れないでいただきたいです。そして、せっかくやるなら楽しく活動していただきたいですね。

青羽　私の時は、**個人情報保護法の改定**を控え、各学校の役員の方からも「来年から一体どのように運営すればいいのか」という質問が相次ぎました。そこで、**個人情報取り扱いへの同意と、PTA任意加入**の両方をセットにして、力強く推し進めました。各区を相当まわらせていただいて、役員はもちろん各学校の校長先生ともたくさん話をさせていただきました。様々な意見がある中で、**教育委員会としっかり連携**をさせていただいて、**校長会とも丁寧に話**をさせていただきました。また、一番大事なのは、さいたま市PTA協議会内のコンセンサスだと思いましたので、とにかく十区で、どんなメリットがあるのか、またどんな弊害があるのかを、

時間をかけて説明し進めさせていただきました。大変でしたが、一枚岩になった後は、勇気・信念となって邁進させていただきました。

岡野　今は、学校で子どもたちに**一人一台タブレット**が配付される時代になりました。さいたま市ＰＴＡ協議会も足踏みをせず、新しい時代に合わせた対応を進めていけるようにと考えております。コロナ禍になり、世の中が駆け足でデジタル化を含めた新しい形に進んでおりますので、市Ｐ協も時代に合わせた運営をと思っております。まずはＰＴＡ活動を楽しみ、皆さんの意見をしっかり吸い上げ、一つのことを行う覚悟をしっかり持った上でコミュニケーションを大切に進めていけたらと考えております。

司会　**来年度からコミュニティ・スクールがスタートします。ＰＴＡを終えられて地域の立場から見たＰＴＡへの思いや気づきと、これからのＰＴＡにメッセージをお願いします。**

橋本　単会においてのＰＴＡの役割は、学校における子どものサポートが原点となっていると思います。**市Ｐ協は、その活動やそれぞれの保護者の生涯学習をしっかり支えていって**いただきたいです。コミュニティ・スクールがスタートすると、**学校の校長先生から学校運営などについて色々相談**もあるかと思います。その際**きちんと答えられるように、今、子どもたちが置かれている状況などを常日頃しっかりと勉強しておくこと**が大切だと思います。そして、色々な方が学校運営協議会に入られると思いますので、そういった方とも上手く折り合いをつけながら、校長先生のサポートもしっかりしていただけたらと思います。

向江　当時、教育委員会が人間関係プログラムを立ち上げるにあたり、それぞれの区連や単会にも出向き説明だけではなく実際に体験していただくことで、皆さんにも良いものだと分かっていただけました。新しいことを始める際には、**色々な方を巻き込みながら進めていく**のが大切だったと記憶しております。ＰＴＡは、子どもがいるから経験させていただけて、今でも続く人間関係も作らせていただけたわけですから、本当にありがたかったと感謝しております。

天野　学校には、将来その地域を担っていく子どもたちが集まっているわけですから、**地域性を大事にして皆で子育てをしていくことが大事**で、私が会長を務めていたころは、よく地域の方に「この子どもたちが将来この地域を背負っていくことになるので、今は大変かもしれませんが皆さんも一緒に見守ってください」とお願いをしていました。同様に、学校や保護者の皆さんには、**地域の方の声に耳を傾けて**いきましょうねと呼び掛けていました。温故知新ということわざもありますが、子育ては誰もが初めての時があるわけですから、ＰＴＡも古きを知って新しい道を導く、そして新しい方でも参加しやすい、そういう団体であってほしいです。

渡辺　コミュニティ・スクールは、人選も難しいと思いますが、学校のことを良く知っているＰＴＡや、地域のたくさんの知恵を上手く利用していただけるようになると良いですね。私は現役のころから、ＰＴＡ活動は楽しくやるべきだと考えております。せっかくの時間を、い

やいややるのと楽しくやるのとでは全然違います。**親が楽しく学校に行く姿を子どもにも見せてあげたいですね。**ＰＴＡには色々な問題もありますが、根本的には自分の大切な子どものために何ができるのかという部分だと思います。一年では実現できない活動であっても、良いと思ったことはぜひ、継続性を持ってやっていってほしいと思います。大変かと思いますが、今年度の二十周年は非常に良い機会だと思います。私が会長の時は、十周年をやらせていただきましたが、こういう周年の機会にはこうして初代の会長の話も直接聞けます。どういう目的で取り組んだのか最初の思いを聞き、今の自分たちにどのように反映させていくのが良いかを、ぜひ考えてみていただきたいです。

磯田　ＰＴＡは、短いと一年で役員が入れ替わるので、前年度の記録を辿って次の年も同じように活動する、そういった面がある中、新しいことを始めたり改革を行ったりというのはなかなか難しいと思います。各学校のそういった面を、市Ｐ協でしっかりフォローしていってもらいたいですね。**学校の良い面や情報を共有**しながら、一年目の会長さんも新しい活動がやりやすいように導いて上げてほしいです。

鵜沢　現在、三校のコミュニティ・スクール推進校に関わらせていただいておりますが、**以前までの評議員の仕組みよりは分かりやすく、より細かく学校と保護者、地域の方が繋がれる**仕組みだと思っております。これから、仕組みや役割をそれぞれの立場で理解したうえで運営され、良い会になっていくと期待しています。

青羽　私などは、長年ＰＴＡに関わらせていただいたおかげで多くの方とご縁をいただきましたが、校長先生やＰＴＡ会長が時代と共に代わっていかれる仕組みの中で、**近隣地域で色々な話や相談ができる相手が作れるしくみ**を、市Ｐ協として作って行ってもらえたらと期待します。これからの時代にはそういったことが大切だと思っております。

司会　**それでは最後に、これまでの先輩方からの素晴らしいお話やメッセージを受けて、岡野会長から挨拶をお願いたします。また、市Ｐ協が今後めざすところ、十年後のビジョンをお話しいただけたらと思います。**

岡野　皆さま、今日は創立時のお話や、その時代時代の大変貴重なお話を聞かせていただき、本当にありがとうございました。まずはお礼を申し上げます。

ＰＴＡ活動は、いつの時代も変わらず、原点は子どもたちのために活動していくという部分だと思っております。学校や社会を取り巻く状況は日々変化しております。そんな中で、先輩方の思いをしっかり受け継ぎながら、そして、新しい時代にも対応した活動を行っていきたいと考えております。新しい時代に対応するため、そして、次の世代にしっかり引き継ぐためにも、さいたま市ＰＴＡ協議会、皆でしっかりコンセンサスをとり、新しい方向性を見据えてしっかり歩んでいきたいと思います。

現在市Ｐ協では四月の役員研修会、七月の役員セミナーを開催しております。私が今考えているのは、役員研修会とセミナーを受けての「役員意見交換会」や「さいたま市ＰＴＡ研究大会」を十区ＰＴＡ連合会で輪番開催するなどです。そういった事でＰＴＡの活動意義がより多くの会員の皆様に伝わるのではと考えております。

事務局より ▶▶▶▶▶▶▶▶▶▶▶▶▶▶ 早いもので　20年

さいたま市PTA協議会は、創立二十周年を迎えました。歴代会長・役員様をはじめ、市内各校PTA並びに各区連合会役員の皆様、多くの会員の皆様、そして、さいたま市・さいたま市教育委員会をはじめとする各関係諸機関・諸団体の皆様方いつもありがとうございます。

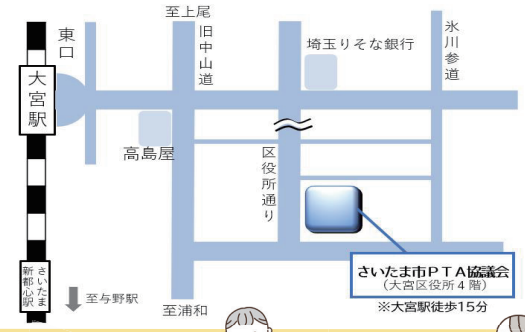
さいたま市PTA協議会事務局は、平成13年5月1日のさいたま市誕生に合わせてスタートしました。平成15年5月には政令指定都市への移行、平成17年6月の岩槻市との合併を経て、令和3年度、いよいよ創立20周年を迎える節目の年となりました。

事務局の仕事は、多岐にわたりますが特に20年の歴史の中で歴代の会長はじめ役員の皆様で工夫し積み上げて来られた「役員研修」について振り返ってみたいと思います。初めに生まれたのは、現在の「役員セミナー」（平成16年7月第1回）でした。各校でPTA役員を引き受け、先輩に教えられながら様々な活動を進めて頂いている皆さん向けに、夏休みの頃、開催したものです。

次に、平成16年12月、現在の「人権講演会」が始まりました。当時のさいたま市の人権政策課から、保護者の方々の参加協力依頼があったことをきっかけに、「役員研修『人権講演会』」としました。児童生徒代表による人権作文発表や人権講演会が行われます。その後、現在4月に開催の「役員研修会」が始まりました。特に新しく役員となり、PTAの組織や会計について、理解していただくことを目的としています。

各校PTA会員の方々のために日々活動している各校PTA会長様はじめ役員様方が、意欲をもって気持ちよく楽しくPTA活動をしていただくために「役員研修」・諸活動を工夫し応援して参ります。

さいたま市PTA協議会
事務局一同



さいたま市ＰＴＡ協議会 事務局
〒330-8501 さいたま市大宮区吉敷町１－１２４－１
大宮区役所４階
TEL 048-647-4401　FAX 048-647-4414
Mail:hotline@saitama-city-pta.jp
URL:http://www.saitama-city-pta.jp

編集後記

この度、さいたま市PTA協議会創立二十周年記念誌を皆様のお手元にお届けすることができました。これもひとえに、日頃よりお世話になっております関係者の皆様及び会員の皆様方のご支援・ご協力があってのことと、心より感謝申し上げます。

成り立ちの違う旧市PTA連合会合併により誕生し、多くの方に支えられる中、今日まで政令指定都市のPTA協議会として一歩ずつ歩んでまいりました「さいたま市PTA協議会」の歴史をしっかりと受け止め、二十年の年月に想いを馳せる機会に恵まれましたことへの感謝と、その想いを皆様とも共有できますよう願いを込めて、本誌を作らせていただきました。

発刊にあたり、玉稿を賜りました皆様、二十周年記念座談会で貴重なお話を賜りました歴代会長及び旧市会長の皆様、多くの関係者の皆様、そして編集・校正作業にお力添えをいただいた皆様に心から感謝申し上げますと共に、さいたま市PTA協議会が今後ますます発展することを祈念し、編集後記といたします。

さいたま市PTA協議会
創立二十周年記念事業実行委員会
記念誌部

さいたま市ＰＴＡ協議会

創立２０周年記念事業実行委員会　組織図

実行委員会・会長

岡野　育広

実行委員長

青羽　章仁

副実行委員長

溝口 景子・田中 絵里

記　念　誌　部　会

部　長　池田　拓矢
副部長　内田　宜宏
副部長　佐久間健志
副部長　石川　淳

村上　貴志　　秋池　孝紀
榎本　健司　　紅谷　弘二
中村　宏也　　渡辺　智美
宮島　和宜　　渡辺　康子
小林慎太郎　　植杉　嘉明
小野寺教多　　伊楢　勲
綿貫新之助　　岡田幸太郎
渡邉　雅俊

式　典　部　会

部　長　山﨑　栄慈
副部長　茂手木　真
副部長　鈴木　昇
副部長　川田　倫世

月城　国仁　　星野　友和
久下　真央　　押井　崇
浅水　敦　　和田　伸悟
松永　明大　　大倉　慎吾
中村　元洋　　城處　満
出口　裕貴　　和田　洋樹
片寄　善久　　田中　淳人
井澤　孝行　　田中　隆介
中村　学

広報・記録

遠藤　孝明
川名　亜矢子
富田　敏弘
横田　松博

事務局

須郷　恵子
福田　節子
伊藤　直美

いじめ防止スローガン

みんなで子育て よく見て、よく聞き、よく話そう！

見逃しません、子どもの小さな変化
ためらいません、子どもとの対話
連携します、家庭・学校・地域

創立20周年記念誌

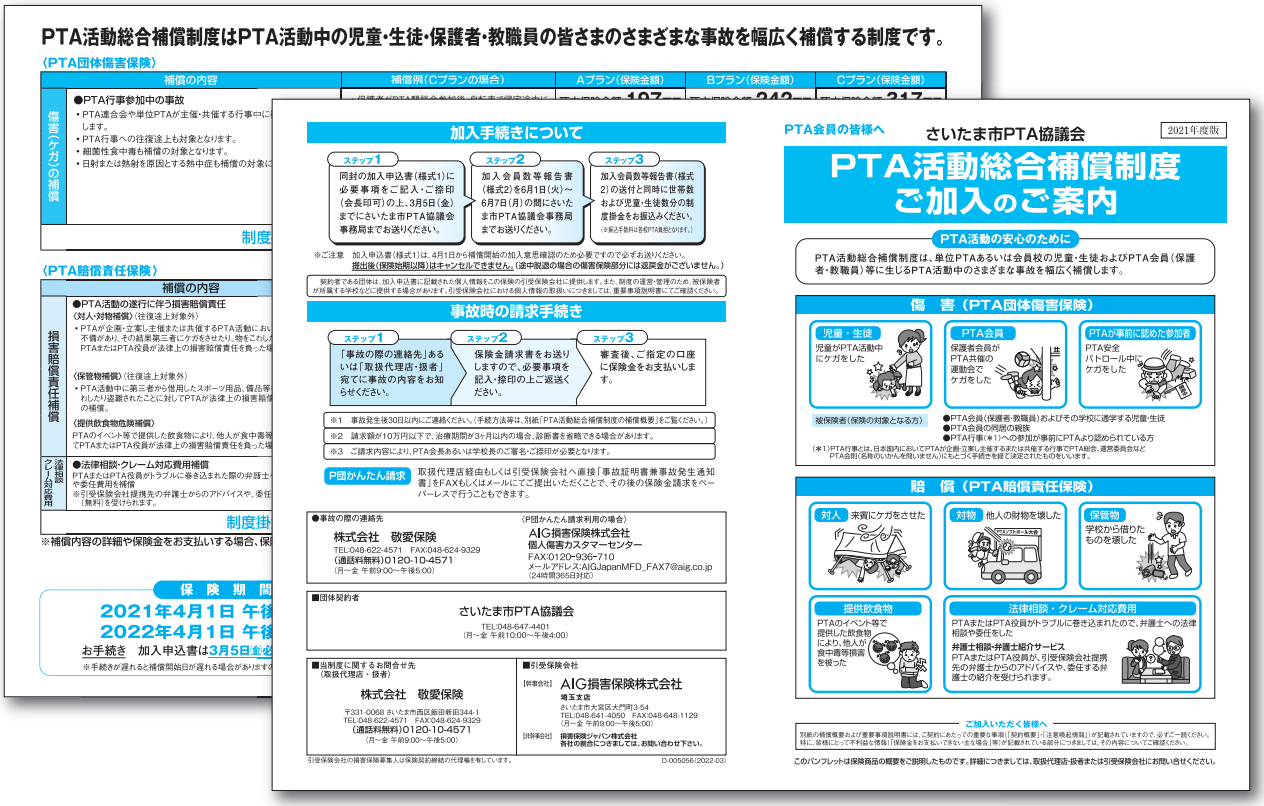
発行日　２０２１年１１月
発　行　さいたま市ＰＴＡ協議会
編　集　創立２０周年記念誌部

2021年10月現在の内容です。

●PTA活動中のけがや賠償事故のためにPTA活動総合保障制度をご用意しております●

※加入校の皆様へ下記のパンフレットをお配りしておりますので詳細はパンフレットをご覧ください。

さいたま市PTA協議会　「PTA活動総合補償制度」



●お子様の日常生活のけがや賠償事故のために児童・生徒ワイド補償制度をご用意しております●

※補償内容や加入方法については下記取扱代理店・扱者までご連絡ください。

さいたま市PTA協議会
「児童・生徒ワイド補償制度（こども総合保険+自転車総合保険）」

中　途　加　入　受　付　中

本広告は制度の概要のみを記載したものです。ご加入に際しては重要事項説明書をよくお読みください。不明な点等がある場合には代理店までお問い合わせください。

新型コロナウイルス感染症、GIGAスクール貸与端末の破損補償についても対応!!

- 特定感染症補償、病気の補償は新型コロナウイルス感染症も補償の対象となります。
- 学校からの貸与端末を使用しているお子さまが偶然な事故で貸与端末を破損させ法律上の賠償責任が発生した場合に補償の対象となります。

埼玉県自転車条例 さいたま市自転車条例に対応しています!

団体割引等適用により保険料が割安!

自転車事故等による損害賠償責任も
無制限で補償
※ご家族全員が対象　※国外は3億円まで補償となります。

示談交渉サービス*付き!
*示談交渉を行う場合は、被保険者および被害者の同意が必要です。国内のみのサービスとなります。

小学5年男子児童の自転車衝突で母親に約9,520万円の賠償命令（神戸地裁判決）

ケガの補償
24時間補償で安心!
- ◆学校内でのケガはもちろん、休日も含め24時間ケガを補償!
- ◆地震等によるケガも補償!
- ◆細菌性食中毒、ウイルス性食中毒や熱中症による死亡・後遺障害・入院・手術・通院も補償!

扶養者の方が事故で万一の際に
育英費用を補償
高校3年間と大学等の合計で約939万円の教育費がかかります!
出典:株式会社日本政策金融公庫「教育費負担の実態調査結果」（令和元年度）

プランによって補償項目が異なる場合がありますので、詳しくはパンフレットをご確認ください。

取扱代理店・扱者
AIGパートナーズ株式会社
さいたま支店
〒330-0846　さいたま市大宮区大門町3−54
TEL 0120-991-341（通話料無料）
（受付時間:9:00～17:00　土、日、祝日、年末年始を除く）

ご好評につき、「中途加入」受付中です。

詳しくは左記取扱代理店・扱者までご連絡ください。

〈引受保険会社〉
【幹事会社】AIG損害保険株式会社
担当支店：埼玉支店
〒330-0846 さいたま市大宮区大門町3-54
TEL:048-641-4050

【非幹事会社】東京海上日動火災保険株式会社
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社

S-210494（2022-10）

PTA
saitama.city
20th Anniversary